
土浦市の商業

平成 31 年 3 月

土浦商工会議所
土浦市新治商工会

目 次

第1章 土浦市の商業を取り巻く環境	1
1. 商業を取り巻く環境の変化	1
2. 各種データ等からみた土浦市の変化	2
第2章 土浦市の生活行動圏及び消費動向分析	8
1. 生活行動圏調査の調査要領・諸定義	8
2. 土浦市の商圈	10
3. 土浦市の余暇圏	18
4. 広域的にみた土浦の状況	24
5. 中学校地区別の状況	27
第3章 土浦市商業の現況と特性	35
1. 土浦市の商業を支える基礎的条件	35
2. 土浦商圈の特徴	42
3. 土浦市商業の特徴	46
4. 地区別の実態	47
5. 商店街関係先ヒアリング	62
6. 土浦市商業の課題整理	66
第4章 商業振興に向けてのまとめ	67
1. 土浦市の生活行動圏・商業活動の特徴	67
2. まちづくり視点のなかでの土浦市商業の振興方向性	69
資料編	71

第 1 章 土浦市の商業を取り巻く環境

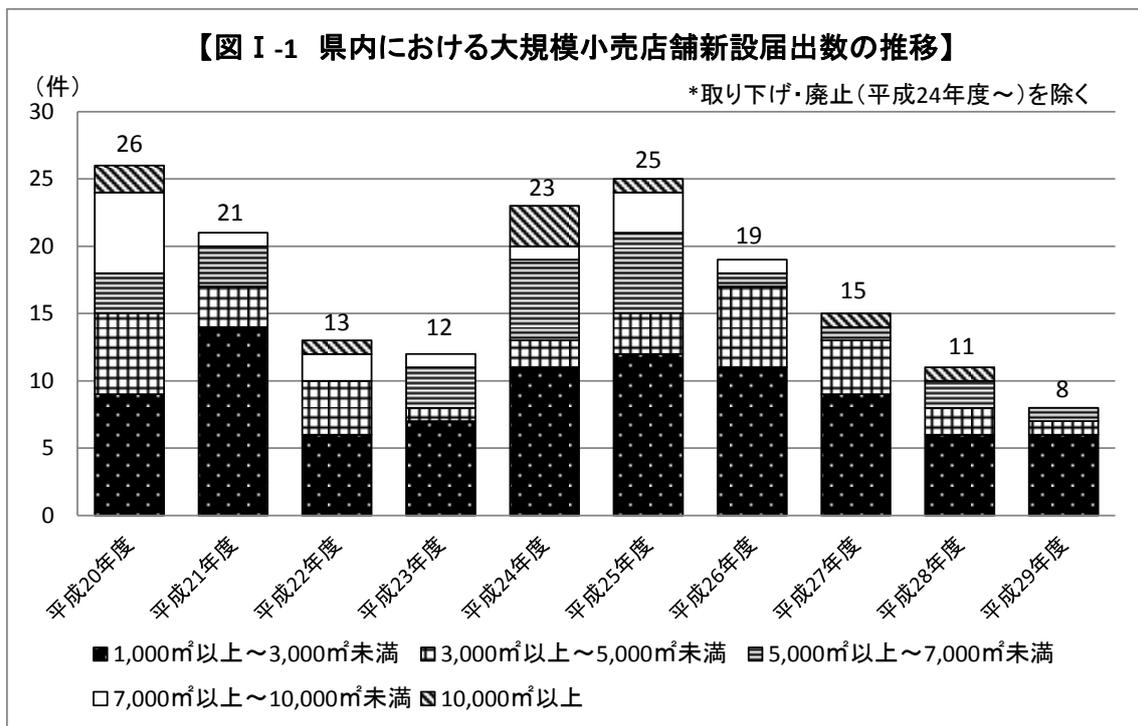
1. 商業を取り巻く環境の変化

県内の大規模小売店舗新設届出数は、平成 25 年度をピークに減少傾向に転じている。また、規模別にみると、大規模小売店舗のなかでは比較的小規模の 1,000 m²～3,000 m²未満の店舗数のウェイトが高まる傾向にある。

一方、最近では、西武筑波店（平成 29 年 2 月閉店）、イオンつくば駅前店（平成 30 年 2 月閉店）、丸井水戸店（平成 30 年 9 月閉店）等が閉店する等、大型小売店の撤退が相次いでいる。

小売業においては、広域商圏を持つ大型店どうしの競争が激化するばかりでなく、インターネットショッピングなどの購入手段の多様化が進行しており、業態を超えた競争環境が激しさを増しつつある。

土浦市では、平成 25 年 2 月に J R 土浦駅前の再開発ビル「URALA」から「イトーヨーカドー土浦店」が撤退し、平成 27 年 5 月から同跡地を利用して、土浦市役所が供用開始されている。また、土浦駅ビルでは、平成 30 年 3 月から、自転車利用拠点として、プレイアトレ土浦が開業している。



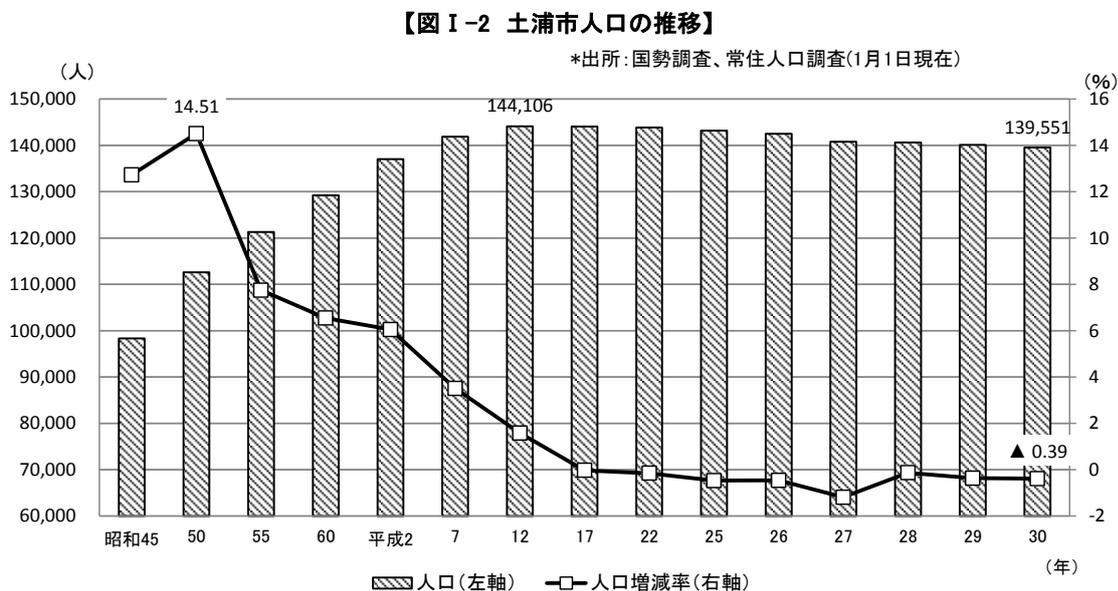
2. 各種データ等からみた土浦市の変化

土浦市の商業を整理していくうえで、商業を取り巻く環境として、人口動態の状況、事業所数等の変化について確認する。

(1) 人口

1) 人口（総数）の推移

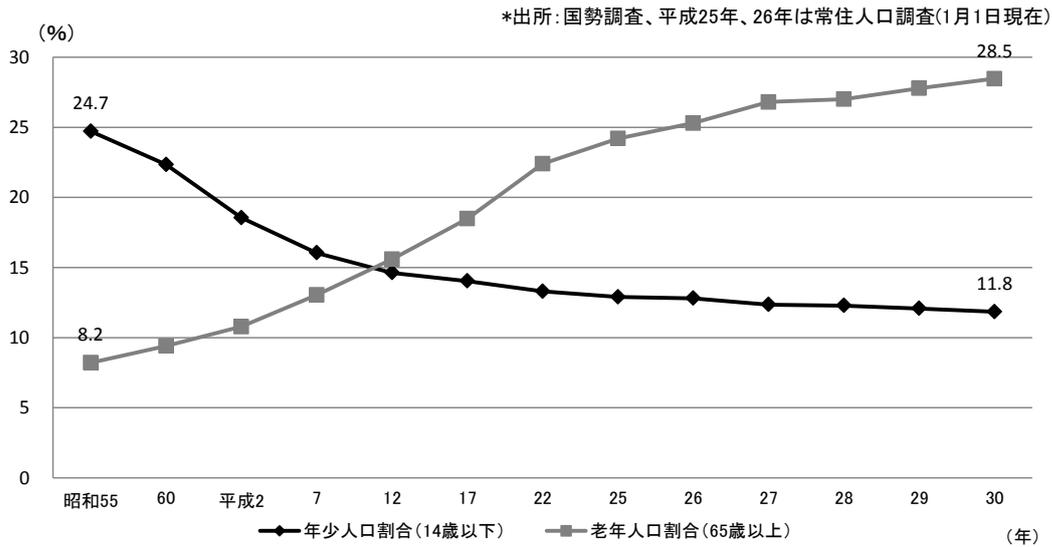
本市の人口をみると、昭和40年から平成12年まで増加していたものの、平成17年以降減少している。減少幅は平成26年以降県全体を上回っている。



2) 年少人口割合・老年人口割合、地区別人口の推移

老年人口割合は上昇しており、高齢化が他地域同様に進んでいる。人口推移を地区別にみると、土浦第二中学校区と土浦第四中学校区は平成29年、平成30年と前年対比で増加しているものの、それ以外の6学区の人口は減少している。

【図 I-3 土浦市年少人口割合・高齢者人口割合の推移】



【表 I-1 地域別人口の推移】

*出所: 土浦市常住人口調査(1月1日現在)

	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	人口	増減(%)																				
土浦第一中学校区	20,357	▲ 1.3	20,581	▲ 1.1	20,357	▲ 1.1	20,209	▲ 0.7	20,129	▲ 0.4	20,129	▲ 0.4	19,967	▲ 0.8	19,950	▲ 0.1	19,840	▲ 0.6	19,675	▲ 0.8	19,580	▲ 0.5
土浦第二中学校区	16,306	▲ 0.0	16,509	▲ 1.2	16,417	▲ 0.8	16,601	▲ 1.1	16,634	▲ 0.2	16,634	▲ 0.2	16,665	▲ 0.2	16,487	▲ 1.1	16,359	▲ 0.8	16,455	▲ 0.6	16,462	▲ 0.0
土浦第三中学校区	24,258	▲ 0.0	24,465	▲ 0.9	24,750	▲ 1.2	24,757	▲ 0.0	24,835	▲ 0.3	24,835	▲ 0.3	24,858	▲ 0.1	25,004	▲ 0.6	25,182	▲ 0.7	25,228	▲ 0.2	25,181	▲ 0.2
土浦第四中学校区	25,043	▲ 0.3	25,215	▲ 0.7	24,921	▲ 1.2	24,828	▲ 0.4	24,676	▲ 0.6	24,676	▲ 0.6	24,562	▲ 0.5	24,540	▲ 0.1	24,005	▲ 2.2	23,863	▲ 0.6	23,683	▲ 0.8
土浦第五中学校区	17,711	▲ 0.3	17,719	▲ 0.0	17,505	▲ 1.2	17,678	▲ 1.0	17,930	▲ 1.4	17,930	▲ 1.4	17,831	▲ 0.6	17,757	▲ 0.4	17,729	▲ 0.2	17,827	▲ 0.6	17,912	▲ 0.5
土浦第六中学校区	17,202	▲ 0.5	17,073	▲ 0.7	17,089	▲ 0.1	16,858	▲ 1.4	16,625	▲ 1.4	16,625	▲ 1.4	16,526	▲ 0.6	16,297	▲ 1.4	16,094	▲ 1.2	15,868	▲ 1.4	15,773	▲ 0.6
都和中学校区	14,131	▲ 1.6	14,022	▲ 0.8	13,970	▲ 0.4	13,943	▲ 0.2	13,828	▲ 0.8	13,828	▲ 0.8	13,652	▲ 1.3	13,499	▲ 1.1	13,181	▲ 2.4	13,054	▲ 1.0	12,959	▲ 0.7
新治中学校区	8,835	▲ 0.4	8,815	▲ 0.2	8,736	▲ 0.9	8,645	▲ 1.0	8,505	▲ 1.6	8,505	▲ 1.6	8,440	▲ 0.8	8,362	▲ 0.9	8,225	▲ 1.6	8,127	▲ 1.2	8,001	▲ 1.6
総数(人)	143,843	▲ 0.1	144,389	▲ 0.4	143,745	▲ 0.5	143,519	▲ 0.2	143,162	▲ 0.2	143,162	▲ 0.2	142,501	▲ 0.5	141,896	▲ 0.4	140,615	▲ 0.9	140,097	▲ 0.4	139,551	▲ 0.4

(2) 昼間人口

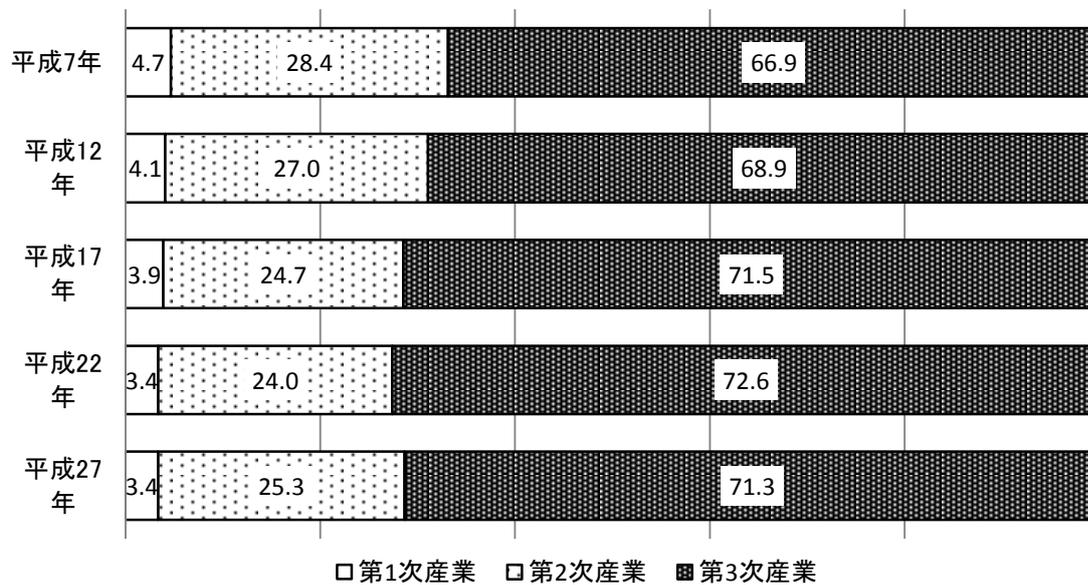
1) 就業構造

本市の就業構造をみると、第3次産業は平成7年から平成22年まで増加した一方、平成27年は減少した。直近の平成27年では、第3次産業が7割と最も高く、市の主要産業となっている。

【図 I-4 土浦市就業構造の推移】

*出所:国勢調査

(%)



2) JR 各駅の乗車人員の推移

土浦市内の JR 駅の乗車人員をみると、平成 29 年度において、土浦駅は 16,004 人、荒川沖駅は 8,230 人、神立駅は 5,468 人となっている。

経年変化をみると、土浦駅は長期的に減少傾向にあるが、平成 23 年以降は 16,000 人前後でほぼ横ばいとなっている。荒川沖駅は長期的に減少傾向にあったが、平成 26 年 8,084 人を底に僅かに増加傾向に転じている。神立駅は長期的に減少傾向にあったが、平成 22 年の 5,283 人を底にその後は 5,500 人前後で推移している。

なお、土浦商圏では、ひたち野うしく駅が増加傾向にあり、平成 29 年で 6,885 人となっている。

【図表 I-2 県内主要 JR 駅の一あたり平均乗車人員】

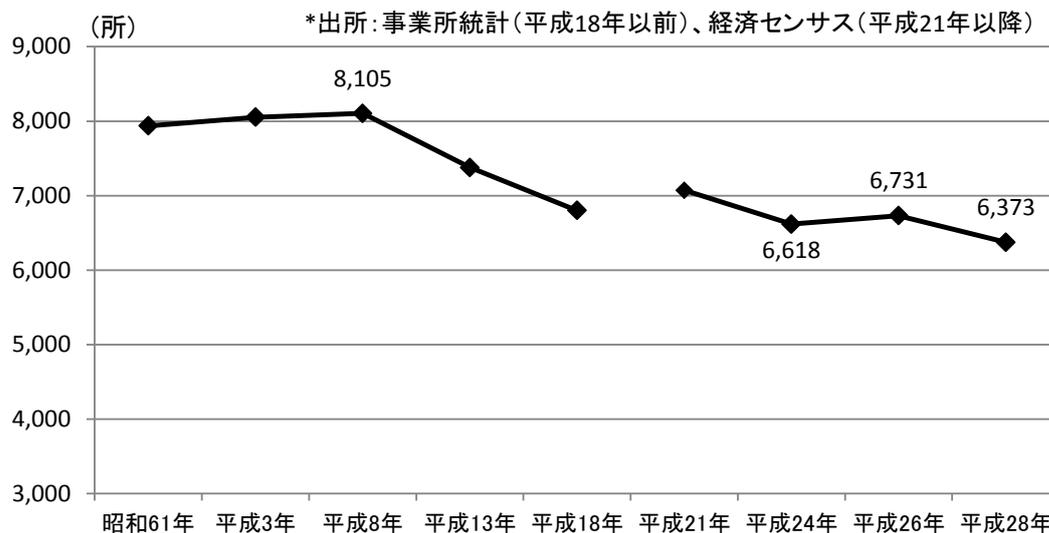
	平成 12年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	19~29年度 の増減
日立	13,723	13,353	12,882	12,274	12,030	11,788	11,894	12,112	12,240	12,030	11,626	11,182	11,693	11,651	11,309	11,423	11,461	11,317	▲795 -6.2%
水戸	30,421	30,161	29,561	28,936	29,034	29,216	28,859	28,513	28,284	27,896	27,109	26,699	28,041	29,040	28,782	29,767	30,034	30,148	1,635 5.5%
石岡	6,964	6,833	6,695	6,520	6,413	6,291	6,281	6,139	6,045	5,882	5,710	5,595	5,740	5,826	5,702	5,705	5,624	5,642	▲497 -7.4%
神立	6,406	6,093	5,804	5,824	5,726	5,567	5,506	5,536	5,574	5,313	5,283	5,289	5,475	5,495	5,406	5,532	5,422	5,468	▲68 -1.2%
土浦	21,507	20,691	20,207	19,644	19,477	18,574	17,796	17,524	17,277	17,053	16,497	16,055	16,233	16,236	15,928	16,223	16,057	16,004	▲1,520 -7.5%
荒川沖	12,303	11,924	11,383	11,084	11,008	10,198	9,512	9,467	9,296	9,016	8,674	8,445	8,451	8,391	8,084	8,184	8,163	8,230	▲1,237 -10.9%
ひたち野うしく	4,377	4,906	5,430	6,174	6,717	5,912	5,151	5,498	5,705	5,797	5,815	5,849	6,112	6,439	6,316	6,657	6,787	6,885	1,387 25.5%
牛久	21,644	20,748	19,870	19,108	18,553	17,881	17,138	16,722	16,111	15,333	14,691	13,922	13,789	13,826	13,360	13,333	13,123	12,895	▲3,827 -19.3%
佐貫	16,842	16,746	16,316	16,239	15,743	15,497	15,429	15,553	15,730	15,017	14,550	14,030	14,001	13,833	13,377	13,459	13,173	12,995	▲2,558 -15.7%
藤代	8,513	8,309	8,038	7,868	7,858	7,844	7,851	7,863	7,866	7,620	7,363	7,095	6,984	6,801	6,520	6,552	6,510	6,478	▲1,385 -17.2%
取手	48,126	47,236	45,708	44,623	43,788	38,997	34,056	32,840	31,886	30,662	29,563	28,315	27,768	27,901	27,410	28,450	28,068	27,741	▲5,099 -11.2%

*出所：JR東日本 (人)

3) 事業所数および従業者数の推移

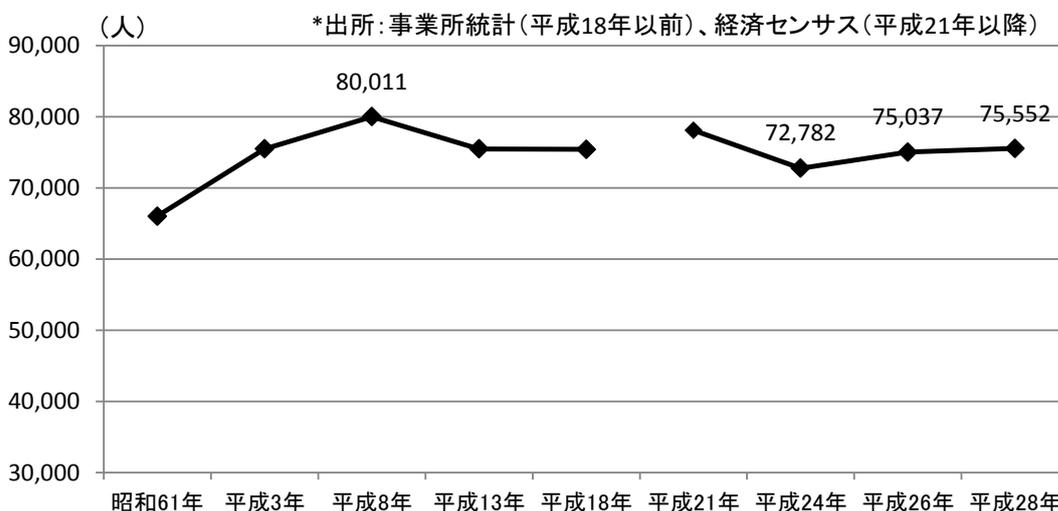
本市の事業所数は、平成8年より減少傾向が続いている。一方、従業者数は、平成26年より増加に転じている。

【図 I-5 土浦市事業所数の推移】



「事業所統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

【図 I-6 土浦市従業者数の推移】



「事業所統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

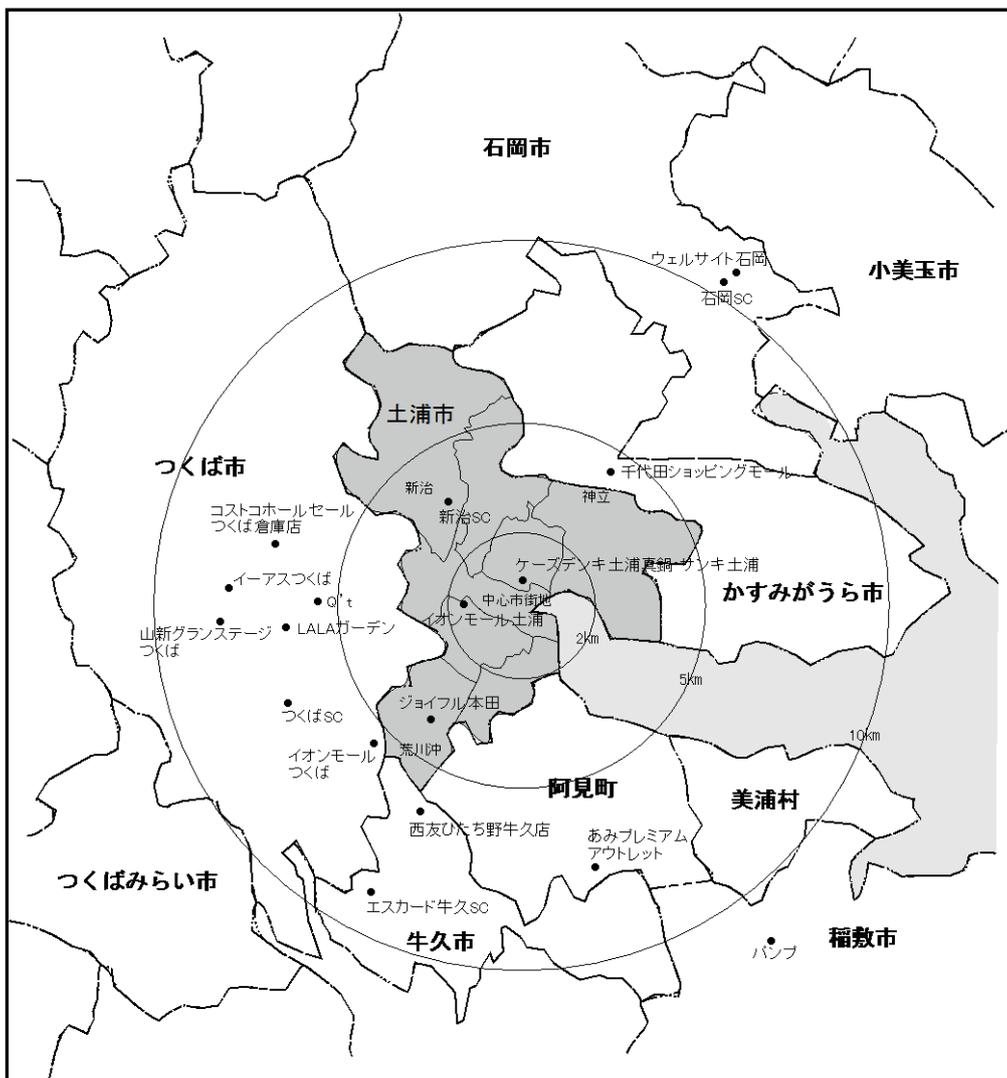
(4) 土浦市及び周辺市町村における大型店の立地状況

土浦市及び周辺市町村における大規模小売店舗（店舗面積 10,000 m²以上）の立地状況をみると、土浦市は、主な商業地区である中心市街地、神立、荒川沖、新治のうち中心市街地、神立を除く地区に各1店舗立地し、ロードサイドに立地する2店舗を含め計4店舗立地している。前回調査の平成26年以降の動きでは、荒川沖SC（土浦市）が閉店している。

一方、周辺市町村をみると、つくば市に6店舗、牛久市に2店舗、石岡市、かすみがうら市、稲敷市（江戸崎地区）に各1店舗それぞれ立地している。前回調査の平成26年以降の動きでは、クレオ（つくば市）が閉店している。

以上のように、県内の大規模小売店舗新設届出数が平成25年以降減少し、新規出店が減少しているばかりでなく、10,000 m²を超える県内の大規模小売店舗では閉店や退店の動きが進行しつつある。

【図 I-7 大規模小売店舗（店舗面積 10,000 m²以上）の立地状況】



第2章 土浦市の生活行動圏及び消費動向分析

この章では、一般財団法人常陽地域研究センターが平成27年に実施した茨城県生活行動圏調査の結果から、土浦市民の生活行動についてその特性を探る。また、隣接するつくば市との関係は両市にとって重要な関心事項であることから、つくば市についてもその動きを紹介し、両市の関係について分析を行う。

1. 生活行動圏調査の調査要領・諸定義

第7回茨城県生活行動圏調査の概要は以下の通りである。

調査時点	平成27年7月1日（前回：平成24年7月1日）
調査対象地域	茨城県内全域
調査対象	県内公立中学校第1学年生徒を子女に持つ全世帯（25,155世帯）
有効回答数	19,028票（有効回答率75.6%）
	※美浦村については、アンケートの協力が得られなかったため、データ未入手。

（1）吸収率・流出率の算出方法

“なに（買い物・余暇）をするために、どこ（特定場所）へ行ったか”という人の流れを、市町村単位の流出率・吸収率で把握し、個々の市町村における住民の生活行動を明らかにしている。

調査はアンケート方式で、各回答項目に対して、調査時点（平成27年7月1日）までの1年以内に行ったことのある市町村を複数マークできる。従って、流出率・吸収率は頻度ではなく、一度でも行ったことのある経験を重視している。

調査対象の市町村からある特定の市町村へ出かける流出率は以下の方式で算出する。

$$\text{特定市町村への流出率} = \frac{\text{有効回答数の中で特定市町村をマークした数}}{\text{調査対象都市居住世帯の有効回答数}} \times 100$$

- 「特定市町村への流出率」は、行き先となった特定市町村から見れば、逆に吸収率（調査対象都市からの吸収率）ということになる。
- 「特定市町村＝調査対象都市」の場合、「特定市町村への流出率」は地元吸収率となる。

参考までに次に事例を示しておく。

「A市の地元吸収率」と「A市からB町への流出率（B町のA市に対する吸収率）」

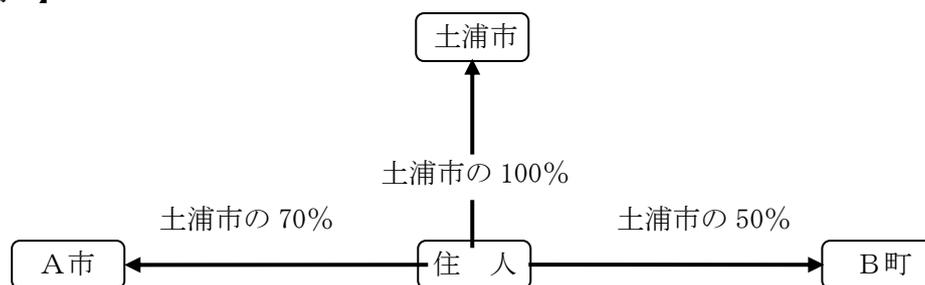
$$\text{A市の地元吸収率} = \frac{\text{A市の有効回答数の中でA市をマークした数}}{\text{A市の有効回答数}} \times 100$$

$$\text{A市からB市への流出率} = \frac{\text{A市の有効回答数の中でB町をマークした数}}{\text{A市の有効回答数}} \times 100$$

(B町のA市に対する吸収率)

このように、「生活行動圏調査」の分母は、調査対象都市の有効回答数となっている。この結果、「地元吸収率」と「他市町村への流出率」との合計は、次に例示するようにほぼ間違いなく100%を超過することになる。

【 例 】



土浦市に住む人のうち、地元の土浦市で買い物をした割合は100%（地元吸収率100%）で、A市には70%（A市への流出率70%）が、B町には50%（B町への流出率50%）が買い物に行っており、全体の合計は220%に達する。

（2）エリア区分・吸収人口について

商圈・余暇圏は、買い物行動、余暇行動について自市町村も含め他市町村からどれだけの住民を吸収しているか、その範囲を示したものである。吸収率の大きさに応じて、①吸収率50%以上、②25～50%未満、③10～25%未満の3エリアに分類した。ただし、「買い物」「余暇」行動はそれぞれ性格を異にするため、両方をトータルした生活行動としてエリア設定は行っていない。

また、吸収人口（商圈・余暇人口）については、上記3エリアに属さない僅少な吸収先からの流入人口も加算している。吸収率10%未満の市町村も、吸収人口の対象に含めている。

2. 土浦市の商圈

(1) 土浦商圈の状況

平成 27 年 7 月 1 日までの 1 年以内に土浦市で買い物行動をしたことのある市民が 10%以上の市町村を、「土浦商圈」と定義する。

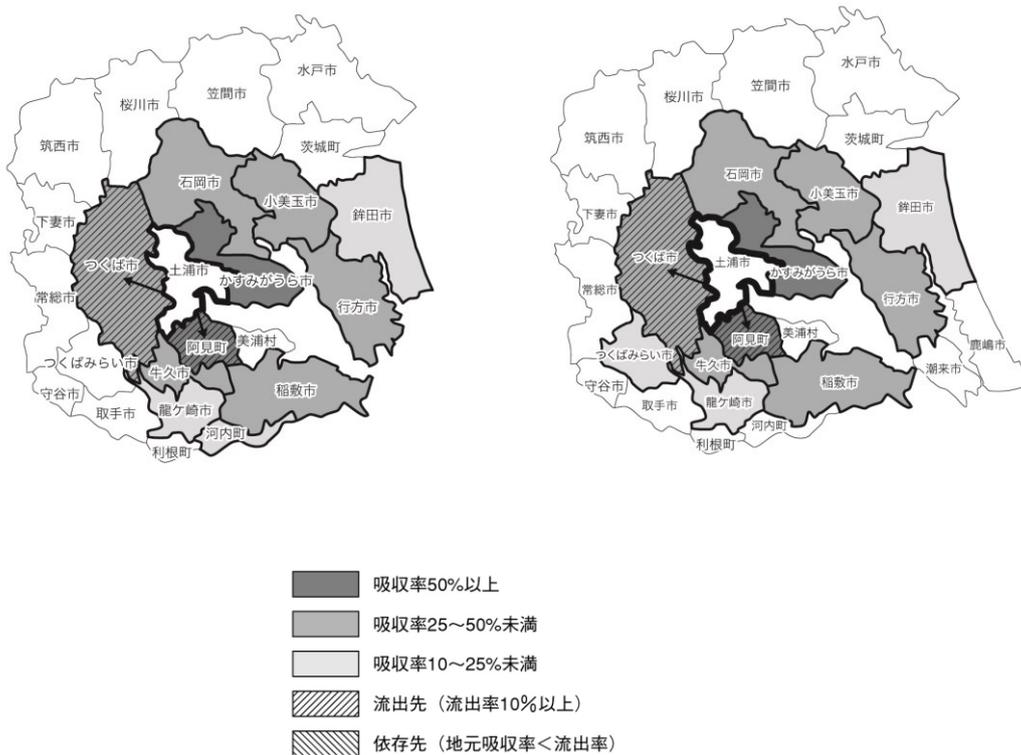
平成 27 年の土浦商圈は、12 市町村（土浦市を除く）で構成されており、水戸市、つくば市、ひたちなか市に次いで広い商圈を形成している。隣接する全ての市町村から商圈行動を吸収しており、かすみがうら市、阿見町については吸収率が 50%を超えるなど、広域のかつ拠点性のある商圈を形成している。

また、平成 24 年と比較すると、河内町が商圈に加わり、商圈は拡大している。なお、美浦村については、アンケートデータが未入手のため不明となっている。

一方、他市町村への流出状況をみると、つくば市、阿見町に 10%以上流出している。

【図Ⅱ-1 平成 27 年の商圈】

【図Ⅱ-2 平成 24 年の商圈】



(2) 商圏の性格

生活行動圏調査では、地元吸収率よりも高い他市町村への流出率を持つ市町村を「依存型市町村」、地元吸収率がどの市町村への流出率よりも高く、依存先を持たない市町村を「自立型市町村」、自立型で且つ他市町村から依存されている市町村を「吸収型市町村」と分類している。

この分類に基づき項目ごとに土浦商圏の性格をみると、土浦市は「食料品・日用品」では自立型、残り4項目では吸収型となっている。

依存市町村はかすみがうら市、石岡市、阿見町で、かすみがうら市、阿見町は5項目、石岡市は3項目で土浦市に依存している。平成24年調査では依存市町村として、つくばみらい市、行方市、小美玉市、河内町が入っていたが、今回調査では依存からなくなり、石岡市が新たに加わった。朝日トンネルの開通などが要因として考えられる。

【表Ⅱ-1 土浦市に商圏行動で依存する市町村（平成27年）】

項目	タイプ	依存する市町村	
		市町村数	市町村名
食料品・日用品	自立型	2	かすみがうら市 阿見町
紳士服・婦人服・子供服	吸収型	3	石岡市、かすみがうら市 阿見町
身の回り品	吸収型	3	石岡市、かすみがうら市 阿見町
リビング用品	吸収型	2	かすみがうら市 阿見町
余暇・趣味関連用品	吸収型	3	石岡市、かすみがうら市 阿見町

(3) 商圏人口

平成 27 年 7 月 1 日までの 1 年以内に土浦市で買い物行動をしたことのある人数を「土浦商圏の商圏人口」とすると 47 万人であり、平成 24 年調査（48 万 7 千人）より若干減少している。

市内からの吸収人口は 13 万 1 千人となり、平成 24 年調査より 2 千人減少、行政人口に占める割合は 92.7%と 0.2 ポイント低下している。

他市町村からの吸収人口で最も多いのは、つくば市の 6 万 8 千人となり、平成 24 年調査より 1 万人減少している。2 位以降の市町村では、石岡市とかすみがうら市からの吸収人口は増加している一方で、阿見町、牛久市からの吸収人口は減少している。個別項目では、「紳士服・婦人服・子供服」の吸収人口が 57 万人と最も多く、次いで「食料品・日用品」の 53 万人、「余暇・趣味関連用品」の 51 万人が続いている。

全体の傾向として、北部隣接市からの吸収力が高まる一方で、それ以外の市町村からの吸収力は低下している。

【表Ⅱ-2 吸収人口（商圏行動）】（単位：人、％）

		商 圏		食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連用品	
吸収人口計		332.5%	469,815	372.8%	526,693	402.2%	568,289	310.8%	439,052	218.6%	308,797	358.3%	506,245
うち市内から		92.7%	131,013	97.9%	138,358	93.9%	132,683	90.8%	128,281	86.7%	122,489	94.3%	133,256
他 市 町 村 か ら	1	つくば市	67,895	つくば市	89,715	つくば市	75,715	つくば市	57,280	つくば市	38,508	つくば市	78,259
	2	石岡市	37,767	石岡市	35,699	石岡市	49,258	石岡市	41,439	かすみがうら市	34,057	石岡市	42,940
	3	かすみがうら市	36,016	かすみがうら市	34,421	阿見町	38,467	かすみがうら市	35,672	阿見町	26,461	かすみがうら市	38,059
	4	阿見町	33,212	阿見町	32,785	かすみがうら市	37,873	阿見町	32,028	石岡市	19,501	阿見町	36,320
	5	牛久市	22,408	牛久市	26,798	牛久市	27,108	牛久市	18,140	牛久市	14,418	牛久市	25,578

(4) 商圏吸収率

自市町村の行政人口に対する商圏吸収人口の割合を見ると、土浦商圏は土浦市の行政人口の332.5%と市民全体の3.3倍の吸収人口を持っているものの、平成24年調査比7.4ポイント低下している。

各市町村からの吸収率を見ると、かすみがうら市の86.2%が最も高く、50%を超える市町村が2市町村、25～50%未満が6市町村、10～25%未満が3市町村である。平成24年調査と比べると、かすみがうら市、石岡市の吸収率が上昇している。

個別項目では、「紳士服・婦人服・子供服」の吸収率402.2%が最も高いものの、平成24年調査に比べ17ポイント低下している。この他、「食料品・日用品」、「身の回り品」では10ポイント程度低下、「リビング用品」、「余暇・趣味関連商品」では数ポイント上昇している。

【表Ⅱ-3 商圏吸収率】(単位：%)

	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品
吸収人口計/行政人口	332.5%	372.8%	402.2%	310.8%	218.6%	358.3%
うち市内から	92.7%	97.9%	93.9%	90.8%	86.7%	94.3%
他市町村から	1 かすみがうら市 86.2%	かすみがうら市 82.4%	かすみがうら市 90.6%	かすみがうら市 85.3%	かすみがうら市 81.5%	かすみがうら市 91.1%
	2 阿見町 69.1%	阿見町 68.2%	阿見町 80.1%	阿見町 66.7%	阿見町 55.1%	阿見町 75.6%
	3 石岡市 49.7%	石岡市 47.0%	石岡市 64.8%	石岡市 54.5%	石岡市 25.7%	石岡市 56.5%
	4 行方市 32.2%	つくば市 40.3%	行方市 44.5%	小美玉市 33.9%	つくば市 17.3%	稲敷市 36.4%
	5 稲敷市 31.2%	稲敷市 36.6%	小美玉市 40.6%	行方市 33.0%	牛久市 17.1%	つくば市 35.1%
	6 つくば市 30.5%	行方市 34.5%	稲敷市 38.8%	稲敷市 27.6%	稲敷市 16.5%	行方市 34.8%
	7 小美玉市 29.5%	牛久市 31.8%	つくば市 34.0%	つくば市 25.7%	行方市 14.4%	小美玉市 30.5%
	8 牛久市 26.6%	小美玉市 30.5%	牛久市 32.2%	牛久市 21.5%	小美玉市 11.9%	牛久市 30.4%
	9 龍ヶ崎市 16.0%	龍ヶ崎市 17.9%	龍ヶ崎市 20.1%	河内町 14.6%	龍ヶ崎市 7.2%	龍ヶ崎市 20.9%
	10 鉾田市 13.0%	鉾田市 14.8%	鉾田市 17.9%	龍ヶ崎市 14.1%	河内町 4.1%	鉾田市 16.4%
	11 河内町 12.0%	河内町 14.0%	潮来市 16.4%	鉾田市 12.0%	鉾田市 4.1%	河内町 15.1%
	12 下妻市 9.0%	つくばみらい市 11.4%	常総市 13.1%	潮来市 8.8%	桜川市 3.6%	利根町 12.0%
	13 潮来市 8.9%	利根町 10.2%	桜川市 13.0%	下妻市 8.2%	下妻市 3.5%	下妻市 10.6%
	14 常総市 8.3%	下妻市 10.1%	下妻市 12.7%	常総市 7.7%	鹿嶋市 3.4%	常総市 10.1%
	15 桜川市 8.3%	常総市 9.6%	河内町 12.0%	桜川市 7.4%	取手市 2.9%	潮来市 9.0%
	16 利根町 8.2%	桜川市 9.6%	利根町 11.1%	利根町 6.2%	守谷市 2.7%	取手市 7.8%
	17 つくばみらい市 7.0%	取手市 9.6%	鹿嶋市 10.0%	笠間市 6.2%	潮来市 2.5%	桜川市 7.7%
	18 取手市 6.7%	笠間市 8.3%	笠間市 9.7%	取手市 5.6%	笠間市 2.5%	つくばみらい市 7.3%
	19 鹿嶋市 6.6%	潮来市 8.0%	つくばみらい市 8.9%	つくばみらい市 5.5%	つくばみらい市 1.8%	鹿嶋市 6.6%
	20 笠間市 6.4%	鹿嶋市 7.8%	神栖市 8.1%	鹿嶋市 5.0%	常陸太田市 1.7%	守谷市 6.1%

(5) 業態別買い物行動

土浦市における業態別買い物行動の推移をみると、「食料品・日用品」はスーパーが最も高く、平成 24 年では若干低下したが、再び上昇している。「紳士服・婦人服・子供服」、「身の回り品」はいずれも百貨店・大型店が最も高く、平成 27 年ではそれぞれ 84.6%、79.5%で上昇傾向にある。「リビング用品」は専門量販店が最も高く、平成 24 年は低下したが、平成 27 年は多少上昇している。「余暇・趣味関連商品」は、平成 21 年までは専門量販店が最も高かったが、以降は百貨店・大型店が最も高くなるとともに、その後も上昇傾向にあり、平成 27 年は 72.5%となっている。

次に業態ごとにみると、百貨店・大型店で買い物をする割合が全項目で上昇傾向を継続している。また、インターネットショッピングも「リビング用品」を除き同様の傾向がみられる。一方で、カタログ・テレビショッピングで買い物をする割合は「食料品・日用品」を除き、低下傾向にある。また、平成 18 年と平成 24 年を比較すると、百貨店・大型店、インターネットショッピングで「紳士服・婦人服・子供服」の買い物をする割合が上昇している一方、一般商店・専門店で「リビング用品」の買い物をする割合や、スーパー、コンビニで「余暇・趣味関連用品」の買い物をする割合が低下している。

【表Ⅱ-4 業態別買い物行動の推移】(単位：%)

	一般商店・専門店				スーパー				百貨店・大型店				専門量販店				コンビニ			
	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年
食料品・日用品	28.4	24.9	22.8	21.8	82.1	84.6	81.6	84.2	54.0	60.8	63.4	68.0	44.1	47.0	39.5	40.7	40.4	48.0	41.5	52.0
紳士服・婦人服・子供服	20.0	14.2	16.2	16.8	8.4	6.5	9.4	5.5	78.8	77.5	83.0	84.6	41.0	45.4	50.2	45.9	0.0	0.5	0.4	0.2
身の回り品	29.4	27.0	14.6	15.6	9.5	7.4	7.4	4.5	63.6	69.0	78.5	79.5	42.6	45.1	38.2	39.9	0.0	0.6	0.6	0.2
リビング用品	16.8	14.4	11.4	8.0	2.4	4.7	4.0	3.2	29.8	34.4	45.1	50.9	77.0	75.5	67.7	71.3	0.2	0.5	0.6	0.2
余暇・趣味関連用品	37.5	33.5	20.7	19.0	12.8	13.9	10.9	9.2	45.1	51.6	64.1	72.5	66.4	64.7	57.5	57.2	8.3	8.6	7.3	5.9
	訪問販売・外商				農産物直売所				カタログ・テレビショッピング				インターネットショッピング				生協等の共同購入・個別宅配			
	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年	H18年	H21年	H24年	H27年
食料品・日用品	-	-	-	-	22.6	30.3	24.7	28.3	12.0	14.5	6.4	7.0	7.9	11.2	10.8	12.5	25.9	29.2	24.2	24.3
紳士服・婦人服	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	15.4	9.6	7.4	6.9	9.6	13.7	16.7	5.2	4.9	4.1	6.1
身の回り品	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	7.7	3.8	2.5	8.1	8.3	10.8	15.1	2.1	3.9	1.2	1.7
リビング用品	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	10.4	5.9	3.6	6.3	9.4	14.2	14.0	2.4	3.6	1.6	1.4
余暇・趣味関連用品	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.3	2.6	2.9	2.3	1.4	12.8	19.9	18.2	20.7	5.7	5.3	2.3	3.1

※インターネットショッピングは H21 年調査から「パソコンインターネットショッピング」と「携帯インターネットショッピング」に分割している。表には「パソコンインターネットショッピング」を掲載。

(6) 買い物行動における流出の状況

土浦市の他市町村への流出状況を見ると、つくば市が8万3千人(58.6%)で最も多く、次いで阿見町が1万7千人(11.7%)、牛久市が1万4千人(9.7%)、東京都が1万2千人(8.3%)で続いている。

平成24年調査と比較すると、全項目でつくば市が1位となっており、つくば市への流出は1万3千人(10.2ポイント)増加している。順位では、5位まで変動なく、千葉県(平成24年:7位)が6位に上昇している。

【表Ⅱ-5 商圏流出率】(単位:人、%)

		商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品
他市町村へ	1	つくば市 82,822 58.6%	つくば市 81,805 57.9%	つくば市 92,118 65.2%	つくば市 79,544 56.3%	つくば市 70,643 50.0%	つくば市 89,999 63.7%
	2	阿見町 16,502 11.7%	阿見町 27,127 19.2%	阿見町 26,420 18.7%	阿見町 17,096 12.1%	牛久市 18,367 13.0%	牛久市 14,694 10.4%
	3	牛久市 13,676 9.7%	かすみがうら市 21,475 15.2%	東京都 18,226 12.9%	東京都 12,574 8.9%	埼玉県 7,629 5.4%	東京都 12,009 8.5%
	4	東京都 11,755 8.3%	牛久市 19,921 14.1%	千葉県 12,857 9.1%	千葉県 7,347 5.2%	かすみがうら市 5,369 3.8%	阿見町 9,042 6.4%
	5	かすみがうら市 9,720 6.9%	東京都 12,009 8.5%	牛久市 8,760 6.2%	牛久市 6,640 4.7%	東京都 3,956 2.8%	かすみがうら市 8,477 6.0%
	6	千葉県 8,138 5.8%	千葉県 10,455 7.4%	かすみがうら市 7,771 5.5%	かすみがうら市 5,510 3.9%	千葉県 3,532 2.5%	千葉県 6,499 4.6%
	7	埼玉県 5,595 4.0%	石岡市 8,760 6.2%	埼玉県 6,923 4.9%	埼玉県 3,391 2.4%	石岡市 3,250 2.3%	石岡市 3,250 2.3%
	8	石岡市 3,984 2.8%	埼玉県 6,923 4.9%	水戸市 6,075 4.3%	水戸市 2,119 1.5%	阿見町 2,826 2.0%	埼玉県 3,108 2.2%
	9	水戸市 3,334 2.4%	龍ヶ崎市 5,086 3.6%	石岡市 3,108 2.2%	石岡市 1,554 1.1%	水戸市 848 0.6%	水戸市 3,108 2.2%
	10	龍ヶ崎市 2,119 1.5%	水戸市 4,521 3.2%	龍ヶ崎市 3,108 2.2%	龍ヶ崎市 989 0.7%	龍ヶ崎市 424 0.3%	ひたちなか市 1,554 1.1%

(7) 県外都市への買い物行動

東京都を除く県外都市への買い物行動を市町村別にみると、柏市が1万4千人(9.9%)で最も多い。次いで、三郷市が1万1千人(8.1%)、浦安市が9千人(6.5%)となっている。前回調査との比較では、三郷市への流出が4千人減少したのに対し、柏市への流出は4千人増加している。

また、県内市町村別に見た東京都への流出率をみると、土浦市は平成24年調査では上位10市町村に入っている項目はなかったが、いずれの項目も上位10市町村に入ってきており、東京都への流出が増加している。

一方、推計人口をみると、土浦市は全項目6位以内となっている。

【表Ⅱ-6 買い物行動における県外都市への流出人口・流出率】(単位：人・%)

都道府県	市町村	流出人口	流出率
合 計		78,273	55.4
千 葉 県	柏市	14,003	9.9
	浦安市	9,156	6.5
	成田市	5,565	3.9
	船橋市	5,206	3.7
	千葉市	2,334	1.7
	印西市	1,975	1.4
	松戸市	1,795	1.3
	流山市	1,616	1.1
	野田市	1,616	1.1
	銚子市	898	0.6
	我孫子市	539	0.4
	木更津市	539	0.4
	酒々井町	539	0.4
埼 玉 県	三郷市	11,490	8.1
	越谷市	5,565	3.9
	さいたま市	1,616	1.1
	春日部市	1,077	0.8
栃 木 県	宇都宮市	3,052	2.2
	佐野市	2,693	1.9
	那須塩原市	1,436	1.0
	日光市	718	0.5
	小山市	539	0.4
	真岡市	539	0.4
福 島 県	いわき市	2,513	1.8
	郡山市	1,257	0.9

【表Ⅱ-7 買い物行動で東京都へ流出する市町村】(単位：%・人)

食料品・日用品			
流出率		推計人口	
五霞町	10.6	つくば市	20,050
取手市	10.4	水戸市	18,960
つくばみらい市	9.8	土浦市	12,009
牛久市	9.6	取手市	11,100
かすみがうら市	9.4	日立市	9,907
つくば市	9.0	古河市	9,565
稲敷市	8.9	ひたちなか市	8,611
守谷市	8.6	牛久市	8,085
土浦市	8.5	神栖市	7,069
境町	8.5	龍ヶ崎市	6,453

リビング用品			
流出率		推計人口	
つくばみらい市	7.0	つくば市	12,030
守谷市	5.7	水戸市	6,772
鹿嶋市	5.6	取手市	5,763
取手市	5.4	日立市	4,770
つくば市	5.4	牛久市	4,127
牛久市	4.9	土浦市	3,956
常陸大宮市	3.0	古河市	3,939
石岡市	2.9	ひたちなか市	3,758
古河市	2.8	鹿嶋市	3,744
土浦市	2.8	守谷市	3,678

紳士服・婦人服・子供服			
流出率		推計人口	
つくばみらい市	17.3	つくば市	31,634
境町	15.6	水戸市	27,899
取手市	14.5	古河市	18,568
守谷市	14.4	土浦市	18,226
鹿嶋市	14.3	取手市	15,476
つくば市	14.2	ひたちなか市	14,561
牛久市	13.8	日立市	13,576
古河市	13.2	神栖市	12,253
神栖市	13.0	牛久市	11,622
土浦市	12.9	龍ヶ崎市	10,151

余暇・趣味関連用品			
流出率		推計人口	
守谷市	13.1	つくば市	24,059
つくば市	10.8	水戸市	17,606
牛久市	10.6	古河市	12,097
つくばみらい市	9.7	土浦市	12,009
取手市	9.3	ひたちなか市	11,273
五霞町	9.3	日立市	10,458
鹿嶋市	8.7	取手市	9,926
古河市	8.6	牛久市	8,927
神栖市	8.5	守谷市	8,454
土浦市	8.5	神栖市	8,012

身の回り品			
流出率		推計人口	
取手市	12.5	つくば市	24,059
つくばみらい市	11.4	水戸市	18,689
守谷市	10.9	古河市	14,066
つくば市	10.8	取手市	13,341
鹿嶋市	10.6	土浦市	12,574
牛久市	10.5	ひたちなか市	11,586
古河市	10.0	日立市	10,091
神栖市	9.6	神栖市	9,049
結城市	9.3	牛久市	8,843
土浦市	8.9	鹿嶋市	7,088

(2) 余暇圏の性格

余暇行動に関しても、買い物行動と同様に地元吸収率よりも高い流出先を持つ市町村を「依存型市町村」、地元吸収率がどの市町村への流出率よりも高く、依存先を持たない市町村を「自立型市町村」、自立型で且つ他市町村から依存されている市町村を「吸収型市町村」と分類する。

この分類に基づき項目ごとに土浦余暇圏の性格をみると、土浦市は「芸術・文化活動」、「アウトドアライフ」では自立型、「娯楽活動」、「スポーツ」、「家族連れの外食」では吸収型となっており、平成 24 年調査と変わりはない。

依存する市町村は石岡市、かすみがうら市、阿見町で、かすみがうら市及び阿見町は 3 項目、石岡市は 2 項目で土浦市に依存している。平成 24 年調査で依存していた行方市、小美玉市、河内町は依存から消え、余暇活動における広域的な誘客性が弱まっているとみられる。

【表Ⅱ-8 土浦市に余暇行動で依存する市町村（平成 27 年）】

項 目	タイプ	依存する市町村	
		市町村数	市 町 村 名
芸術・文化活動	自立型	0	—
娯楽活動	吸収型	3	石岡市、かすみがうら市 阿見町
アウトドアライフ	自立型	0	—
スポーツ	吸収型	2	かすみがうら市 阿見町
家族連れの外食	吸収型	3	石岡市、かすみがうら市 阿見町

(3) 余暇圏人口

平成 27 年 7 月 1 日までの 1 年以内に、土浦市で余暇圏行動をしたことのある人数を「土浦余暇圏の余暇圏人口」とすると、余暇圏人口は 33 万 8 千人であり、商圈人口と比較して 13 万 2 千人少ない。また、平成 24 年調査より 1 千人減少している。

市内からの吸収人口は、11 万 6 千人となっており、行政人口に占める割合も 82.0%となり、平成 24 年調査より、人数は 1 千人減少しているものの、0.1 ポイント上昇している。

吸収している他市町村は、つくば市が 4 万 1 千人で最も多く、次いでかすみがうら市、阿見町となっている。

個別項目では、全項目でつくば市が最も多くなっている。

【表Ⅱ-9 吸収人口（余暇圏行動）】（単位：人、％）

	余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食	
	％	人	％	人	％	人	％	人	％	人	％	人
吸収人口計	239.2%	338,002	157.4%	222,367	274.7%	388,114	152.3%	215,194	224.3%	316,915	387.5%	547,419
うち市内から	82.0%	115,894	81.8%	115,573	85.5%	120,807	64.5%	91,064	83.2%	117,516	95.2%	134,511
他市町村から	1	つくば市 40,729	つくば市 19,990	つくば市 43,807	つくば市 26,982	つくば市 38,770	つくば市 74,096					
	2	かすみがうら市 27,193	阿見町 19,975	石岡市 43,293	かすみがうら市 16,254	阿見町 25,215	石岡市 49,065					
	3	阿見町 26,118	かすみがうら市 19,772	かすみがうら市 37,132	阿見町 14,112	かすみがうら市 23,709	かすみがうら市 39,095					
	4	石岡市 25,048	牛久市 9,097	阿見町 34,263	石岡市 13,443	牛久市 14,223	阿見町 37,025					
	5	牛久市 14,790	石岡市 6,959	小美玉市 17,117	牛久市 8,960	石岡市 12,481	牛久市 24,732					

(4) 余暇圏吸収率

自市町村の行政人口に対する余暇圏吸収人口の割合を見ると、土浦余暇圏は土浦市の行政人口の239.2%と市民全体の約2.4倍の吸収人口を持ち、平成24年調査比2.6ポイント上昇している。

各市町村からの吸収率を見ると、かすみがうら市の65.0%を筆頭に、阿見町が54.4%、石岡市が33.0%で続いている。平成24年調査と比べると、かすみがうら市、阿見町、石岡市、小美玉市など上位市町村からの吸収率が高まっており、全体的にみて土浦の影響力は強まっているとみられる。

個別の項目では、全項目でかすみがうら市が最も高くなっている。

【表Ⅱ-10 余暇圏吸収率】(単位：%)

		余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食	
吸収人口計/行政人口		239.2%		157.4%		274.7%		152.3%		224.3%		387.5%	
うち市内から		82.0%		81.8%		85.5%		64.5%		83.2%		95.2%	
他市町村から	1	かすみがうら市	65.0%	かすみがうら市	47.3%	かすみがうら市	88.8%	かすみがうら市	38.9%	かすみがうら市	56.7%	かすみがうら市	93.5%
	2	阿見町	54.4%	阿見町	41.6%	阿見町	71.3%	阿見町	29.4%	阿見町	52.5%	阿見町	77.1%
	3	石岡市	33.0%	牛久市	10.8%	石岡市	57.0%	石岡市	17.7%	稲敷市	20.3%	石岡市	64.6%
	4	小美玉市	21.7%	石岡市	9.2%	小美玉市	33.6%	つくば市	12.1%	つくば市	17.4%	行方市	44.9%
	5	稲敷市	20.0%	つくば市	9.0%	行方市	30.0%	牛久市	10.6%	牛久市	16.9%	小美玉市	43.9%
	6	行方市	19.2%	小美玉市	8.6%	稲敷市	28.3%	小美玉市	8.8%	石岡市	16.4%	稲敷市	37.4%
	7	つくば市	18.3%	稲敷市	7.6%	牛久市	20.1%	利根町	8.7%	小美玉市	13.7%	つくば市	33.3%
	8	牛久市	17.6%	行方市	7.4%	つくば市	19.7%	稲敷市	6.5%	取手市	10.4%	牛久市	29.4%
	9	龍ヶ崎市	9.5%	河内町	3.6%	龍ヶ崎市	17.4%	行方市	5.7%	つくばみらい市	8.1%	鉾田市	23.6%
	10	鉾田市	8.5%	潮来市	3.1%	鉾田市	9.3%	桜川市	4.5%	行方市	7.9%	龍ヶ崎市	17.3%
	11	利根町	6.7%	下妻市	2.8%	利根町	6.8%	龍ヶ崎市	4.1%	龍ヶ崎市	7.2%	桜川市	12.8%
	12	取手市	5.9%	鉾田市	2.6%	取手市	5.4%	境町	3.8%	守谷市	7.0%	利根町	12.0%
	13	桜川市	5.7%	取手市	2.5%	下妻市	5.2%	河内町	3.7%	河内町	6.1%	潮来市	11.4%
	14	河内町	5.6%	大子町	2.1%	桜川市	5.0%	常総市	3.6%	下妻市	5.9%	下妻市	10.7%
	15	下妻市	5.6%	利根町	2.0%	常総市	4.8%	守谷市	3.6%	桜川市	4.8%	河内町	10.2%
	16	つくばみらい市	5.0%	つくばみらい市	1.8%	河内町	4.5%	下妻市	3.3%	鉾田市	4.0%	笠間市	8.8%
	17	常総市	4.1%	龍ヶ崎市	1.5%	つくばみらい市	4.2%	取手市	3.2%	城里町	4.0%	つくばみらい市	8.5%
	18	守谷市	3.8%	桜川市	1.5%	笠間市	3.0%	鉾田市	3.0%	利根町	3.8%	鹿嶋市	8.3%
	19	潮来市	3.7%	常総市	1.4%	坂東市	2.7%	城里町	2.9%	東海村	3.6%	取手市	8.2%
	20	笠間市	3.3%	大洗町	1.4%	鹿嶋市	2.1%	つくばみらい市	2.5%	五霞町	3.6%	常総市	7.4%

(5) 余暇行動における流出の状況

土浦市の他市町村への流出状況を見ると、つくば市が6万2千人(43.8%)で最も多く、平成24年調査比6千人(4.7ポイント)増加している。以下、東京都、千葉県と続き、ともに平成24年調査より割合は増加している。また、栃木県が4位(前回5位)となり、余暇圏行動の範囲は広域化の傾向がみられる。

個別項目では、全項目でつくば市が1位となっている。

【表Ⅱ-11 余暇圏流出率】(単位：人、%)

		余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食	
他市町村へ	1	つくば市	61,883 43.8%	つくば市	40,549 28.7%	つくば市	68,241 48.3%	つくば市	51,146 36.2%	つくば市	49,874 35.3%	つくば市	99,607 70.5%
	2	東京都	17,576 12.4%	東京都	27,551 19.5%	千葉県	33,909 24.0%	栃木県	20,628 14.6%	かすみがうら市	13,846 9.8%	阿見町	22,747 16.1%
	3	千葉県	15,457 10.9%	牛久市	7,347 5.2%	東京都	23,312 16.5%	ひたちなか市	15,965 11.3%	石岡市	13,563 9.6%	東京都	21,899 15.5%
	4	栃木県	11,557 8.2%	水戸市	6,499 4.6%	栃木県	15,259 10.8%	千葉県	13,281 9.4%	阿見町	12,574 8.9%	牛久市	19,074 13.5%
	5	阿見町	9,947 7.0%	阿見町	5,934 4.2%	福島県	9,890 7.0%	福島県	9,325 6.6%	福島県	11,727 8.3%	千葉県	16,954 12.0%
	6	牛久市	8,364 5.9%	かすみがうら市	5,369 3.8%	ひたちなか市	7,488 5.3%	群馬県	7,629 5.4%	牛久市	11,444 8.1%	かすみがうら市	12,009 8.5%
	7	ひたちなか市	7,912 5.6%	千葉県	4,804 3.4%	群馬県	5,793 4.1%	阿見町	7,206 5.1%	栃木県	11,162 7.9%	栃木県	9,325 6.6%
	8	かすみがうら市	7,545 5.3%	笠間市	3,532 2.5%	石岡市	3,532 2.5%	東京都	5,793 4.1%	水戸市	10,455 7.4%	石岡市	8,901 6.3%
	9	福島県	7,206 5.1%	石岡市	2,119 1.5%	水戸市	2,826 2.0%	水戸市	5,086 3.6%	龍ヶ崎市	10,173 7.2%	水戸市	8,760 6.2%
	10	水戸市	6,725 4.8%	龍ヶ崎市	2,119 1.5%	埼玉県	2,684 1.9%	かすみがうら市	5,086 3.6%	東京都	9,325 6.6%	埼玉県	7,206 5.1%

(6) 東京都への余暇行動

県内市町村別に見た東京都への流出率をみると、土浦市は「スポーツ」、「娯楽活動」、「家族連れの外食」が上位 10 市町村に入っている。平成 24 年調査で上位 10 市町村に入っていた「アウトドアライフ」は外れている。

推計人口をみると、土浦市は全項目で 10 位以内となっている。

【表Ⅱ-12 余暇行動で東京都へ流出する市町村】(単位：％・人)

芸術・文化活動			
流出率		推計人口	
つくば市	26.8	つくば市	59,703
牛久市	25.8	水戸市	47,401
守谷市	25.2	古河市	32,353
取手市	24.8	土浦市	27,551
利根町	24.0	取手市	26,469
古河市	23.0	日立市	24,217
五霞町	22.6	ひたちなか市	22,859
つくばみらい市	21.8	牛久市	21,729
稲敷市	20.6	神栖市	17,249
大洗町	20.3	守谷市	16,262

スポーツ			
流出率		推計人口	
河内町	12.1	つくば市	14,480
牛久市	9.9	水戸市	13,001
大子町	9.7	古河市	10,690
八千代町	8.6	土浦市	9,325
かすみがうら市	8.2	牛久市	8,338
守谷市	7.7	ひたちなか市	7,202
古河市	7.6	取手市	7,151
龍ヶ崎市	7.4	日立市	6,421
取手市	6.7	龍ヶ崎市	5,823
土浦市	6.6	守谷市	4,969

娯楽活動			
流出率		推計人口	
牛久市	20.1	水戸市	36,837
土浦市	16.5	つくば市	34,084
守谷市	16.4	土浦市	23,312
つくば市	15.3	ひたちなか市	18,631
つくばみらい市	14.5	古河市	17,724
取手市	13.6	牛久市	16,928
水戸市	13.6	日立市	16,695
五霞町	13.3	取手市	14,515
龍ヶ崎市	12.9	神栖市	12,159
神栖市	12.9	守谷市	10,583

家族連れの外食			
流出率		推計人口	
守谷市	22.2	水戸市	44,692
牛久市	20.4	つくば市	44,332
つくばみらい市	20.0	古河市	22,366
つくば市	19.9	土浦市	21,899
取手市	18.0	日立市	19,814
水戸市	16.5	取手市	19,211
古河市	15.9	ひたちなか市	18,631
境町	15.9	牛久市	17,181
土浦市	15.5	守谷市	14,326
かすみがうら市	15.1	神栖市	14,138

アウトドアライフ			
流出率		推計人口	
牛久市	10.2	つくば市	10,248
取手市	7.9	牛久市	8,591
つくばみらい市	7.5	取手市	8,432
五霞町	7.4	古河市	7,174
河内町	7.4	水戸市	7,042
守谷市	6.5	日立市	6,972
境町	6.4	土浦市	5,793
かすみがうら市	5.6	ひたちなか市	4,384
坂東市	5.5	守谷市	4,195
石岡市	5.3	石岡市	4,026

4. 広域的にみた土浦の状況

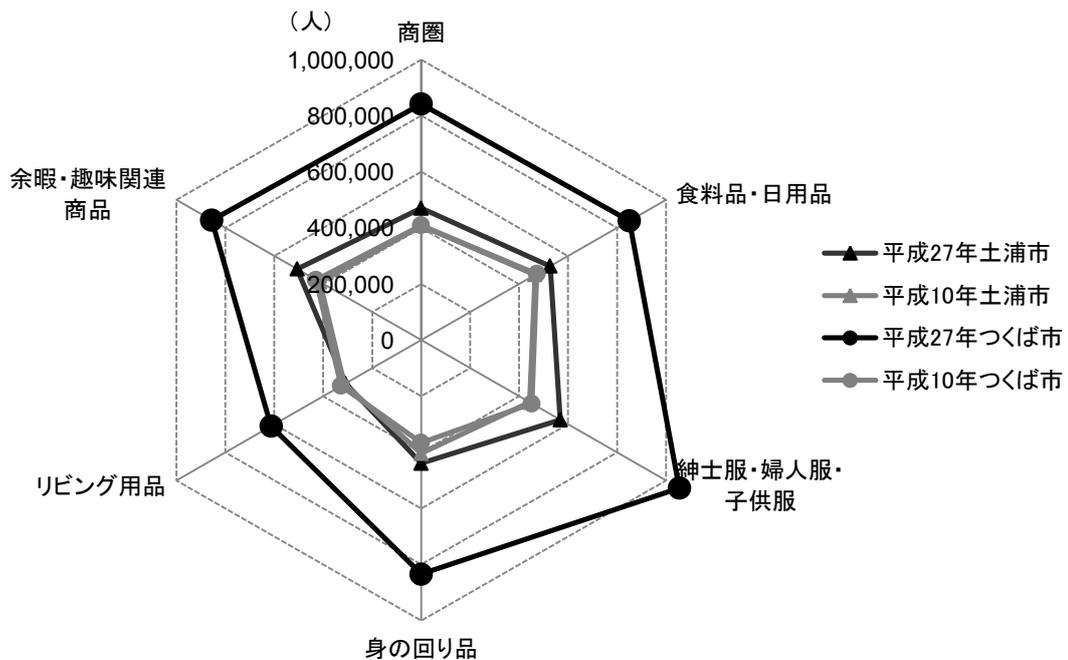
(1) つくば市との関係性

「土浦市の商業」にとって、隣接するつくば市との関係性については、無視することはできない。また、2市における関係性をみていく上では、現時点での把握に加え、時系列的な捉え方が必要となる。そこで、2市の関係がどのように変化してきたのか、生活行動圏調査から整理する。

1) 商 圏

商圏人口の変化をみると、土浦市は平成10年の407,978人から平成27年には469,815人に増加した。一方、隣接するつくば市（合併後）における商圏人口は、平成10年の409,414人から平成27年の841,464人へと増加している。平成10年時点において、つくば市の商圏人口は土浦市とほぼ同水準にあったものの、その後の17年間でつくば市の商圏人口は105.5%、土浦市は15.2%それぞれ増加している。つくば市の商圏人口の増加が続くのに対して、土浦市の商圏人口は平成24年調査よりも減少している。また、個別にみると、土浦市の商圏人口のうち、「リビング用品」を除く4項目はそれぞれ10%以上増加している。

【図Ⅱ-5 土浦市・つくば市における商圏人口の比較】



【表Ⅱ-13 土浦市・つくば市における商圈人口の変化】（単位：人・％）

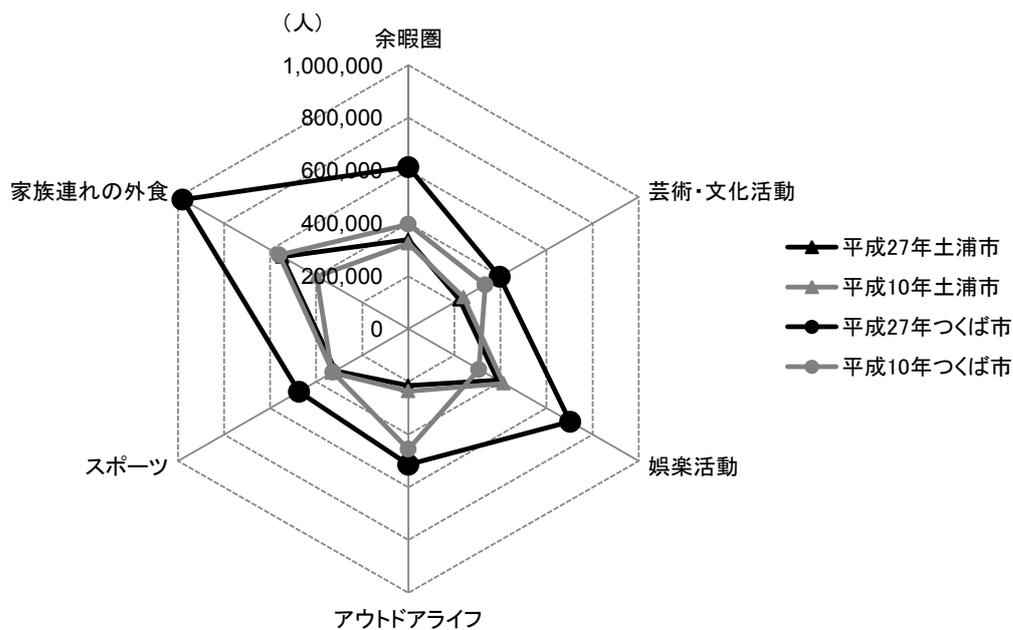
	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品
平成10年土浦市	407,978	465,261	443,591	403,717	313,669	413,649
平成27年土浦市	469,815	526,693	568,289	439,052	308,797	506,245
27年／10年比	15.2	13.2	28.1	8.8	▲ 1.6	22.4
平成10年つくば市	409,414	472,302	452,209	365,938	326,887	429,731
平成27年つくば市	841,464	850,356	1,054,679	833,750	613,237	855,298
27年／10年比	105.5	80.0	133.2	127.8	87.6	99.0

2) 余暇圏

余暇圏人口の変化をみると、土浦市は平成10年の323,811人から平成27年には338,002人となり、ほぼ同水準を維持している状況にある。

一方、隣接するつくば市（合併後）における余暇圏人口は、平成10年の396,877人から平成27年には613,625人へと増加している。平成10年時点において、土浦市の余暇圏人口はつくば市と概ね同水準にあったものの、その後の17年間で、土浦市の4.4%の増加に対して、つくば市の余暇圏人口は54.6%増加している。土浦市の余暇圏人口のうち、「家族連れの外出」は37.6%増加したが、「アウトドアライフ」、「芸術・文化活動」、「娯楽活動」はいずれも減少している。

【図Ⅱ-6 土浦市・つくば市における余暇圏人口の比較】



【表Ⅱ-14 土浦市・つくば市における余暇圏人口の変化】(単位：人・%)

	余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外出
平成10年土浦市	323,811	240,066	413,395	235,884	331,770	397,939
平成27年土浦市	338,002	222,367	388,114	215,194	316,915	547,419
27年/10年比	4.4	▲ 7.4	▲ 6.1	▲ 8.8	▲ 4.5	37.6
平成10年つくば市	396,877	333,609	306,451	455,626	327,842	560,857
平成27年つくば市	613,625	396,347	702,463	514,211	475,042	980,060
27年/10年比	54.6	18.8	129.2	12.9	44.9	74.7

5. 中学校地区別の状況

(1) 土浦第一中学校地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、地元で買い物をする割合が 96.4%と最も高く、以下つくば市が 50.9%、東京都が 14.0%で続いている。平成 24 年調査よりも若干ながらいずれも高くなっている。

土浦商圏（土浦市全体）と比較すると、東京都の割合が 14.0%と高い点の特徴である。

個別項目をみると、「紳士服・婦人服・子供服」や「身の回り品」で東京都への流出が多くなっている。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元での余暇の割合が 85.7%で最も高く、以下つくば市が 38.4%、東京都が 17.6%で続いている。全体としては土浦余暇圏（土浦市全体）と同様の傾向にある。

個別項目をみると、「芸術・文化活動」、「娯楽活動」、「家族連れの外食」で東京都の割合が高い。また、「家族連れの外食」では地元の利用が多いことに加え、つくば市への流出も目立っている。

【表Ⅱ-15 一中地区における買い物行動】【表Ⅱ-16 一中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圏	一中地区商圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品	土浦余暇圏	一中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市 92.7 131,013	土浦市 96.4 19,173	土浦市 100.0 19,881	土浦市 98.8 19,642	土浦市 93.8 18,648	土浦市 90.8 18,052	土浦市 98.8 19,642	土浦市 82.0 115,894	土浦市 85.7 17,030	土浦市 88.5 17,595	土浦市 92.3 18,350	土浦市 56.9 11,312	土浦市 90.6 18,012	土浦市 100.0 19,881
つくば市 58.6 82,852	つくば市 50.9 10,119	つくば市 50.6 10,060	つくば市 58.3 11,591	つくば市 55.0 10,935	つくば市 38.2 7,595	つくば市 52.4 10,418	つくば市 43.8 61,915	つくば市 38.4 7,634	東京都 29.5 5,865	つくば市 38.5 7,654	つくば市 29.3 5,825	つくば市 39.1 7,773	つくば市 60.5 12,028
阿見町 11.7 16,498	東京都 14.0 2,775	阿見町 12.4 2,465	東京都 22.6 4,493	阿見町 18.8 3,738	東京都 6.6 1,312	東京都 13.1 2,604	東京都 12.5 17,600	東京都 17.6 3,499	つくば市 24.6 4,891	東京都 26.9 5,348	栃木県 15.5 3,082	石岡市 14.1 2,803	東京都 23.3 4,632
牛久市 9.7 13,710	阿見町 11.5 2,282	東京都 11.2 2,227	阿見町 21.4 4,255	東京都 16.3 3,241	牛久市 5.3 1,054	千葉県 7.1 1,412	千葉県 10.9 15,465	千葉県 11.4 2,266	千葉県 4.9 974	千葉県 21.8 4,334	千葉県 12.1 2,406	阿見町 12.5 2,485	千葉県 15.1 3,002
東京都 8.3 11,764	千葉県 6.4 1,280	牛久市 7.9 1,571	千葉県 11.9 2,366	千葉県 6.3 1,253	石岡市 3.9 775	阿見町 4.8 954	栃木県 8.2 11,563	栃木県 7.9 1,567	龍ヶ崎市 3.3 656	栃木県 14.1 2,803	福島県 10.3 2,048	かずみがうら市 9.4 1,869	阿見町 14.0 2,783
かずみがうら市 6.9 9,710	牛久市 3.9 767	かずみがうら市 6.7 1,332	水戸市 6.0 1,193	水戸市 1.3 258	龍ヶ崎市 1.3 258	牛久市 3.6 716	阿見町 7.0 9,945	石岡市 7.0 1,400	笠間市 3.3 656	福島県 10.3 2,048	ひたちなか市 6.9 1,372	美浦村 9.4 1,869	石岡市 10.5 2,088

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。
詳細は8～9ページを参照。

(2) 土浦第二中学校地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、土浦商圈同様に地元で買い物をする割合が最も高く、90%を超えている。以下つくば市と続く点は一中地区と同様である。土浦商圈に比べ、阿見町、牛久市の割合が低く、かすみがうら市が高くなっている。

個別項目では、「紳士服・婦人服・子供服」、「余暇・趣味関連商品」でつくば市の流出率が50%超となっている。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元利用率が高く80%超であり、以下つくば市、東京都と続いている点は土浦余暇圏と同様である。

個別項目では、「アウトドアライフ」のみ地元利用率が60%台にとどまる。また、「娯楽活動」で千葉県への流出率が比較的高く、「家族連れの外食」は地元利用率に加え、つくば市への流出率が高くなっている

【表Ⅱ-17 二中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圈	二中地区商圈	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7	95.7	98.9	96.7	94.4	92.0	96.7
131,013	15,827	16,349	15,985	15,605	15,209	15,985
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6	46.8	45.3	56.5	42.2	37.9	52.2
82,852	7,740	7,489	9,340	6,976	6,265	8,629
阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	東京都	かすみがうら市	埼玉県	かすみがうら市
11.7	8.0	16.8	9.8	4.4	8.0	7.6
16,498	1,319	2,777	1,620	727	1,322	1,256
牛久市	東京都	東京都	かすみがうら市	阿見町	かすみがうら市	牛久市
9.7	6.0	11.6	6.5	4.4	4.6	4.3
13,710	995	1,918	1,075	727	760	711
東京都	埼玉県	石岡市	阿見町	東京都	石岡市	東京都
8.3	5.2	10.5	6.5	4.4	2.3	4.3
11,764	866	1,736	1,075	727	380	711
かすみがうら市	石岡市	埼玉県	埼玉県	埼玉県	牛久市	千葉県
6.9	4.1	8.4	5.4	2.2	2.3	4.3
9,710	678	1,389	893	364	380	711

【表Ⅱ-18 二中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	二中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0	84.7	89.4	84.3	60.3	91.9	97.8
115,894	14,008	14,779	13,936	9,968	15,192	16,167
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8	31.6	12.1	28.9	29.3	27.4	60.2
61,915	5,220	2,000	4,777	4,844	4,529	9,952
東京都	千葉県	東京都	千葉県	ひたちなか市	福島県	かすみがうら市
12.5	8.9	10.6	22.9	15.5	9.7	14.0
17,600	1,471	1,752	3,786	2,562	1,604	2,314
千葉県	東京都	かすみがうら市	東京都	栃木県	石岡市	千葉県
10.9	8.0	3.0	8.4	12.1	8.1	11.8
15,465	1,316	496	1,389	2,000	1,339	1,951
栃木県	かすみがうら市	千葉県	福島県	石岡市	かすみがうら市	東京都
8.2	6.1	3.0	8.4	6.9	8.1	10.8
11,563	1,002	496	1,389	1,141	1,339	1,785
阿見町	栃木県	水戸市	水戸市	水戸市	埼玉県	石岡市
7.0	6.0	1.5	6.0	5.2	8.1	7.5
9,945	992	248	992	860	1,339	1,240

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。
詳細は8~9ページを参照。

(3) 土浦第三中学校地区

1) 買い物行動の特徴

ここから、買い物行動をみると、地元利用率が最も高いものの82.6%と、土浦商圏の利用率と比べ10ポイント以上少ない。一方で、全般的につくば市への流出率が高水準である。

個別項目をみると、「食料品・日用品」では地元を利用する割合が高い一方で、他の項目はいずれもつくば市への流出率が高水準であり、特に「身の回り品」や「余暇・趣味関連商品」では1ポイント未満の差となっている。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動の特徴は、地元利用率が約69%と8地区中最も低く、つくば市への流出率も63%を超え、8地区で最も高い点である。

個別項目をみると、「娯楽活動」でつくば市への流出率が80%超と、地元利用率を超えており、土浦余暇圏を大きく上回っている。また、「家族連れの外食」もつくば市の流出率が87.5%と高く、地元利用率を超えている。

【表Ⅱ-19 三中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圏	三中地区商圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7	82.6	91.7	88.0	79.8	68.8	84.6
131,013	20,658	22,940	22,014	19,963	17,211	21,164
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6	77.7	75.2	84.6	78.9	66.1	83.8
82,852	19,442	18,812	21,164	19,738	16,536	20,963
阿見町	牛久市	牛久市	阿見町	阿見町	牛久市	牛久市
11.7	31.3	43.8	27.4	19.3	45.5	31.6
16,498	7,820	10,957	6,854	4,828	11,382	7,905
牛久市	阿見町	阿見町	牛久市	牛久市	阿見町	阿見町
9.7	21.3	38.8	20.5	14.9	6.3	14.5
13,710	5,318	9,706	5,128	3,727	1,576	3,627
東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	埼玉県	東京都
8.3	8.7	8.3	13.7	7.9	5.4	12.0
11,764	2,186	2,076	3,427	1,976	1,351	3,002
かずみがうら市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
6.9	6.5	8.3	8.5	6.1	2.7	6.8
9,710	1,621	2,076	2,126	1,526	675	1,701

【表Ⅱ-20 三中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	三中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	つくば市	土浦市	土浦市	つくば市
82.0	68.9	64.1	80.7	58.9	70.7	87.5
115,894	17,226	16,035	20,188	14,734	17,686	21,889
つくば市	つくば市	つくば市	土浦市	つくば市	つくば市	土浦市
43.8	63.4	51.1	64.0	46.6	51.2	86.6
61,915	15,865	12,783	16,010	11,657	12,808	21,664
東京都	牛久市	東京都	千葉県	栃木県	牛久市	牛久市
12.5	14.5	17.4	23.7	15.1	18.3	35.7
17,600	3,622	4,353	5,929	3,777	4,578	8,931
千葉県	阿見町	牛久市	東京都	千葉県	ひたちなか市	阿見町
10.9	13.7	15.2	16.7	12.3	13.4	33.9
15,465	3,432	3,802	4,178	3,077	3,352	8,480
栃木県	東京都	阿見町	栃木県	群馬県	かずみがうら市	東京都
8.2	13.2	10.9	9.6	12.3	12.2	19.6
11,563	3,312	2,727	2,402	3,077	3,052	4,903
阿見町	千葉県	水戸市	福島県	阿見町	阿見町	千葉県
7.0	12.1	5.4	7.0	11.0	11.0	12.5
9,945	3,017	1,351	1,751	2,752	2,752	3,127

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。
詳細は8~9ページを参照。

(4) 土浦第四中学校地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、地元で買い物をする割合が94.8%、つくば市や阿見町、東京都への流出率が高いなど、土浦商圏の買い物行動と同様の傾向がある。

個別項目では、「食料品・日用品」の地元利用率が98.7%であり、他の4項目も地元利用率が高い点が特徴である。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元利用率が約85.5%と最も高く、つくば市、東京都、千葉県と続く点で土浦商圏（土浦市全体）と近似している。

個別項目では、「娯楽活動」で千葉県への流出率が30.6%と8地区で最も高い。また、「家族連れの外食」は、つくば市への流出率が70%超と比較的高くなっている。

【表Ⅱ-21 四中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圏	四中地区商圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7 131,013	94.8 23,117	98.7 24,058	95.8 23,351	93.3 22,742	88.5 21,572	97.9 23,863
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6 82,852	60.7 14,791	62.9 15,332	64.1 15,624	57.5 14,016	51.5 12,553	67.4 16,429
阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	東京都	牛久市	東京都
11.7 16,498	12.5 3,052	23.8 5,801	21.1 5,143	14.9 3,632	10.0 2,438	10.6 2,584
牛久市	東京都	牛久市	東京都	阿見町	埼玉県	牛久市
9.7 13,710	11.3 2,750	13.9 3,388	16.2 3,949	12.7 3,096	6.2 1,511	6.4 1,560
東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	阿見町
8.3 11,764	7.8 1,901	9.9 2,413	12.0 2,925	9.0 2,194	5.4 1,316	3.5 853
かすみがうら市	牛久市	東京都	牛久市	牛久市	千葉県	千葉県
6.9 9,710	7.5 1,828	9.3 2,267	4.2 1,024	3.0 731	4.6 1,121	3.5 853

【表Ⅱ-22 四中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	四中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0 115,894	85.5 20,850	84.1 20,499	88.8 21,645	76.1 18,549	82.4 20,085	96.3 23,473
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8 61,915	45.9 11,188	32.7 7,971	45.5 11,091	35.9 8,751	44.1 10,749	71.3 17,379
東京都	東京都	東京都	千葉県	栃木県	阿見町	東京都
12.5 17,600	16.0 3,895	26.2 6,386	30.6 7,459	16.3 3,973	12.7 3,096	17.6 4,290
千葉県	千葉県	水戸市	東京都	千葉県	石岡市	千葉県
10.9 15,465	13.1 3,193	4.7 1,146	20.9 5,094	10.9 2,657	11.8 2,876	15.4 3,754
栃木県	栃木県	牛久市	栃木県	ひたちなか市	かすみがうら市	阿見町
8.2 11,563	8.1 1,984	3.7 902	9.7 2,364	9.8 2,389	9.8 2,389	14.0 3,413
阿見町	阿見町	千葉県	群馬県	阿見町	東京都	牛久市
7.0 9,945	7.5 1,838	3.7 902	6.0 1,463	7.6 1,853	9.8 2,389	12.5 3,047

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。

詳細は8~9ページを参照。

(5) 土浦第五中学校地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、土浦商圈と比べてかすみがうら市への流出率が高い傾向が特徴としてあげられる。

個別項目をみると、「食料品・日用品」で20%弱の人がかすみがうら市へ流出している。他の項目についても土浦商圈と比べてかすみがうら市や石岡市などが高い傾向にある。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、最も多いのが地元利用で、次いでつくば市、東京都、千葉県と続く。他の地区と比べて大きな傾向の違いは見られないが、ややひたちなか市への流出率が高い傾向も見られる。

個別項目を見ると、「アウトドアライフ」で笠間市への流出率が10.7%と他の地区に比べて高い傾向にある。また、「スポーツ」で福島県への流出率が12.3%と他の地区に比べて高い。

【表Ⅱ-23 五中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圈	五中地区商圈	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7 131,013	93.1 16,353	98.9 17,376	93.0 16,339	92.9 16,322	89.6 15,742	91.0 15,988
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6 82,852	57.3 10,064	55.4 9,733	69.8 12,263	52.4 9,206	48.1 8,451	60.7 10,664
阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	阿見町	阿見町	石岡市	かすみがうら市
11.7 16,498	8.8 1,553	19.6 3,444	17.4 3,057	9.5 1,669	5.2 914	10.1 1,774
牛久市	阿見町	石岡市	水戸市	東京都	埼玉県	牛久市
9.7 13,710	7.8 1,370	8.7 1,529	8.1 1,423	6.0 1,054	5.2 914	5.6 984
東京都	東京都	阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	牛久市	阿見町
8.3 11,764	5.3 938	7.6 1,335	5.8 1,019	4.8 843	3.9 685	4.5 791
かすみがうら市	埼玉県	東京都	埼玉県	石岡市	かすみがうら市	東京都
6.9 9,710	5.1 900	7.6 1,335	5.8 1,019	3.6 632	3.9 685	4.5 791

【表Ⅱ-24 五中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	五中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0 115,894	83.6 14,688	83.6 14,688	93.6 16,445	58.9 10,348	83.1 14,600	98.8 17,358
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8 61,915	37.5 6,585	14.5 2,548	46.2 8,117	41.1 7,221	18.5 3,250	67.1 11,789
東京都	東京都	東京都	千葉県	笠間市	福島県	東京都
12.5 17,600	10.7 1,873	14.5 2,548	20.5 3,602	10.7 1,880	12.3 2,161	13.4 2,354
千葉県	千葉県	水戸市	東京都	ひたちなか市	千葉県	かすみがうら市
10.9 15,465	10.5 1,838	9.1 1,599	15.4 2,706	10.7 1,880	10.8 1,897	11.0 1,933
栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	千葉県	石岡市	ひたちなか市
8.2 11,563	9.1 1,592	7.3 1,283	14.1 2,477	10.7 1,880	9.2 1,616	9.8 1,722
阿見町	ひたちなか市	笠間市	ひたちなか市	栃木県	かすみがうら市	石岡市
7.0 9,945	7.3 1,279	5.5 966	12.8 2,249	8.9 1,564	9.2 1,616	8.5 1,493

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。詳細は8~9ページを参照。

(6) 土浦第六中学校地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動の特徴は、土浦以南への流出が土浦商圈と比べて非常に多いことである。特に阿見町への流出率は25%弱と土浦商圈の2倍以上である。牛久市への流出率も14.8%と土浦商圈に比べて高い。

個別項目では、「食料品・日用品」で阿見町への流出率が50%超と非常に高く、「紳士服・婦人服・子供服」、「身の回り品」、「余暇・趣味関連商品」も20%を超える。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元利用率やつくば市への流出率が高い点で土浦余暇圏と同じだが、阿見町への流出が8地区で最も顕著である。

個別項目を見ると、「アウトドアライフ」で地元利用率が75%超と、8地区で最も高い。一方、「娯楽活動」を除くすべての項目では、阿見町への流出率が8地区で最も高く、特に「家族連れの外食」では30%を超えている。

【表Ⅱ-25 六中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圈	六中地区商圈	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7 131,013	91.1 14,753	97.3 15,757	90.3 14,623	85.3 13,813	89.7 14,526	92.9 15,044
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6 82,852	52.0 8,427	52.1 8,437	59.7 9,668	51.5 8,340	41.2 6,672	55.7 9,020
阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	牛久市	阿見町
11.7 16,498	24.7 3,997	50.7 8,210	27.8 4,502	17.6 2,850	19.1 3,093	21.4 3,466
牛久市	牛久市	牛久市	東京都	牛久市	埼玉県	牛久市
9.7 13,710	14.8 2,397	17.8 2,883	15.3 2,478	8.8 1,425	8.8 1,425	20.0 3,239
東京都	東京都	東京都	牛久市	東京都	阿見町	東京都
8.3 11,764	8.5 1,370	11.0 1,781	8.3 1,344	8.8 1,425	5.9 955	5.7 923
かずみがうら市	千葉県	龍ヶ崎市	千葉県	千葉県	千葉県	水戸市
6.9 9,710	5.4 871	9.6 1,555	5.6 907	5.9 955	4.4 713	4.3 696

【表Ⅱ-26 六中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	六中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0 115,894	85.7 13,885	83.3 13,490	85.9 13,911	78.6 12,728	88.5 14,332	92.4 14,963
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8 61,915	38.5 6,241	21.4 3,466	48.4 7,838	23.8 3,854	38.5 6,235	60.6 9,814
東京都	阿見町	阿見町	千葉県	阿見町	阿見町	阿見町
12.5 17,600	15.5 2,507	16.7 2,704	21.9 3,546	14.3 2,316	11.5 1,862	31.8 5,150
千葉県	牛久市	東京都	栃木県	ひたちなか市	石岡市	牛久市
10.9 15,465	9.8 1,593	14.3 2,316	14.1 2,283	11.9 1,927	9.6 1,555	24.2 3,919
栃木県	東京都	牛久市	東京都	栃木県	龍ヶ崎市	東京都
8.2 11,563	8.5 1,376	7.1 1,150	10.9 1,765	11.9 1,927	7.7 1,247	10.6 1,717
阿見町	栃木県	水戸市	下妻市	水戸市	牛久市	水戸市
7.0 9,945	8.4 1,367	2.4 389	3.1 502	7.1 1,150	7.7 1,247	9.1 1,474

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。詳細は8～9ページを参照。

(7) 都和中地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、地元利用率が95%超で最も高く、つくば市と続く点は土浦商圏と同じである。特徴としては、かすみがうら市への流出率が25%近くあり、他の地区と比べて最も高い。

個別項目では、「食料品・日用品」で地元利用率が100%と非常に高い一方、かすみがうら市への流出率も48.5%と最も高い。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元利用率が最も高く、次いでつくば市、千葉県、東京都と続く点は土浦余暇圏と概ね同じである。特徴としては、かすみがうら市への流出率が11.4%あり、8地区のうち最も高い。

個別項目では、「アウトドアライフ」でひたちなか市へ18.3%、「家族連れの外食」でかすみがうら市に23.3%それぞれ流出していることが特徴である。

【表Ⅱ-27 都和中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦商圏	都和中地区商圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7 131,013	96.7 13,013	100.0 13,460	95.9 12,908	94.9 12,774	95.6 12,868	97.0 13,056
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6 82,852	52.8 7,104	50.5 6,797	57.1 7,686	51.0 6,865	46.7 6,286	58.6 7,888
阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市
11.7 16,498	24.4 3,287	48.5 6,528	20.4 2,746	15.3 2,059	16.7 2,248	21.2 2,854
牛久市	東京都	行方市	阿見町	阿見町	石岡市	東京都
9.7 13,710	5.9 791	5.8 781	14.3 1,925	7.1 956	4.4 592	9.1 1,225
東京都	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	埼玉県	千葉県
8.3 11,764	5.9 791	5.8 781	12.2 1,642	4.1 552	3.3 444	6.1 821
かすみがうら市	阿見町	石岡市	東京都	千葉県	牛久市	牛久市
6.9 9,710	5.3 711	4.9 660	10.2 1,373	3.1 417	2.2 296	4.0 538

【表Ⅱ-28 都和中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出人口)

土浦余暇圏	都和中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0 115,894	83.4 11,223	86.8 11,683	93.3 12,558	60.0 8,076	81.2 10,930	95.6 12,868
つくば市	つくば市	東京都	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8 61,915	33.6 4,517	19.1 2,571	32.2 4,334	35.0 4,711	17.4 2,342	70.0 9,422
東京都	千葉県	つくば市	千葉県	ひたちなか市	かすみがうら市	かすみがうら市
12.5 17,600	12.3 1,656	13.2 1,777	26.7 3,594	18.3 2,463	11.6 1,561	23.3 3,136
千葉県	東京都	かすみがうら市	東京都	栃木県	栃木県	東京都
10.9 15,465	12.1 1,631	10.3 1,386	16.7 2,248	18.3 2,463	11.6 1,561	14.4 1,938
栃木県	かすみがうら市	牛久市	栃木県	千葉県	福島県	千葉県
8.2 11,563	11.4 1,529	2.9 390	13.3 1,790	11.7 1,575	10.1 1,359	14.4 1,938
阿見町	栃木県	千葉県	福島県	かすみがうら市	石岡市	阿見町
7.0 9,945	9.3 1,252	2.9 390	7.8 1,050	8.3 1,117	8.7 1,171	10.0 1,346

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。
詳細は8~9ページを参照。

(8) 新治中地区

1) 買い物行動の特徴

買い物行動をみると、地元利用率が93.1%と土浦商圏とほぼ同じであるが、石岡市がやや高い傾向にある点が特徴である。

個別項目では、「食料品・日用品」で地元利用率が100%と非常に高い一方、「リビング品」はつくば市への流出率が70%超と非常に高い。

2) 余暇行動の特徴

余暇行動をみると、地元利用率が82.5%と土浦商圏とほぼ同じであるが、つくば市への流出率が61.3%と8地区で2番目に高い。

個別項目では、「芸術・文化活動」、「アウトドアライフ」、「家族連れの外食」でつくば市への流出率が8地区中最も高いことが特徴である。

【表Ⅱ-29 新治中地区における買い物行動】

(上段：流出率 下段：流出口)

土浦商圏	新治中地区商圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング品	余暇・趣味関連商品
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
92.7	93.1	100.0	91.7	93.9	81.8	97.9
131,013	7,687	8,260	7,574	7,756	6,757	8,087
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
58.6	66.7	66.7	66.7	53.1	72.7	74.5
82,852	5,513	5,509	5,509	4,386	6,005	6,154
阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	東京都	かすみがうら市	かすみがうら市
11.7	8.4	16.7	10.4	6.1	4.5	6.4
16,498	695	1,379	859	504	372	529
牛久市	石岡市	石岡市	千葉県	かすみがうら市	埼玉県	石岡市
9.7	5.5	12.5	8.3	4.1	4.5	4.3
13,710	453	1,033	686	339	372	355
東京都	千葉県	千葉県	石岡市	阿見町	水戸市	東京都
8.3	4.2	6.3	6.3	4.1	2.3	4.3
11,764	347	520	520	339	190	355
かすみがうら市	東京都	牛久市	阿見町	水戸市	石岡市	水戸市
6.9	3.8	4.2	6.3	2.0	2.3	2.1
9,710	311	347	520	165	190	173

【表Ⅱ-30 新治中地区における余暇行動】

(上段：流出率 下段：流出口)

土浦余暇圏	新治中地区余暇圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食
土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
82.0	82.5	80.6	90.5	64.3	81.8	95.5
115,894	6,818	6,658	7,475	5,311	6,757	7,888
つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
43.8	61.3	61.3	64.3	50.0	42.4	88.6
61,915	5,065	5,063	5,311	4,130	3,502	7,318
東京都	かすみがうら市	東京都	千葉県	栃木県	水戸市	かすみがうら市
12.5	10.4	19.4	14.3	17.9	18.2	11.4
17,600	862	1,602	1,181	1,479	1,503	942
千葉県	栃木県	水戸市	ひたちなか市	福島県	龍ヶ崎市	栃木県
10.9	9.4	16.1	9.5	10.7	15.2	9.1
15,465	776	1,330	785	884	1,256	752
栃木県	東京都	かすみがうら市	東京都	笠間市	かすみがうら市	石岡市
8.2	8.4	16.1	9.5	7.1	15.2	6.8
11,563	691	1,330	785	586	1,256	562
阿見町	水戸市	千葉県	福島県	ひたちなか市	栃木県	牛久市
7.0	8.2	9.7	9.5	7.1	15.2	6.8
9,945	681	801	785	586	1,256	562

※流出率については、アンケート回答者が1年以内に行った市町村を複数マークするため、合計は100%を超える。

詳細は8~9ページを参照。

第3章 土浦市商業の現況と特性

この章では、商業関連の統計結果をもとに、土浦市商業の現況や特性について探っていく。

なお、平成 21 年、平成 24 年、平成 28 年において、全産業にわたる事業統計として経済センサスが実施されたため、商業統計については平成 19 年の結果が最新となる。ここでは、平成 19 年までは商業統計、平成 21 年以降は経済センサスの結果をみていく。商業統計と経済センサスの結果には連続性がないことに、注意が必要となる。

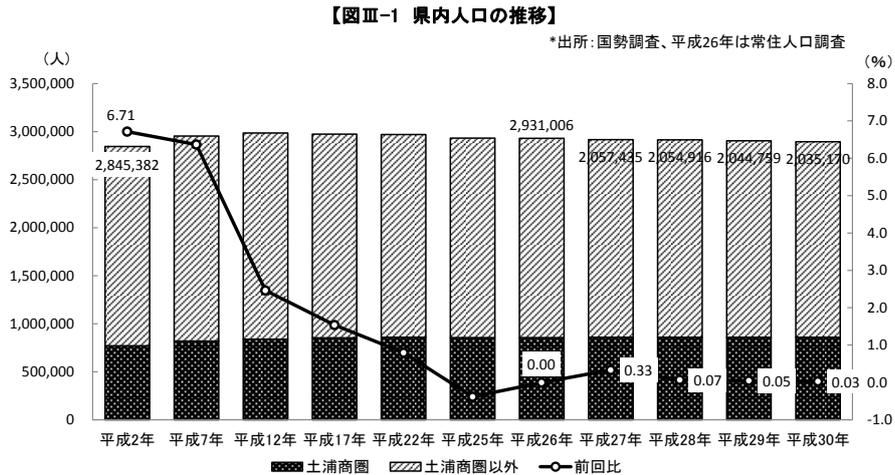
1. 土浦市の商業を支える基礎的条件

土浦市の商業を支える基礎的条件として、土浦商圏（土浦市・石岡市・牛久市・つくば市・稲敷市・かすみがうら市・行方市・銚田市・つくばみらい市・小美玉市・美浦村・阿見町の 12 市町村）の人口、就業構造、事業所・従業者数、商業売場面積を確認し、さらに通勤・通学行動、潜在需要額をみていくこととする。

(1) 人口

土浦商圏の人口は、平成30年1月1日現在、860,737人で、平成27年に比べ微増している。増減率は平成22年(+0.80%)から27年(+0.33%)にかけて微増を維持したものの、平成26年の増減率は▲0.39%と減少に転じており、平成28年以降の増減率も増加したものの非常に低位である。

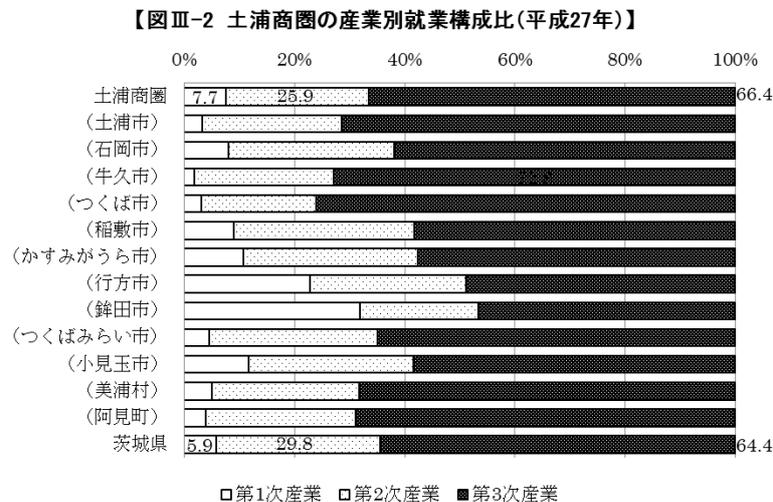
もともと、土浦商圏以外の増減率は平成22年以降一貫して減少しており、土浦商圏はその他の圏域に比べ、減少幅が小さい。



(2) 就業構造

茨城県全体の就業構成比と比較すると、土浦商圏は、第1次産業及び第3次産業の構成比が若干高く、第2次産業の構成比が低くなっている。

市町村ごとにみると、土浦市、牛久市、つくば市、つくばみらい市、美浦村、阿見町は第3次産業の構成比が高く、石岡市、稲敷市、かすみがうら市、小美玉市は第1次産業及び第2次産業の構成比が高い。行方市、鉾田市は第1次産業の構成比が高い。



(3) 事業所・従業者数の推移

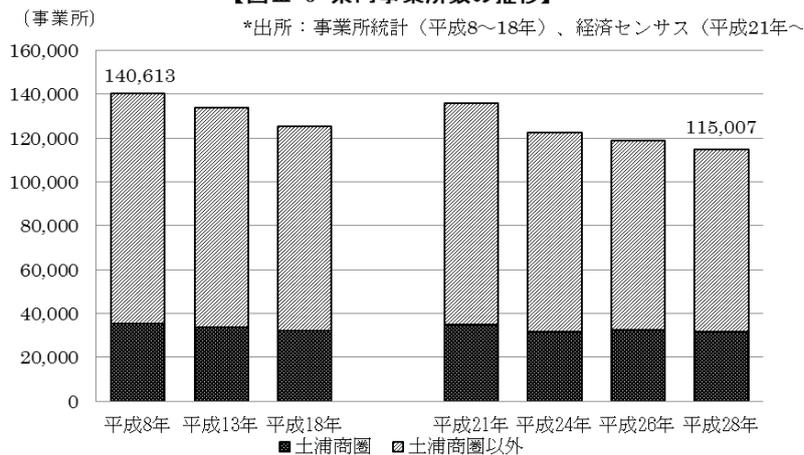
事業所数について、「事業所・企業統計」を基に平成18年までの推移をみると、土浦商圏、土浦商圏以外ともに平成8年をピークに減少してきた。

平成21年以降は、経済センサス(※)を基に確認する。平成26年から平成28年にかけて、土浦商圏の増減率は▲0.48%となり、平成13年から18年まで(▲3.96%)に比べて減少幅は縮小した。土浦商圏以外の増減率は▲8.46%となっており、土浦商圏の減少傾向は比較的緩やかといえる。

また、土浦商圏の従業者数の増減率をみると、平成13年から18年には▲0.86%と減少し、平成26年から平成28年には+4.52%と増加に転じた。土浦商圏以外の増減率は+0.10%となっており、土浦商圏の増加幅は高水準となっている。

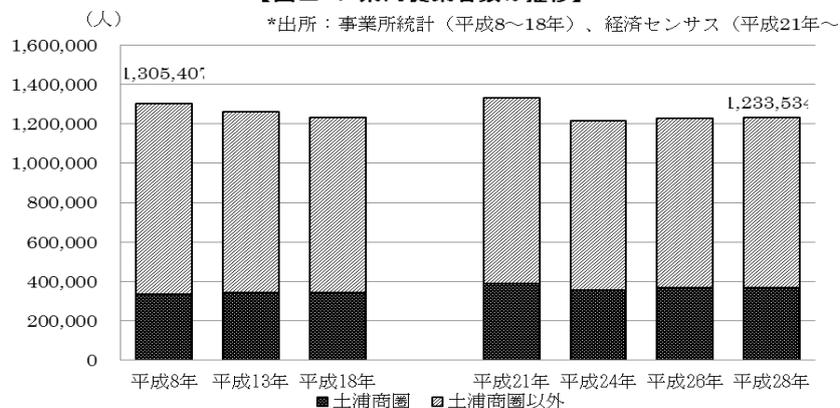
※経済センサス……全国の全事業所・企業を対象に、経済活動の実態を明らかにする統計調査。平成21年より「事業所・企業統計調査」に代わって実施されている。

【図Ⅲ-3 県内事業所数の推移】



*「事業所統計」と「経済センサス」に連続性はない。

【図Ⅲ-4 県内従業者数の推移】



*「事業所統計」と「経済センサス」に連続性はない。

(4) 通勤行動・通学行動

土浦市内への通勤者、通学者がどこから来ているのか、また土浦市の住民がどこに通勤・通学しているかを平成27年の国勢調査から確認する。

まず、土浦市内への通勤者、通学者がどこから来ているのかをみていく。

土浦市の従業者75,074人のうち、49.1%が土浦市以外から流入している。平成22年の調査時点(48.7%)に比べ流入率は上昇している。特につくば市(9.0%)、かすみがうら市(8.4%)、石岡市(4.9%)、阿見町(4.9%)からの流入率が高い。それ以外にも牛久市(3.5%)や小美玉市(2.0%)など、近隣市町村からの流入が見られ、水戸市(1.5%)や千葉県(1.8%)からも相応の通勤者がいる。こうした傾向は平成22年の調査結果と変わっていない。

また、土浦市内への15歳以上通学者11,402人のうち、65.8%は土浦市以外から流入している。通学面も、つくば市(15.0%)、かすみがうら市(6.0%)、石岡市(5.3%)など、隣接する市町村からの流入が多い。また、千葉県(5.3%)からの流入も比較的多い。

【表Ⅲ-1 土浦市への通勤・通学状況】

(単位:人・%)

	市内	水戸市	石岡市	龍ヶ崎市	取手市	牛久市	つくば市	稲敷市	かすみがうら市	行方市
	通勤者	38,187	1,114	3,675	948	701	2,649	6,768	640	6,337
	50.9	1.5	4.9	1.3	0.9	3.5	9.0	0.9	8.4	0.7
		鉾田市	つくばみらい市	小美玉市	美浦村	阿見町	千葉県	東京都	その他	流入計
		253	390	1,512	691	3,656	1,543	446	5,022	36,887
		0.3	0.5	2.0	0.9	4.9	2.1	0.6	6.7	49.1
通学者	3,905	135	604	315	262	480	1,705	174	687	73
	34.2	1.2	5.3	2.8	2.3	4.2	15.0	1.5	6.0	0.6
		鉾田市	つくばみらい市	小美玉市	美浦村	阿見町	千葉県	東京都	その他	流入計
		45	124	241	161	491	606	34	1,360	7,497
		0.4	1.1	2.1	1.4	4.3	5.3	0.3	11.9	65.8

※従業地・通学地「不詳」を除く。

次に、土浦市の住民がどこに通勤・通学しているのか確認する。

土浦市に常住していて職を持つ人 65,856 人のうち、42.0%は土浦市外に通勤している。平成 22 年の調査時点（42.9%）に比べ流出率は微減している。流出先としては、つくば市（14.5%）、東京都（5.3%）、阿見町（4.1%）への流出率が高い。隣接する市町村に満遍なく流出し、千葉県（1.7%）、水戸市（1.3%）、石岡市（1.3%）への通勤者もみられるなど、平成 22 年の調査結果と同様の傾向がみられる。

また、土浦市に常住する 15 歳以上の通学者 7,034 人のうち、44.5%は土浦市外に通学している。平成 22 年の調査時点（48.3%）に比べ、流出率は減少している。流出先としては、東京都（12.8%）、つくば市（6.0%）、千葉県（5.8%）が高い。土浦市へ通学で多く流入しているかすみがうら市（0.5%）、石岡市（2.5%）への流出率は低い。

【表Ⅲ-2 土浦市在住者の通勤・通学状況】

(単位:人・%)

通勤者	市内	水戸市	石岡市	龍ヶ崎市	取手市	牛久市	つくば市	稲敷市	かすみがうら市	行方市
		38,187	872	882	649	456	1,571	9,533	423	2,358
	58.0	1.3	1.3	1.0	0.7	2.4	14.5	0.6	3.6	0.2
		鉾田市	つくばみらい市	小美玉市	美浦村	阿見町	千葉県	東京都	その他	流出計
		63	324	391	438	2,671	1,111	3,467	2,321	27,669
		0.1	0.5	0.6	0.7	4.1	1.7	5.3	3.5	42.0
通学者	市内	水戸市	石岡市	龍ヶ崎市	取手市	牛久市	つくば市	稲敷市	かすみがうら市	行方市
		3,905	157	176	54	179	273	424	20	38
	55.5	2.2	2.5	0.8	2.5	3.9	6.0	0.3	0.5	0.0
		鉾田市	つくばみらい市	小美玉市	美浦村	阿見町	千葉県	東京都	その他	流出計
		0	1	9	0	191	406	899	300	3,129
		0.0	0.0	0.1	0.0	2.7	5.8	12.8	4.3	44.5

※その他＝県内＋他県－(水戸市～東京都)

従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」を除く。

(5) 土浦商圈の潜在需要額（家計調査）

ここでは、総務省の「家計調査」を基に、土浦商圈の潜在需要額を推計してみる。潜在需要額によって、商圈内で商品購買に回る金額を推定できる。

土浦市は「家計調査」における「小都市 A（人口 5 万以上 15 万未満）」に該当するため、土浦市の 1 世帯当たりの年平均 1 ヶ月消費支出額を 239,768 円とする。この中にはサービス支出等のモノ消費以外のものも含まれる。そこで、費目ごとに対商店消費支出としてモノ消費分を抽出した。その結果、1 世帯当たりの対商店消費支出は毎月 123,797 円と算出される。

【表Ⅲ-3 都市階級別1カ月の対商店消費支出推計(平成27年)】

(単位:円)

項 目	中都市 (大都市除く人口15万以上)		小都市A (人口5万以上15万未満)		小都市B (人口5万未満の都市)・町村		対商店消費支出に関する事項
	消費支出 (総世帯)	対商店消費 支出(総世帯)	消費支出 (総世帯)	対商店消費 支出(総世帯)	消費支出 (総世帯)	対商店消費 支出(総世帯)	
食 料	63,137	63,137	60,138	60,138	58,734	58,734	消費支出額
住 居	18,626	2,404	15,110	2,337	12,949	1,733	設備修繕・維持の材料のみ
光熱・水道	18,581	992	19,367	1,407	20,631	1,983	灯油など他の光熱のみ
家具・家事用品	8,792	8,138	9,312	8,420	8,893	8,001	家事サービスを除く
被服及び履物	9,287	8,721	8,627	8,128	7,708	7,229	被服関連サービスを除く
保健医療	10,841	5,112	10,888	5,139	10,792	5,107	保健医療サービスを除く
交通・通信	34,047	17,555	33,879	18,323	36,494	20,516	自動車等関係費
教 育	8,188	0	6,785	0	5,334	0	
教養娯楽	25,557	10,427	24,143	10,561	21,019	9,433	教養娯楽サービスを除く
その他の 消費支出	54,332	9,686	51,519	9,344	53,834	8,840	理美容用品・身の回り用品・たばこ・ こづかいの半額
消費支出	251,388	126,172	239,768	123,797	236,388	121,576	

石岡市、牛久市、小美玉市も「小都市 A」なので、毎月 123,797 円となり、1 年間に換算すると 1,485,564 円となる。「中都市」のつくば市は年間 1,514,064 円、「小都市 B・町村」の稲敷市、かすみがうら市、行方市、銚田市、つくばみらい市、小美玉市、美浦村、阿見町は年間 1,458,912 円となる。

これらの年間対商店消費支出に、各市町村の世帯数を乗じた額が潜在需要額となり、土浦商圏の潜在需要額は 497,002 百万円と推計される。家計調査の消費支出額には、法人需要や農家需要が含まれないため、実際にはもっと大きな金額になると考えられる。

経済センサス活動調査によれば、平成 26 年における土浦市の年間商品販売額は 172,488 百万円であり、土浦商圏の潜在需要のうち 34.7%を土浦市で満たしていると考えられる。

【表Ⅲ-4 土浦商圏の年間対商店消費支出推計(平成27年)】

	都市階級 区分	人口(人)	世帯数(世帯)	対商店消費支出 (百万円)
土浦市	小都市A	140,804	57,257	85,059
石岡市	小都市A	76,020	27,288	40,538
牛久市	小都市A	84,317	33,223	49,355
つくば市	中都市	226,963	98,190	148,665
稲敷市	小都市B	42,810	14,453	21,086
かすみがうら市	小都市B	42,147	15,142	22,091
行方市	小都市B	34,909	11,115	16,216
銚田市	小都市B	48,147	17,430	25,429
つくばみらい市	小都市B	49,136	18,137	26,460
小美玉市	小都市A	50,911	17,491	25,984
美浦村	町村	15,842	5,958	8,692
阿見町	町村	47,535	18,801	27,429
潜在需要額	—	—	—	497,002

2. 土浦商圏の特徴

(1) 土浦商圏の現況（商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積）

平成 28 年における土浦商圏の現況をみると、最も商業規模が大きいのはつくば市で、商店数の構成比が 25%超の他、従業者数、年間商品販売額、売場面積の構成比が 30%台となっている。

土浦市はつくば市に次ぐ規模で、各項目の構成比は 16.9～19.8%となっている。

土浦市の商店数は、県内では水戸市、つくば市、日立市、古河市に次いで第 5 位となっている。また、年間商品販売額は水戸市、つくば市に次いで第 3 位となっており、売場面積は水戸市、つくば市、ひたちなか市に次いで第 4 位となっている。

【表Ⅲ-5 土浦商圏の現況(平成28年)】

	商店数(店)		従業者数(人)		年間商品販売額(百万円)		売場面積(m ²)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
土浦市	979	18.4	8,285	18.7	185,574	19.8	193,402	16.9
石岡市	531	10.0	3,813	8.6	74,030	7.9	108,995	9.5
牛久市	426	8.0	4,489	10.1	91,030	9.7	106,622	9.3
つくば市	1,397	26.3	13,555	30.6	293,310	31.3	356,286	31.2
稲敷市	340	6.4	1,986	4.5	38,160	4.1	63,073	5.5
かすみがうら市	193	3.6	1,583	3.6	36,435	3.9	44,894	3.9
行方市	295	5.6	1,591	3.6	29,160	3.1	39,910	3.5
銚田市	311	5.9	2,200	5.0	45,017	4.8	60,075	5.3
つくばみらい市	201	3.8	1,825	4.1	45,727	4.9	44,402	3.9
小美玉市	282	5.3	2,161	4.9	43,636	4.7	57,666	5.1
美浦村	71	1.3	426	1.0	7,857	0.8	3,215	0.3
阿見町	288	5.4	2,396	5.4	46,363	5.0	63,343	5.5
合計	5,314	100.0	44,310	100.0	936,299	100.0	1,141,883	100.0

出所:「経済センサス活動調査」(事業所に関する集計 産業別集計 卸売業・小売業に関する集計)

※以下の全てに該当する事業所について集計している。

・管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではないこと

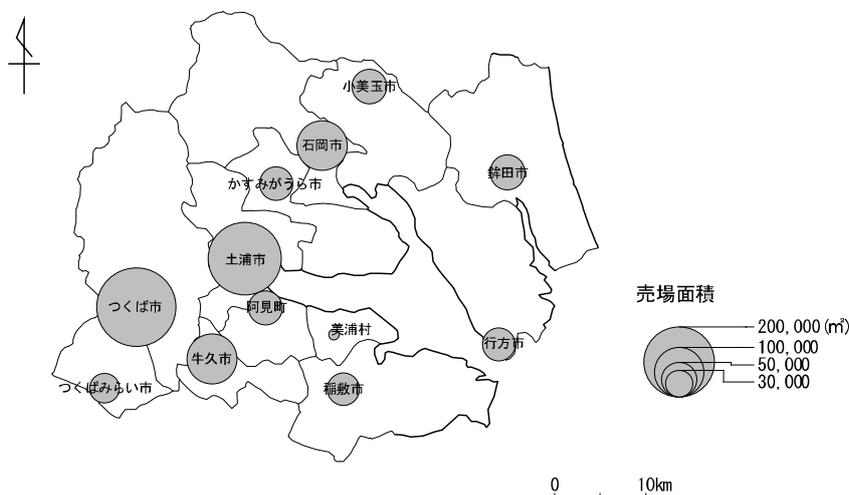
・「事業所別売上(収入)金額」の「商業」(「卸売の商品販売額(代理・仲立手数料を含む)」及び「小売の商品販売額」

を合算したもの。)に金額があり、かつ産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所であること

本章「4. 地区別の実態」で用いる地区別データとは、集計対象が異なるため、「事業所数」、「従業者数」、「年間商品販売額」

は一致しない。ただし「売場面積」は、当該調査項目の数値が得られた事業所が同じであることから同値となっている。

【図Ⅲ-5 土浦商圏の売場面積(平成28年)】



(2) 商業力指数・施設密度・売場効率

都市における商業の活発度を測る尺度に、全県平均を 100 とする「商業力指数」がある。この指数が 100 を超える市町村では、市町村民 1 人当たりの年間商品販売額が県民 1 人当たりのそれより大きく、それだけ商業の活発度が高いことを示す。

ただし、人口規模が小さい市町村に大規模小売店が出店した場合、その市町村の商業力指数が大幅に上昇することに注意が必要である。

$$\text{商業力指数} = \frac{\text{当該市町村民 1 人当たり年間商品販売額 (万円)}}{\text{県民 1 人当たり年間商品販売額 (万円)}} \times 100$$

また、商業においてどれほど多くの販売拠点が存在するか、販売拠点における販売効率がどれほど高いのかということと売上高の間には密接な関係がある。そこで、「施設密度」と「売場効率」という 2 つの指標を定義して、商業力指数と合わせ、土浦商圏の商業について分析する。

$$\text{施設密度} = \frac{\text{当該市町村にある売場面積 (m}^2\text{)}}{\text{当該市町村の人口 (人)}}$$

$$\text{売場効率} = \frac{\text{当該市町村の年間商品販売額 (万円)}}{\text{当該市町村にある売場面積 (m}^2\text{)}}$$

1) 商業力指数（市町村別）

商業力指数をみると、土浦市が 127.8 で最も高く、つくば市が 123.5、牛久市 103.9 で続いている。他の 9 市町村は 100 を下回っている。

2) 施設密度（市町村別）

施設密度をみると、つくば市が 1.6 で最も高く、次いで稲敷市 1.5、土浦市、石岡市が 1.4、牛久市、鉾田市、阿見町が 1.3、行方市が 1.2 となっており、他の 4 市町村は茨城県平均の 1.2 を下回っている。

3) 売場効率（市町村別）

売場効率をみると、美浦村が 244.4 で最も高く、次いでつくばみらい市が 103.0 となっており、他の 10 市町村は全て 100 を下回っている。土浦市は 96.0 で、茨城県平均の 84.5 よりも高水準となっている。

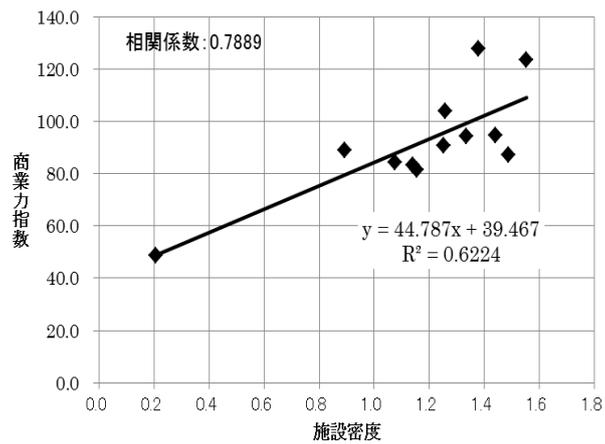
【表Ⅲ-6 土浦商圈の商業力指数・施設密度・売場効率(平成28年)】

	商業力指数	施設密度	売場効率(%)
土浦市	127.8	1.4	96.0
石岡市	94.5	1.4	67.9
牛久市	103.9	1.3	85.4
つくば市	123.5	1.6	82.3
稲敷市	87.0	1.5	60.5
かすみがうら市	84.3	1.1	81.2
行方市	81.6	1.2	73.1
鉾田市	90.6	1.3	74.9
つくばみらい市	88.8	0.9	103.0
小美玉市	83.4	1.1	75.7
美浦村	48.7	0.2	244.4
阿見町	94.3	1.3	73.2
茨城県	100.0	1.2	84.5

(3) 商業力指数と施設密度の相関（市町村別）

商業力指数と施設密度の相関係数は 0.7889 で「かなり強い正の相関」があるといえる。つまり、土浦商圏では、人口当たりの売場面積が大きい市町村ほど、商業の活発度が高いことを示している。

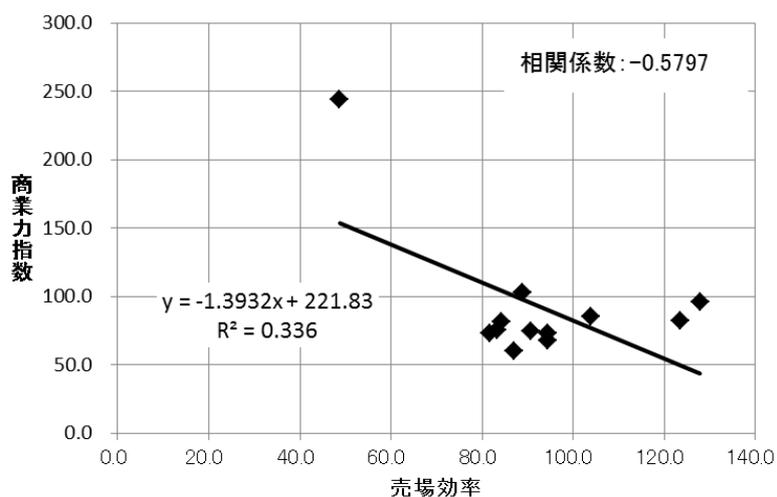
【図Ⅲ-6 商業力指数と施設密度の相関(平成28年)】



(4) 商業力指数と売場効率の相関（市町村別）

平成 28 年における商業力指数と売場効率の相関係数は-0.5797 で、「やや負の相関」があるといえる。つまり、土浦商圏では、売場効率が低い市町村のほうが、商業の活発度が高まる傾向がみられる。

【図Ⅲ-7 商業力指数と売場効率の相関(平成28年)】



3. 土浦市商業の特徴

(1) 土浦市の商業規模

土浦市における商業の状況をみると、平成28年において、商店数は979店、従業者数は8,285人となっている。平成24年と比較して、商店数はほぼ横ばいだが、従業者数及び年間消費販売額は増加している。一方、売場面積は193,402㎡と減少している。

【表Ⅲ-7 土浦市の商業規模】

*出所: 商業統計(平成9～19年)、経済センサス活動調査(平成24年・平成28年)

	平成9年	平成14年		平成19年		平成24年		平成28年	
			増減率(%)		増減率(%)		増減率(%) (参考)		増減率(%)
商店数(店)	1,558	1,413	▲ 9.3	1,176	▲ 16.8	983	▲ 16.4	979	▲ 0.4
従業者数(人)	9,881	10,463	5.9	8,438	▲ 19.4	7,824	▲ 7.3	8,285	5.9
年間商品販売額(百万円)	221,632	180,293	▲ 18.7	154,179	▲ 14.5	151,296	▲ 1.9	185,574	22.7
売場面積(㎡)	188,401	172,698	▲ 8.3	172,407	▲ 0.2	214,471	24.4	193,402	▲ 9.8

(2) 産業分類別の構成

次に、商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積の現況について、経済センサス活動調査の産業分類に基づき、①各種商品、②織物・衣類・身の回り品、③飲食料品、④自動車・自転車、⑤家具・什器・機械器具、⑥医薬品・化粧品、⑦燃料、⑧その他の8業種に分類し、実態を詳しく分析する。

平成28年において商店数が最も多い業種は、「飲食料品」で250店、全体の25.5%を占める。次いで「その他」が236店(24.1%)、「織物・衣類・身の回り品」が137店(14.0%)となっている。

従業者数の最も多い業種は、「飲食料品」で2,816人、全体の34.0%を占める。次いで「その他」が2,171人(26.2%)、「自動車・自転車」が883人(10.7%)で続いている。

年間商品販売額が最も多い業種は、「その他」で48,542百万円、全体の26.2%を占める。次いで「飲食料品」が40,303百万円(21.7%)、「自動車・自転車」が35,526百万円(19.1%)となっている。

売場面積が最も大きい業種は、「その他」で71,903㎡、全体の37.2%を占める。次いで「飲食料品」が37,318㎡(19.3%)、「織物・衣服・身の回り品」が27,040㎡(14.0%)で続いている。

【表Ⅲ-8 土浦市内の商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積の内訳(平成28年)】

	商店数(店)		従業者数(人)		年間商品販売額(百万円)		売場面積(㎡)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
各種商品	4	0.4	358	4.3	10,990	5.9	18,167	9.4
織物・衣服・身の回り品	137	14.0	652	7.9	10,235	5.5	27,040	14.0
飲食料品	250	25.5	2,816	34.0	40,303	21.7	37,318	19.3
自動車・自転車	120	12.3	883	10.7	35,526	19.1	6,722	3.5
家具・什器・機械器具	76	7.8	377	4.6	11,036	5.9	16,601	8.6
医薬品・化粧品	88	9.0	647	7.8	12,093	6.5	15,515	8.0
燃料	68	6.9	381	4.6	16,849	9.1	136	0.1
その他	236	24.1	2,171	26.2	48,542	26.2	71,903	37.2
合計	979	100.0	8,285	100.0	185,574	100.0	193,402	100.0

4. 地区別の実態

(1) 概要

1) 調査の手法

「経済センサス 産業別集計 第七巻 卸売業・小売業に関する集計 その1～3 産業編」を基に、土浦市を8地区に分類し、人口・世帯について、土浦市「常住人口調査」(平成28年6月1日現在)に基づき再集計した。地区区分は、中学校区によって、<表Ⅲ-10>のように8地区に分類した。

2) 地区区分について

中学校区によって、次項<表Ⅲ-10>のように8地区に分類した。

3) 業種分類

「経済センサス活動」の分類に従い、<表Ⅲ-9>の通りに「買い回り品」、「最寄り品」、「その他」に区分した。

【表Ⅲ-9 小売業区分一覧】

産業分類	買い回り品										最寄り品						その他									
	561	569	571	572	573	574	579	593	601	602	607	608	581	582	583	584	585	586	589	603	606	591	592	604	605	609
業種	百貨店、総合スーパー	その他の各種商品小売業	呉服・服地・寝具小売業	男子服小売業	婦人・子供服小売業	靴・履物小売業	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	家具・建具・畳小売業	じゅう器小売業	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	写真機・時計・眼鏡小売業	各種食料品小売業	野菜・果実小売業	食肉小売業	鮮魚小売業	酒小売業	菓子・パン小売業	その他の飲食料品小売業	医薬品・化粧品小売業	書籍・文房具小売業	自動車小売業	自転車小売業	農耕用品小売業	燃料小売業	他に分類されない小売業

【表Ⅲ-10 中学校地区一覧】

中学校区	地 区					
一中地区	中央一丁目	大町	田中一丁目	桜町四丁目	粕毛	滝田一丁目
	中央二丁目	大手町	田中二丁目	湖北一丁目	有明町	滝田二丁目
	東崎町	文京町	田中三丁目	湖北二丁目	港町一丁目	
	城北町	千束町	虫掛	穴塚	港町二丁目	
	川口一丁目	生田町	桜町一丁目	矢作	港町三丁目	
	川口二丁目	立田町	桜町二丁目	飯田	蓮河原町	
	大和町	田中町	桜町三丁目	佐野子町	蓮河原新町	
二中地区	真鍋一丁目	東真鍋町	木田余東台三丁目	若松町		
	真鍋二丁目	西真鍋町	木田余東台四丁目	東若松町		
	真鍋三丁目	真鍋新町	木田余東台五丁目			
	真鍋四丁目	木田余	木田余西台			
	真鍋五丁目	木田余東台一丁目	殿里			
	真鍋六丁目	木田余東台二丁目	東都和			
三中地区	中	荒川沖東三丁目	西根南一丁目	中村南四丁目	中村東一丁目	乙戸南三丁目
	中村西根	荒川沖西一丁目	西根南二丁目	中村南五丁目	中村東二丁目	小山田一丁目
	北荒川沖町	荒川沖西二丁目	西根南三丁目	中村南六丁目	中村東三丁目	小山田二丁目
	中荒川沖町	荒川沖	中村南一丁目	卸町一丁目	乙戸	
	荒川沖東一丁目	荒川本郷	中村南二丁目	卸町二丁目	乙戸南一丁目	
	荒川沖東二丁目	沖新田	中村南三丁目	西根西一丁目	乙戸南二丁目	
四中地区	下高津一丁目	中高津三丁目	桜ヶ丘町	小松一丁目		
	下高津二丁目	上高津	永国	小松二丁目		
	下高津三丁目	上高津新町	永国台	小松三丁目		
	下高津四丁目	国分町	永国東町	千鳥ヶ丘町		
	中高津一丁目	天川一丁目	富士崎一丁目	小松ヶ丘町		
	中高津二丁目	天川二丁目	富士崎二丁目	桜ヶ丘町		
五中地区	沖宿町	おおつ野五丁目	神立中央一丁目	北神立町		
	田村町	おおつ野六丁目	神立中央二丁目	菅谷町		
	おおつ野一丁目	おおつ野七丁目	神立中央三丁目	白鳥町		
	おおつ野二丁目	おおつ野八丁目	神立中央四丁目	神立東一丁目		
	おおつ野三丁目	手野町	神立中央五丁目	神立東二丁目		
	おおつ野四丁目	神立町	中神立町			
六中地区	大岩田	烏山一丁目	摩利山新田			
	霞ヶ岡町	烏山二丁目	自衛隊			
	小岩田東一丁目	烏山三丁目	霞ヶ岡町			
	小岩田東二丁目	烏山四丁目				
	小岩田西一丁目	烏山五丁目				
	小岩田西二丁目	右靱				
都和中地区	常名	並木二丁目	板谷一丁目	板谷七丁目	笠師町	
	都和一丁目	並木三丁目	板谷二丁目	中貫	東中貫町	
	都和二丁目	並木四丁目	板谷三丁目	中都町一丁目	今泉	
	都和三丁目	並木五丁目	板谷四丁目	中都町二丁目	小山崎	
	都和四丁目	東並木町	板谷五丁目	中都町三丁目	栗野町	
	並木一丁目	西並木町	板谷六丁目	中都町四丁目	紫ヶ丘	
新治中地区	藤沢	藤沢新田	東城寺			
	大畑	田土部	小高			
	上坂田	永井	沢辺			
	下坂田	本郷				
	田宮	大志戸				
	高岡	小野				

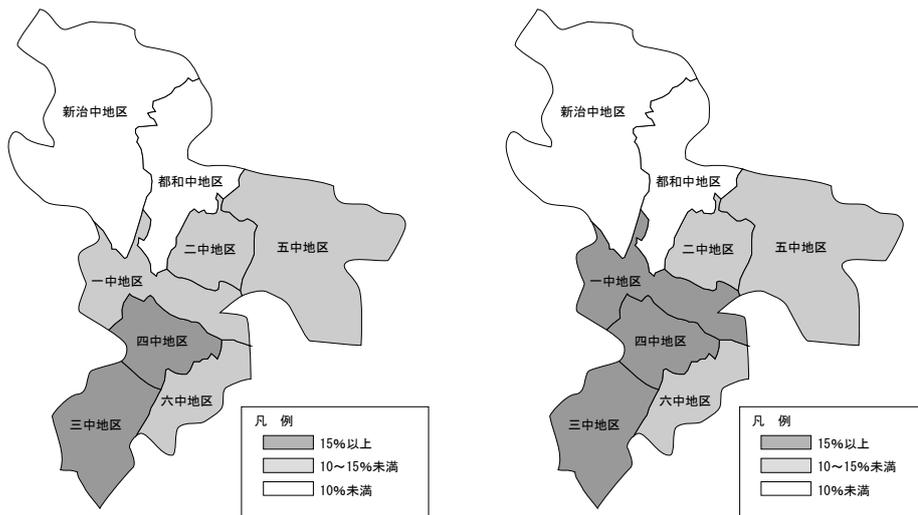
(2) 地区別の人口・世帯分布

土浦市の総人口は、平成28年6月1日現在140,260人で、平成24年2月1日に比べ▲2.3%の減少となっている。中学校区別にみると、最も人口が増加しているのは土浦第三中地区で、1.6%の増加となっている。また、五中地区も0.8%増加している。一方、都和中地区は6.3%減少、新治中地区は5.6%減少、六中地区は5.2%減少となっており、5%を超える減少となっている。

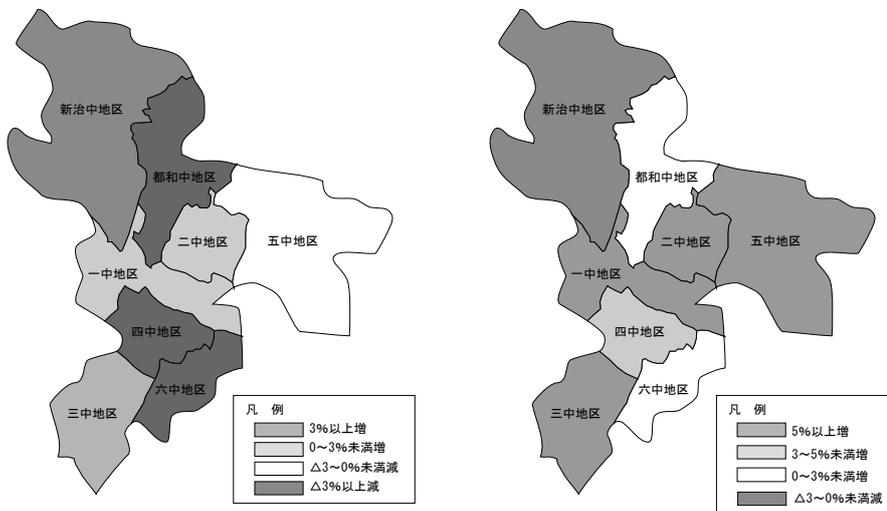
人口構成比をみると、三中地区が18.0%で最も高い。次いで四中地区が17.0%、一中地区が14.1%、五中地区が12.7%と続いている。平成24年に比べ構成比が最も上昇したのは三中地区で、1.2%増加している。一方、六中地区・都和中地区は▲0.7%と、構成比が最も低下している。

土浦市内の総世帯数は8,874世帯で、平成24年に比べ5.4%の増加となっている。世帯数は、六中地区・都和中地区を除いて増加基調を維持している。

【図Ⅲ-8 地区別人口・世帯分布（平成28年6月1日現在）】



【図Ⅲ-9 地区別人口・世帯増減率（平成28年6月1日現在）】



(3) 地区別商業の状況

一中地区についてみると、商店数は地区別で最も多く、263店、市内の27.9%を占める。一方で、年間商品販売額は26,980百万円(16.1%)となっており、商店数の多さと商品販売額には乖離がある。

二中地区についてみると、商店数が117店、市内の12.4%となっているが、売場面積は45,042㎡(23.3%)となっており、売場面積が広がっている。

三中地区についてみると、商店数は143店、市内の15.2%となっているが、年間商品販売額は34,190百万円(20.4%)、売場面積は39,257㎡(20.3%)と、商店数に比べて高くなっている。

四中地区についてみると、商店数は202店、市内の21.5%となっており、年間商品販売額は44,320百万円(26.4%)、売場面積は56,792㎡(29.4%)と、市内で最も高い割合となっている。

五中地区についてみると、各項目が5~8%となっており、商業面の項目ごとのばらつきは小さい。

六中地区についてみると、各項目が3~6%程度となっている。

都和中地区は、各項目が2~6%程度となっている。市内に占める売場面積が2.6%で、地区別で最も低いものの、年間商品販売額のシェアは5.7%となっており、新治中地区、六中地区を上回っている。

新治中地区は、各項目が3~5%程度となっている。

次に、地区別の取扱商品の状況について、買い回り品、最寄り品、その他に分けてみる。

買い回り品の構成比が最も高いのは四中地区で42.1%となっている。

四中地区を除く全地区では、最寄り品の構成比が買い回り品を上回っている。内、一中地区、二中地区、三中地区では、買い回り品の構成比が最寄り品の構成比を十数パーセント上回っているのに対し、それ以外の地区では、買い回り品の構成比が最寄り品の構成比の倍を超える状況にある。特に、五中地区は、最寄り品の構成比が50.7%と高く、買い回り品の構成比は、18.3%にとどまる。また、新治中地区では、最寄り品の構成比が37.5%を占めるが、その他の構成比は50%を超える。

【表Ⅲ-11 地区別の商店数・従業者数・年間商品販売額・売場面積(平成28年経済センサス)】

学 区	地 区	商店数・構成比		従業者数・構成比		年間商品販売額・構成比		売場面積・構成比		
		(店・%)		(人・%)		(万円・%)		(㎡・%)		
一 中 地 区	中央一・二	生田町	飯田							
	東崎町	立田町	佐野子町							
	城北町	田中町	粕毛							
	川口一・二	田中一～三	有明町							
	大和町	虫掛町	港町一～三							
	大町	桜町一～四	蓮河原町							
	大手町	湖北一・二	蓮河原新町							
	文京町	穴塚	滝田一・二							
	千束町	矢作								
		263	27.9	1,568	19.6	2,698,252	16.1	23,931	12.4	
二 中 地 区	真鍋一～六	木田余西台								
	東真鍋町	殿里								
	西真鍋町	東都和								
	真鍋新町	若松町								
	木田余	東若松町								
	木田余東台一～五	117	12.4	1,341	16.8	2,696,998	16.1	45,042	23.3	
三 中 地 区	中	荒川沖	西根西一							
	中村西根	荒川本郷	中村東一～三							
	北荒川沖町	沖新田	乙戸							
	中荒川沖町	西根南一～三	乙戸南一～三							
	荒川沖東一～三	中村南一～六	小山田一・二							
	荒川沖西一・二	卸町一・二								
		143	15.2	1,403	17.6	3,419,264	20.4	39,257	20.3	
四 中 地 区	下高津一～四	桜ヶ丘町	千鳥ヶ丘町							
	中高津一～三	永国	小松ヶ丘町							
	上高津	永国台	桜ヶ丘町							
	上高津新町	永国東町								
	国分町	富士崎一・二								
	天川一・二	小松一～三								
		202	21.5	1,912	23.9	4,432,475	26.4	56,792	29.4	
五 中 地 区	沖宿町	中神立町								
	田村町	北神立町								
	おおつ野一～八	菅谷町								
	手野町	白鳥町								
	神立町	神立東一・二								
	神立中央一～五									
		71	7.5	611	7.6	1,025,609	6.1	9,638	5.0	
六 中 地 区	大岩田	摩利山新田								
	霞ヶ岡町	自衛隊								
	小岩田東一・二	霞ヶ岡町								
	小岩田西一・二									
	烏山一～五									
	右靱	46	4.9	406	5.1	709,686	4.2	5,874	3.0	
都 和 中 地 区	常名	中貫	粟野町							
	都和一～四	中都町一～四	紫ヶ丘							
	並木一～五	笠師町								
	東並木町	東中貫町								
	西並木町	今泉								
	板谷一～七	小山崎								
		51	5.4	443	5.5	948,544	5.7	5,113	2.6	
新 治 中 地 区	藤沢	藤沢新田	東城寺							
	大畑	田土部	小高							
	上坂田	永井	沢辺							
	下坂田	本郷								
	田宮	大志戸								
	高岡	小野								
		48	5.1	308	3.9	845,533	5.0	7,755	4.0	
合 計		941	100.0	7,992	100.0	16,776,361	100.0	193,402	100.0	

【表Ⅲ-12 地区別の店舗業種構成(平成28年経済センサス)】

学 区	地 区			買い回り品・構成比		最寄り品・構成比		その他・構成比		地区合計・構成比	
				(店・%)		(店・%)		(店・%)		(店・%)	
一 中 地 区	中央一・二	生田町	飯田								
	東崎町	立田町	佐野子町								
	城北町	田中町	粕毛								
	川口一・二	田中一～三	有明町								
	大和町	虫掛町	港町一～三								
	大町	桜町一～四	蓮河原町								
	大手町	湖北一・二	蓮河原新町								
	文京町	穴塚	滝田一・二								
	千束町	矢作		83	31.6	115	43.7	65	24.7	263	100.0
	二 中 地 区	真鍋一～六	木田余西台								
東真鍋町		殿里									
西真鍋町		東都和									
真鍋新町		若松町									
木田余		東若松町									
木田余東台一～五				39	33.3	46	39.3	32	27.4	117	100.0
三 中 地 区	中	荒川沖	西根西一								
	中村西根	荒川本郷	中村東一～三								
	北荒川沖町	沖新田	乙戸								
	中荒川沖町	西根南一～三	乙戸南一～三								
	荒川沖東一～三	中村南一～六	小山田一・二								
	荒川沖西一・二	卸町一・二		36	25.2	47	32.9	60	42.0	143	100.0
四 中 地 区	下高津一～四	桜ヶ丘町	千鳥ヶ丘町								
	中高津一～三	永国	小松ヶ丘町								
	上高津	永国台	桜ヶ丘町								
	上高津新町	永国東町									
	国分町	富士崎一・二									
	天川一・二	小松一～三		85	42.1	65	32.2	52	25.7	202	100.0
五 中 地 区	沖宿町	中神立町									
	田村町	北神立町									
	おおつ野一～八	菅谷町									
	手野町	白鳥町									
	神立町	神立東一・二									
	神立中央一～五			13	18.3	36	50.7	22	31.0	71	100.0
六 中 地 区	大岩田	摩利山新田									
	霞ヶ岡町	自衛隊									
	小岩田東一・二	霞ヶ岡町									
	小岩田西一・二										
	烏山一～五										
	右靱			7	15.2	22	47.8	17	37.0	46	100.0
都 和 中 地 区	常名	中貴	粟野町								
	都和一～四	中都町一～四	紫ヶ丘								
	並木一～五	笠師町									
	東並木町	東中貴町									
	西並木町	今泉									
	板谷一～七	小山崎		10	19.6	21	41.2	20	39.2	51	100.0
新 治 中 地 区	藤沢	藤沢新田	東城寺								
	大畑	田土部	小高								
	上坂田	永井	沢辺								
	下坂田	本郷									
	田宮	大志戸									
	高岡	小野		5	10.4	18	37.5	25	52.1	48	100.0

(4) 商業比率からみた地区の特性

各種商業比率より、地区ごとの商業特性を捉えてみる。

商業の活発度は、商業力指数（地区1人当たりの年間商品販売額／市民1人当たりの年間商品販売額×100）でみるができる。土浦市全体を100とした場合の各地区の商業力指数をみると、四中地区が155.0で最も高く、次いで、二中地区が137.8、一中地区が113.9、三中地区が113.5となっている。平成24年と比べると、四中地区の商業力指数が大幅に上昇したのに対し、五中地区では同指数が大きく低下している。（平成19年の商業統計では、一中地区の商業力指数が178.0で圧倒的に高い状態にあったが、その後の大規模小売店舗の出店と閉店により、大きく様変わりしている）。

店舗規模は、地区によってばらつきがみられる。二中地区は385.0㎡で最も大きく、以下、四中地区が281.1㎡、三中地区が274.5㎡と続いている。地区平均は、平成24年経済センサスの166.0㎡から194.6㎡へ拡大している。

【表Ⅲ-13 地区別の商業特性(平成28年経済センサス)】

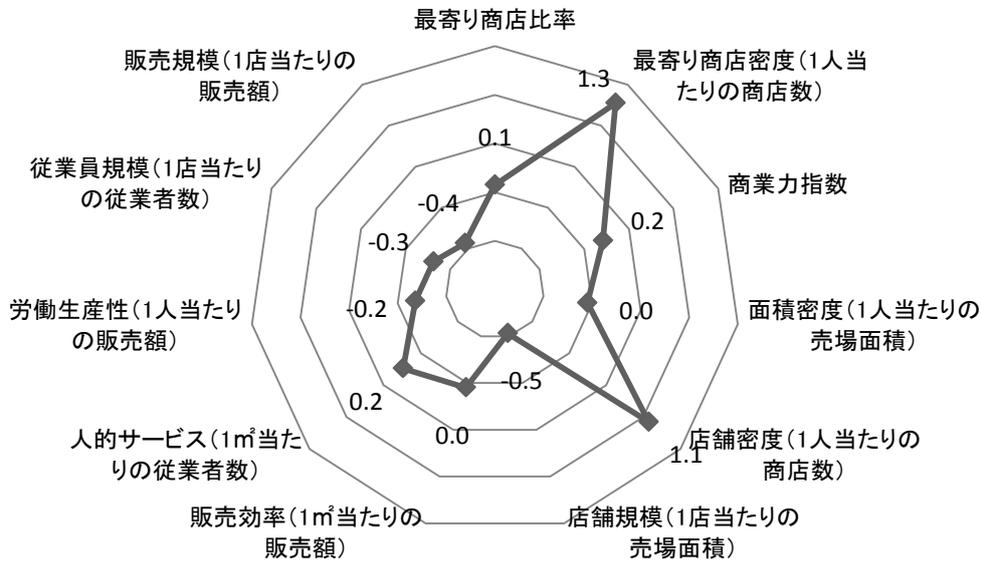
学 区	最寄り商店 比率 (%)	最寄り商店 密度(店) 1人当たりの 商店数	商業力指数	施設密度(㎡)			売場効率(百万円)			従業員規模 (人)	販売規模 (万円)
				面積密度	店舗密度	店舗規模	販売効率	人的サービス	労働生産性		
				1人当たりの 売場面積	1人当たりの 商店数	1店当たりの 売場面積	1㎡当たりの 販売額	1㎡当たりの 従業者数	1人当たりの 販売額		
一中地区	43.7	0.0058	113.9	1.2	0.013	91.0	1.13	0.066	17.2	6.0	102.6
二中地区	39.3	0.0028	137.8	2.8	0.007	385.0	0.60	0.030	20.1	11.5	230.5
三中地区	32.9	0.0019	113.5	1.6	0.006	274.5	0.87	0.036	24.4	9.8	239.1
四中地区	32.2	0.0027	155.0	2.4	0.008	281.1	0.78	0.034	23.2	9.5	219.4
五中地区	50.7	0.0020	48.1	0.5	0.004	135.7	1.06	0.063	16.8	8.6	144.5
六中地区	47.8	0.0014	37.2	0.4	0.003	127.7	1.21	0.069	17.5	8.8	154.3
都和中地区	41.2	0.0016	60.7	0.4	0.004	100.3	1.86	0.087	21.4	8.7	186.0
新治中地区	37.5	0.0022	86.7	1.0	0.006	161.6	1.09	0.040	27.5	6.4	176.2
地区平均	40.7	0.0026	94.1	1.3	0.006	194.6	1.07	0.053	21.0	8.7	181.6

【(参考)地区別の商業特性(平成24年経済センサス)】

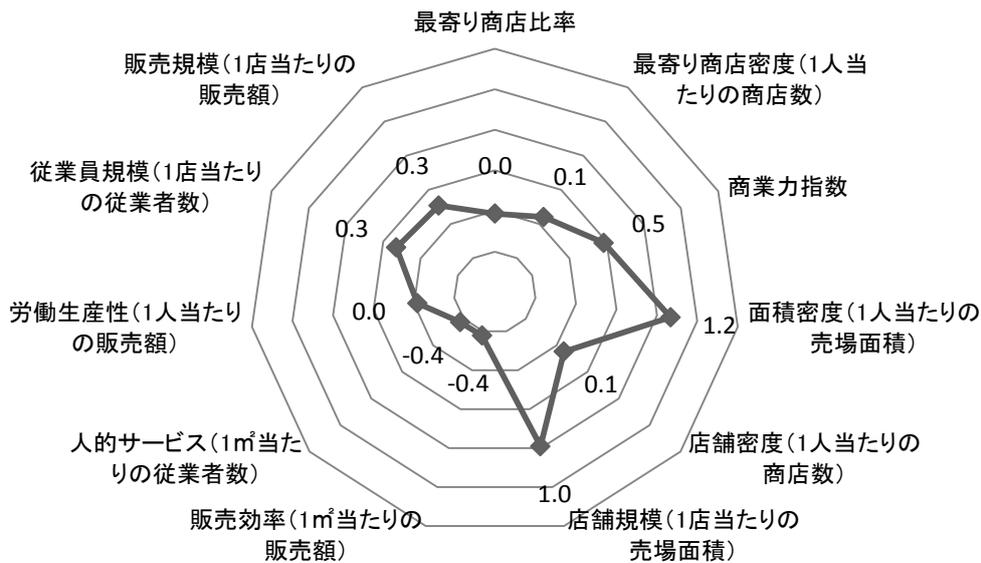
学 区	最寄り商店 比率 (%)	最寄り商店 密度(店) 1人当たりの 商店数	商業力指数	施設密度(㎡)			売場効率(百万円)			従業員規模 (人)	販売規模 (万円)
				面積密度	店舗密度	店舗規模	販売効率	人的サービス	労働生産性		
				1人当たりの 売場面積	1人当たりの 商店数	1店当たりの 売場面積	1㎡当たりの 販売額	1㎡当たりの 従業者数	1人当たりの 販売額		
一中地区	38.5	0.0068	105.5	2.0	0.018	113.6	0.54	0.053	10.3	6.0	61.7
二中地区	41.9	0.0039	137.3	1.7	0.009	179.8	0.85	0.055	15.4	10.0	153.0
三中地区	37.6	0.0029	129.9	2.2	0.008	286.8	0.60	0.035	17.0	10.1	172.6
四中地区	63.0	0.0031	132.5	2.2	0.010	223.5	0.61	0.045	13.6	10.0	137.1
五中地区	52.3	0.0026	70.5	0.6	0.005	125.3	1.17	0.073	16.0	9.2	146.7
六中地区	48.3	0.0017	38.3	0.5	0.003	138.0	0.83	0.060	13.9	8.3	114.8
都和中地区	41.5	0.0019	67.0	0.4	0.005	94.5	1.57	0.086	18.4	8.1	148.8
新治中地区	38.3	0.0027	69.6	1.2	0.007	166.5	0.62	0.036	17.3	6.0	103.7
地区平均	45.2	0.0032	93.8	1.4	0.008	166.0	0.85	0.055	15.2	8.5	129.8

各項目の地区平均を0.0として、地区別にバランスをみてみる。商業力指数が最も高い四中地区では、面積密度（1人当たりの売場面積）がやや高い一方で、人的サービス（1㎡当たりの従業者数）や販売効率（1㎡当たりの販売額）は平均を下回る状況にある。その他、一中地区では、最寄り商店密度（1人当たりの商店数）や店舗密度（1人当たりの商店数）で、二中地区では面積密度（1人当たりの売場面積）や店舗規模（1店当たりの売場面積）が突出している。

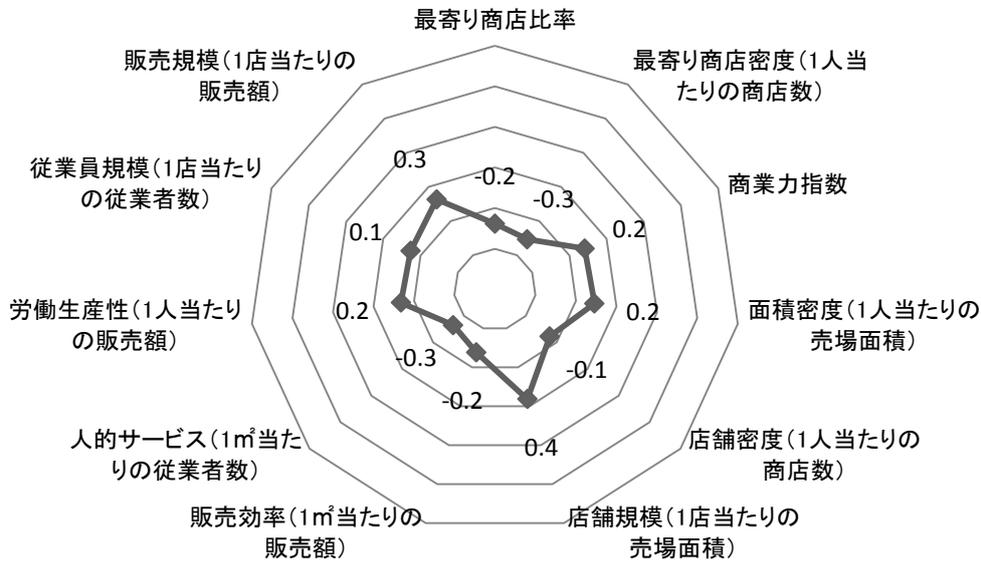
【図Ⅲ-10 一中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



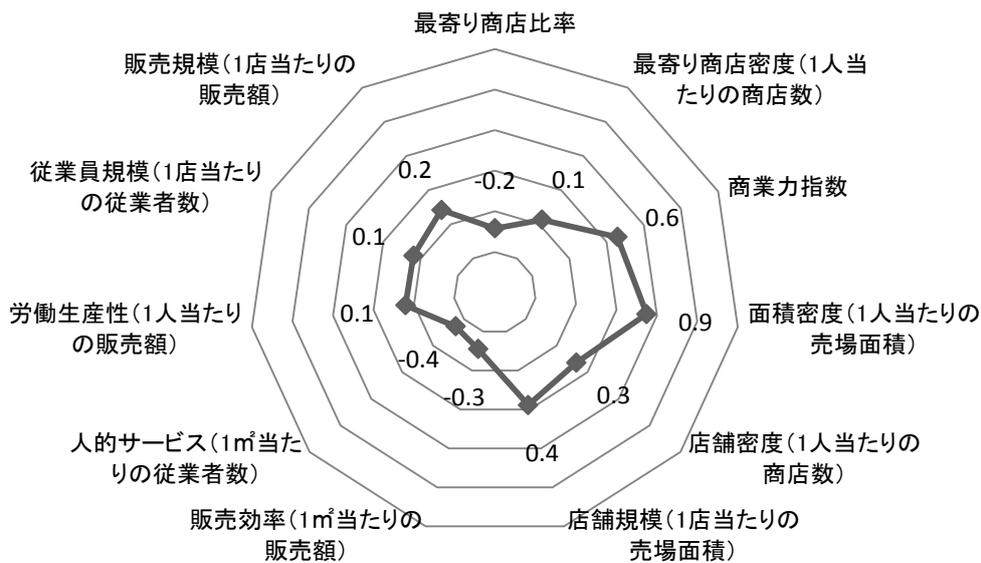
【図Ⅲ-11 二中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



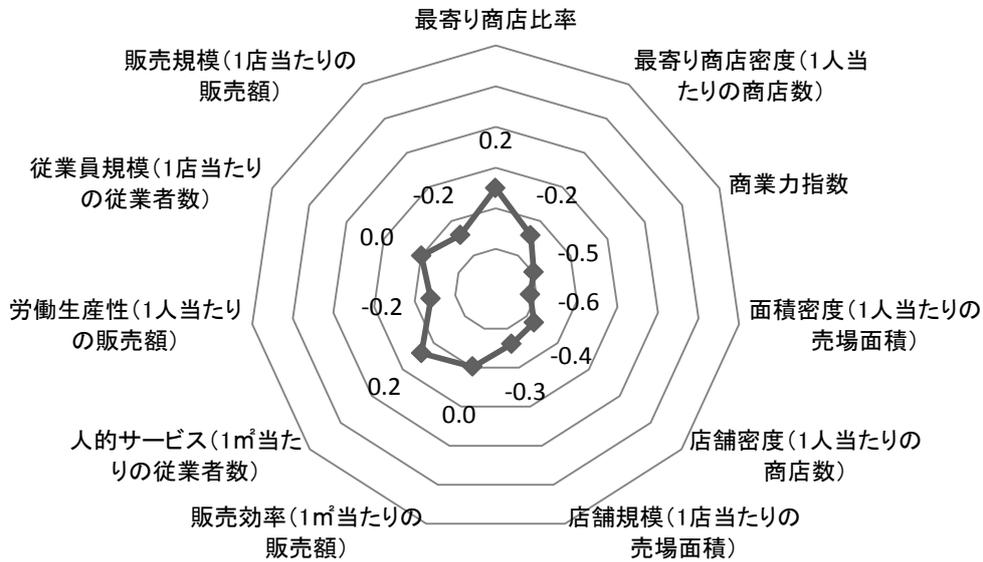
【図Ⅲ-12 三中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



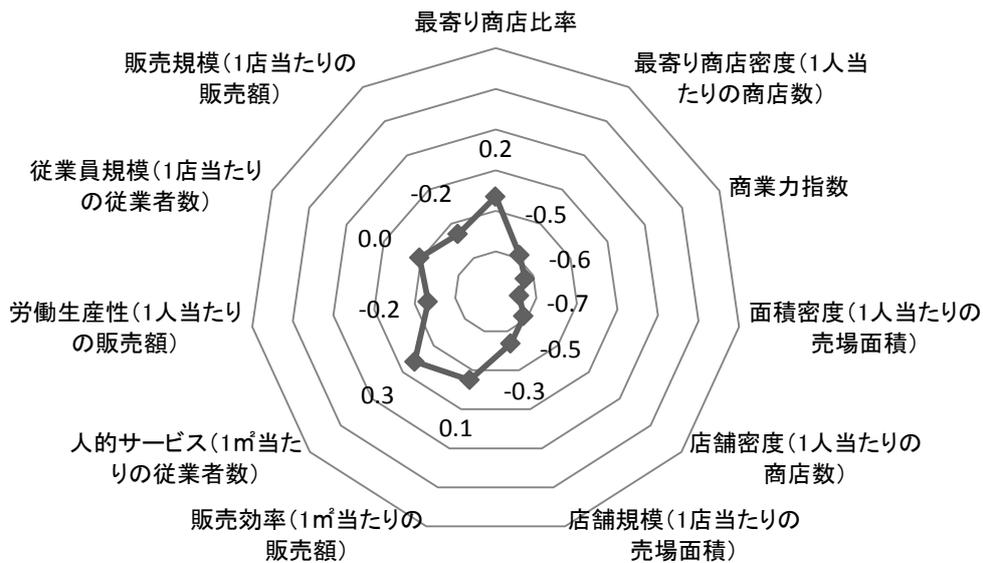
【図Ⅲ-13 四中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



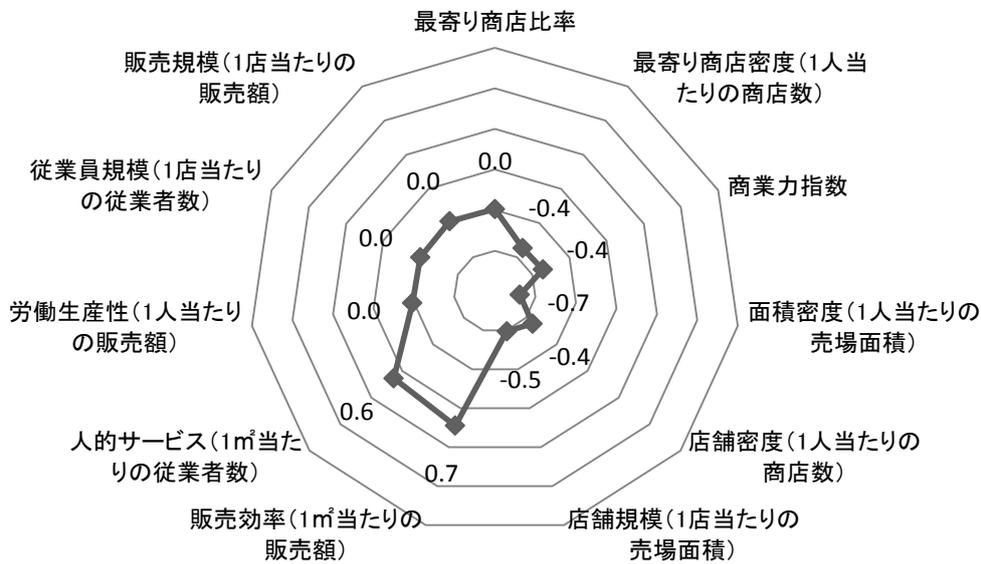
【図Ⅲ-14 五中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



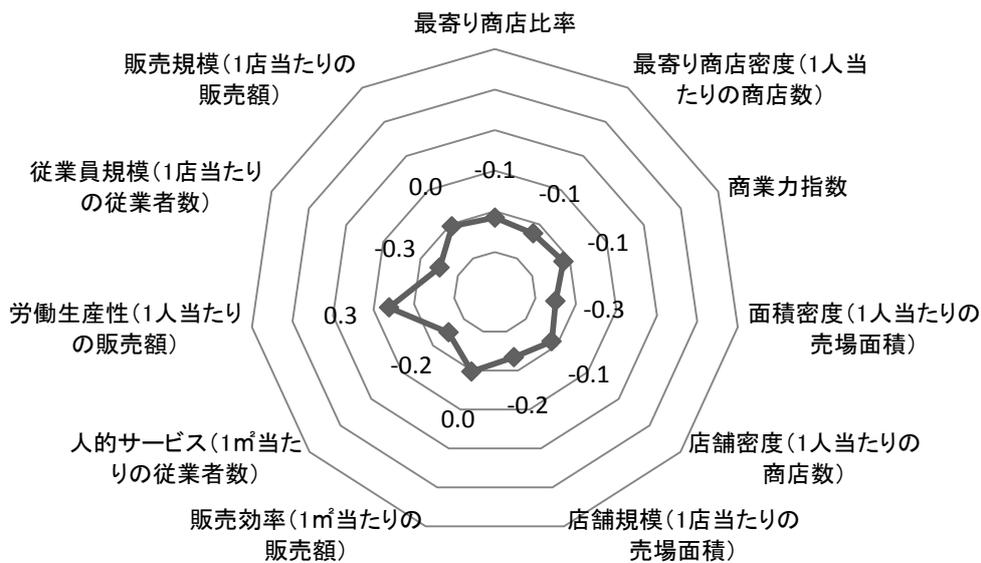
【図Ⅲ-15 六中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



【図Ⅲ-16 都和中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



【図Ⅲ-17 新治中地区の商業特性(地区平均=0.0)】



(5) 商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積からみた各地区の特性

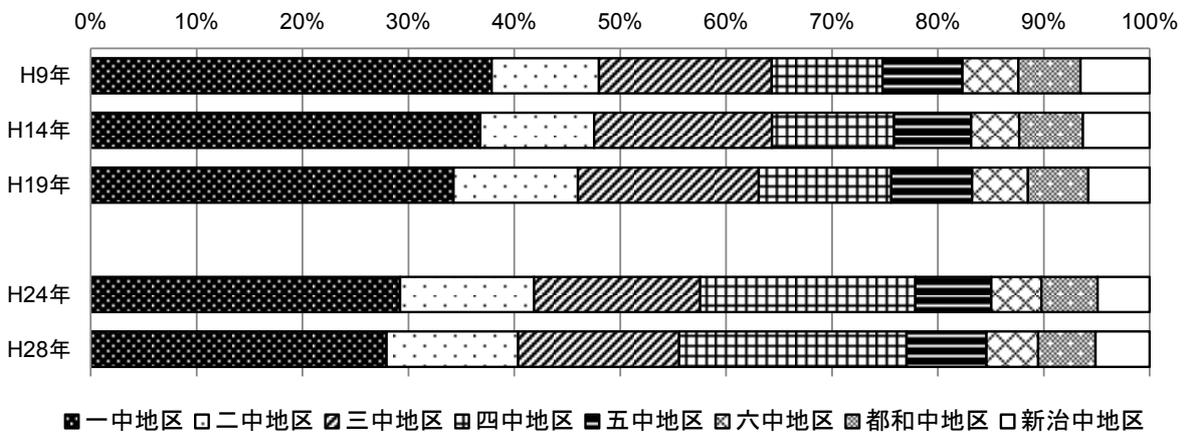
1) 地区別商店数

商店数を地区別にみると、一中地区の構成比が27.9%で最も高い。四中地区が21.5%、三中地区が15.2%、二中地区が12.4%が続いている。六中地区、都和中地区、新治中地区は、いずれも5%前後となっている。

平成24年調査と比べると、全ての地区の商店数が減少している。

【図Ⅲ-18 地区別商店数(構成比)】

*出所: 商業統計(平成19年以前)、経済センサス(平成24年以降)



「商業統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

【表Ⅲ-14 地区別商店数】

(単位: 店)

	H9年	H14年	H19年	H24年	H28年	構成比(%)
一中地区	587	520	403	358	263	27.9
二中地区	157	152	138	155	117	12.4
三中地区	253	237	201	192	143	15.2
四中地区	162	163	147	249	202	21.5
五中地区	117	103	90	88	71	7.5
六中地区	82	64	62	58	46	4.9
都和中地区	91	85	67	65	51	5.4
新治中地区	101	89	68	60	48	5.1
合計	1,550	1,413	1,176	1,225	941	100.0

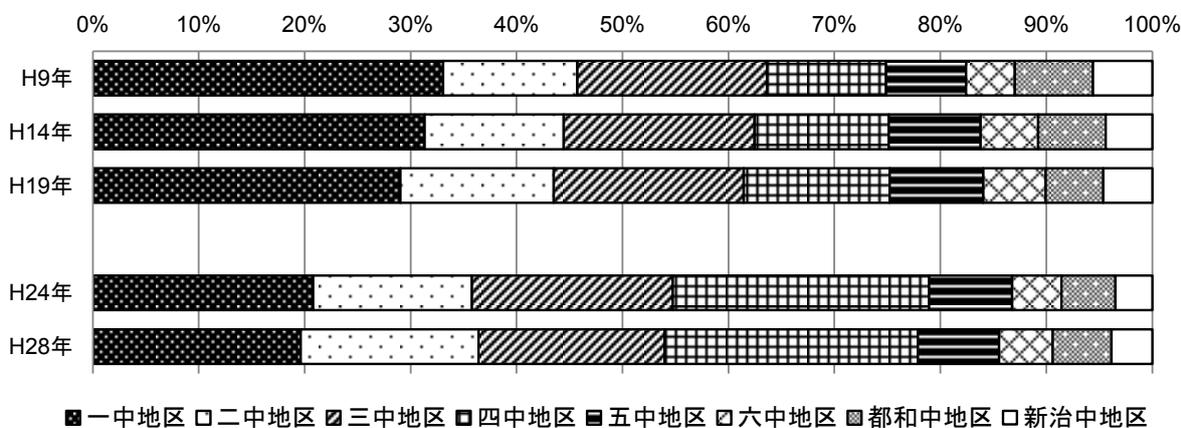
2) 地区別従業者数

従業者数を地区別にみると、四中地区の構成比が23.9%で最も高い。一中地区が19.6%、三中地区が17.6%、二中地区が16.8%が続いている。六中地区、都和中地区、いずれも5%程度、新治中地区は4%程度となっている。

平成24年調査と比べると、全ての地区の従業者数が減少している。

【図Ⅲ-19 地区別従業者数(構成比)】

*出所:商業統計(平成19年以前)、経済センサス(平成24年以降)



「商業統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

【表Ⅲ-15 地区別従業者数】

(単位:人)

	H9年	H14年	H19年	H24年	H28年	構成比(%)
一中地区	3,266	3,276	2,450	2,142	1,568	19.6
二中地区	1,249	1,374	1,220	1,544	1,341	16.8
三中地区	1,770	1,886	1,512	1,955	1,403	17.6
四中地区	1,109	1,325	1,163	2,492	1,912	23.9
五中地区	746	907	746	808	611	7.6
六中地区	454	566	499	479	406	5.1
都和中地区	729	669	458	526	443	5.5
新治中地区	554	460	390	359	308	3.9
合計	9,877	10,463	8,438	10,305	7,992	100.0

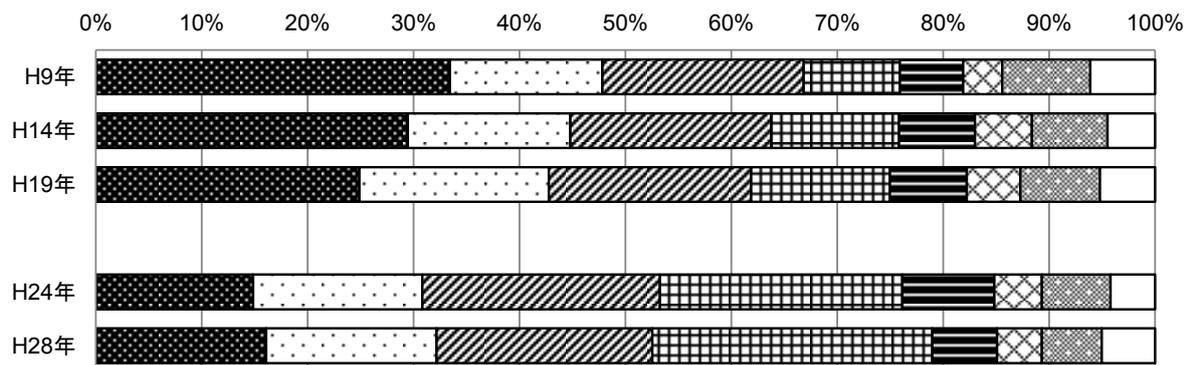
3) 地区別年間商品販売額

年間商品販売額を地区別にみると、四中地区が26.4%で最も高い。三中地区が20.4%、一中地区・二中地区が16.1%が続いている。それ以外の地区は4~6%程度となっている。

平成24年調査と比べると、五中地区、都和中地区を除いて、年間商品販売額が増加している。

【図Ⅲ-20 地区別商品販売額(構成比)】

*出所: 商業統計(平成19年以前)、経済センサス(平成24年以降)



■ 一中地区 □ 二中地区 ▨ 三中地区 ▩ 四中地区 ▪ 五中地区 ▫ 六中地区 ▬ 都和中地区 ▭ 新治中地区

「商業統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

【表Ⅲ-16 地区別年間商品販売額】

(単位: 万円)

	H9年	H14年	H19年	H24年	H28年	構成比(%)
一中地区	7,460,177	5,310,647	3,836,995	2,207,956	2,698,252	16.1
二中地区	3,210,541	2,764,442	2,757,466	2,371,854	2,696,998	16.1
三中地区	4,238,379	3,422,338	2,944,050	3,330,640	3,419,264	20.4
四中地区	2,026,436	2,173,067	2,022,428	3,399,017	4,432,475	26.4
五中地区	1,331,207	1,294,482	1,116,375	1,290,890	1,025,609	6.1
六中地区	825,911	966,322	781,324	665,832	709,686	4.2
都和中地区	1,852,734	1,290,978	1,159,375	967,118	948,544	5.7
新治中地区	1,363,480	806,966	799,863	622,077	845,533	5.0
合計	22,308,865	18,029,242	15,417,876	14,855,384	16,776,361	100.0

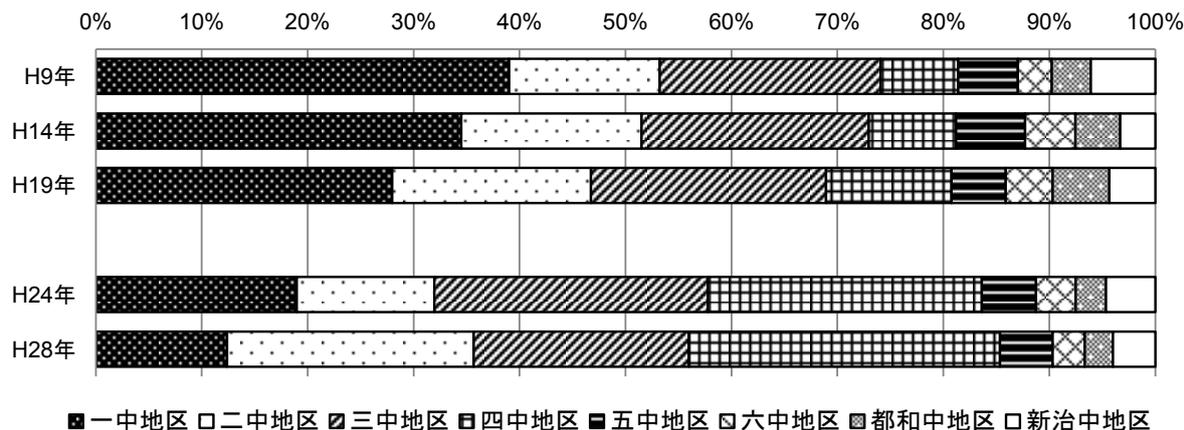
4) 地区別売場面積

売場面積を地区別にみると、四中地区が 29.4%で最も高い。二中地区が 23.3%、三中地区が 20.3%、一中地区が 12.4%で続いている。それ以外の地区は 2~5%程度となっている。

平成 24 年調査と比べると、売場面積は、二中地区が大幅に増加している一方で、一中地区、三中地区が大幅に減少している。

【図Ⅲ-21 地区別売場面積(構成比)】

*出所:商業統計(平成19年以前)、経済センサス(平成24年以降)



「商業統計」と「経済センサス」の間には連続性がない。

【表Ⅲ-17 地区別売場面積】

(単位:㎡)

	H9年	H14年	H19年	H24年	H28年	構成比(%)
一中地区	73,106	59,578	48,201	40,655	23,931	12.4
二中地区	26,626	29,385	32,377	27,862	45,042	23.3
三中地区	39,081	37,037	38,239	55,355	39,257	20.3
四中地区	13,682	14,202	20,432	55,435	56,792	29.4
五中地区	10,588	11,247	8,801	11,025	9,638	5.0
六中地区	5,994	8,201	7,625	8,005	5,874	3.0
都和中地区	6,923	7,317	9,237	6,145	5,113	2.6
新治中地区	11,403	5,731	7,495	9,989	7,755	4.0
合計	187,403	172,698	172,407	214,471	193,402	100.0

5. 商店街関係先ヒアリング

土浦市内の商店街等の現況について、中心市街地地域、荒川沖駅周辺地域、神立駅前周辺地域の現状やイベントなどの振興策、今後の課題などについて、関係先（土浦商店街連合会：中心市街地地域、荒川沖商栄会：荒川沖駅周辺地域、神立商工振興会：神立駅周辺地域）に対しヒアリングを実施した。

（1）中心市街地地域

（土浦まちゼミについて）

- ・まちゼミは市からの提案もあり始めた取組み。
- ・まちゼミにより商店街で回遊が生まれるようになることや、お客さんのシェアができるようになる、新たなつながりや広がり生まれたなどの効果があり、特に女性向けの美容や健康といったことを行っている事業者が成功している印象がある。
- ・まちゼミは2018年で3回目であり、たくさんの方の協力で動いている。2019年の夏には4回目を実施する計画である。出店者の出入りはあるものの、新たな参加者も加わり、広がりがでてきており、まちの賑わいづくりに役立つと考えている。
- ・まちゼミの取組みを通して、やる気のある人が集まってきたこと、入ったことのないお店に入るきっかけづくりとなったことなどが効果として挙げられる。
- ・他地区との連携の取り組みとして、牛久との連携を始めている。その他にも、周辺に取り組みを広げたいと考えており、神立商工振興会にも声をかけているが、いまのところ、進展はない。

（商店街全般について）

- ・市役所の移転や図書館の開業は、来街者の増加につながっており、効果を得ている店舗もできていると思う。
- ・商店街連合会として空き店舗対策を2019年度に向けて実施しようとも考えている。モール505の商店会としても、取り組んでいきたい。
- ・小売店舗に関しては、跡継ぎがないケースが多い。郊外の大型店やつくば市の商業などとの競合のなか、商売としての成立が難しくなっているためである。他にはない魅力のある商品・サービスの提供がカギとなっている。

（モール505について）

- ・地権者は現在でも30人おり、なかなかモール全体での改装は難しい状況にあるのではないかと。
- ・モールとして店舗を増やして魅力あるものにしていく必要があり、そのためには空き店舗対策としての工夫が必要だと考えている。回遊人口の割に家賃が高いことを懸念しており、店舗改装を行った新規入居事業者に対して、一年間の家賃を無料にする、複数の事業者が店舗をシェアするなどのような取組を行えればと考えている。
- ・ほっとONEというまちなか交流ステーションを、2018年より商店街として受託し、運営している。ここでは情報発信やフィルムコミッションの活動などを行っており、火・木・金に

ネット放送も行っている。

- ・日立建機を退職した方がシンギュラリティという飲食店をオープンした。来店客も増えている様子。カフェ野ゾンビ子、という VTuber も行っており、北海道など遠方からのお客さんも来ている。技術者の集まれる飲食店を目指しており、独立をしたい技術者の方も来ているようだ。
- ・りんりんロードや土浦駅の自転車拠点整備により、全ての店舗へのプラスの効果はあったわけではないが、嬉輪というレンタサイクルも行うサイクリスト向けの飲食店が入ってくるなど、モール 505 内にも動きがでてきている。
- ・モール 505 では、新たなショップが入ってくるケースも何件かはある。新たな参加者がでてくることには期待している。モール 505 の場合は、水回りの設備が整備されているため、水回りの導入コストがかからないという点で注目されていることもあるようだ。

(2) 荒川沖駅周辺地域

(荒川沖商業者の現状)

- ・荒川沖には、荒川沖商栄会という商店会があり、バブルのころまでは賑わいがあった。
- ・荒川沖の商店は、明治時代から続くところが多く、現状では3代目の世代が中心となっており、元気ややる気がない（明治時代には、長野の製糸業者の岡谷館が立地し、商店街が形成されてきた経緯がある）。
- ・荒川沖には、7軒の大地主（江戸時代に荒川本郷（宿）から荒川沖に移された人）がおり、行政のまちづくりについても進めることへの協力が得られない。駅からの道付がわるいことも、そのことが要因。
- ・荒川沖の価値が落ちるところまで落ちないと地主の意識も変わらないのではないかと。

(荒川沖のまつりに関する取り組み)

- ・神社のおまつりとして開催されていたものだが、製糸工場の立地以降、大変なにぎわいをみせるものであった。しかし、氏子は地主だけで、他の者は入れないことから、衰退していった。現在70歳代の人たちがまつりの再興のため、西区連合会を立ち上げ、取り組んだ時期はまつりの賑わいが復活していたが、村の土地代からの資金について氏子が権利主張を始めたことから、裁判になり、まつりは再び衰退していった経緯がある。
- ・13・14年前から荒川沖 DO!!spe(どうすっぺ)会がオール荒川沖で神事だけではなく、イベント性のあるまつりにしようと、取り組んでおり、まつりに賑わいが戻りつつある。ただし、同会はサラリーマンが中心となっており、利益享受にもつながらないことから、これ以上の取り組みにはならないと思われる。

(東口について)

- ・駅の東は、株木建設の資材置き場が広がっており、何もなかったところだった。駅の北側に踏切があり、駅西からの商店街のつながりで何店舗かがある程度だった。
- ・資材置き場のあとにできたのが長崎屋で、地元系のテナントが入居していたが、競争が働かない状況で、うまくいかなかったのだろう。

- ・東口は、阿見町に隣接していることから、鉄道駅のない阿見町で、駅の重要性を認識しており、阿見町主導で開発が進展していくのではないかとみている。

(3) 神立駅前周辺地域

(神立商工振興会について)

- ・神立商工振興会（以下、振興会）は、昭和から続く振興会で古くからの商店では代替わりが進み、2代目の方を中心に新たな事業者も入れながら活動を行っている。また、取組が地域限定的になることや会費などの観点から神立につながりのある方や生活圏を同じくするかすみがうら市の方も会員として取込んでいます。
- ・香取氏は振興会の会長。振興会の中心は小さな事業者で、様々な企画を行っている。
- ・長く続いている取組としては、フェスティバル神立（商工祭）が挙げられる。2018年で29回目を行ったイベントで、2年交代の実行委員長を置き、組織立った取組となっている。学生を巻き込んだ文化祭甲子園という取組を行うようになっており、高校生バンドの演奏などをフェスティバル神立のステージ上でしてもらっていたりする。土浦のお祭りでも類似の取組を行うようになったようだ。2018年は神立の小学校の校庭を借りて行った。2017年度までは、第3校庭と公園を借りて行っていた。フェスティバルは政治家を呼んでいなかったが、以前からも来ていたことから、2018年度から正式に呼ぶこととした。土浦市長、かすみがうら市長、両市の県議会議員、市議会議員、国光衆議などが来ている。地域の中心としてのイベントとして認識されてきているのだろう。フェスティバルは前の世代が行っていた時に一度費用面などの課題から行き詰ったことがある。
- ・また、春先に「『囲』酒屋 神立」ドリンクラリーという取組も行っている。1週間程度の期間を設け、チケット制で店舗を回ってもらうイベントで2018年は30店舗の参加があった。かすみがうら市の店舗や、振興会の加盟店でない店舗も参加費を支払えば参加できるような取組としており、参加者の確保ができた。
- ・神立の会員数は110程度。神立以外の会員が15%程度、2代目の方が20~30%程度、他には1代目の方や新しい会員だと考えられる。神立地域では事業承継の問題はあまり聞いてはいない。もとより承継するつもりのないパターンなどもあるが、親子での事業承継や従業員への事業承継ができてきていることも多い。
- ・フェスティバルのために月に1度理事会を開いており、どのようなことができるかを検討している。理事会の中でフェスティバル以外の取組も生まれてきている。
- ・例えば、神（メガ）盛りという取組を始めた。大盛りだけで町おこしを行っているケースは全国的にも稀であり、2018年で2回目、10店舗を超える参加店舗となっている。
- ・その他にはチャリティーゴルフや名前つながりで協定を結んでいる神立高原スキー場での神立高原親睦スキー旅行を行っている。神立には名所や歴史などといったバックグラウンドがあるわけではないので、名前を活かした取組を行うようにしている。神盛りについてもストーリーをつけて提供するといった取組を行った。
- ・イベントを考えることが好きな方が多く集まっている振興会となっている。
- ・地域を盛り上げるには、「ここに行けば何かしている」という風を感じてもらえるのが大切。望ましいのは365日小さいものでもいいので催しを行い、活気づいていると思ってもらえる

ようにすることだろう。

(駅前再開発について)

- ・ 駅前の再開発により、どのように街が形成されていくかがわからない。公共的な図はわかるが、地権者同士の話し合いなども行っていない様子であり、街の顔たる駅周辺の未来図もわかっていない。良い方向に向かうためにどう動くべきかを考えていく必要があるだろう。振興会として、アクションを起こして、地権者の意識を変えていく、具体的なイメージを持ってもらう必要があるのだろう。
- ・ 駅前が再開発により更地ができているので、ちよい飲み屋やスープ店などを出店できたらよい、という話を精肉店の方としている。人が集まれるような空間づくりをしたいと考えている。駅前再開発により旧来あった居酒屋は全て立ち退きとなっている。
- ・ 神立駅の利用者は朝降りる方は工業団地への通勤、乗る方は土浦・都内への通勤・通学をしている。
- ・ かすみがうら市と神立地域が入り組んでいることでまちに対する温度差はあると考えている。会合を行っても、かすみがうら市の方はあまり意見が多く出ないようなところがある。一方、振興会は土浦市の団体なので、かすみがうら市の取組には手を出しにくいところもある。
- ・ 神立にも「土浦まちゼミ」に参加してほしいという話があり、1社は参加したが、あまり費用対効果が上がらないという課題があった。神立でも小学生に職業体験をさせる取組として神立のお仕事、という取組を行った。
- ・ 神立駅との協力関係が築けており、神盛りの横断幕の設置などをしてもらっている。

(地域振興に向けた意見)

- ・ 集まりを作り、誰でも意見を出しやすいような環境を作れば自然と様々な取組みが行われるようになるのではないか。
- ・ 市や商工会議所に期待することとして、振興会での取組は原則自主財源で行っていることから時々資金がほしいと思うが補助金は書類が煩雑である。他には土地の利用やテントの貸し出し程度の支援があれば十分である。
- ・ 近年は保健所のチェックが厳しく、イベント時の出店が面倒になりつつある。

6. 土浦市商業の課題整理

■土浦市の商業を取り巻く環境変化

- ・長期的な環境変化として、JR 土浦駅周辺における「イトーヨーカドー土浦店」の撤退と、同跡地への市役所新庁舎移転後の状況として、土浦市立図書館のオープン、土浦駅ビルでのプレイアトレの展開など新たな動きが継続され、来街者数の増加は図られている。
- ・一方、近隣のつくば市との比較では、土浦市の商業については現状維持程度の推移をしているのに対し、つくば市においては、商圈の拡大が続いており、その差は拡大している。
- ・こうした環境の変化を踏まえ、商業地としての意味合いだけでなく、コンパクトシティの位置付けをもとに幅広く街の活性化を図っていく必要がある。

■環境変化に対する地域商業者の対応

- ・地域内の振興に向けた取組みとして、まちゼミを開催したり、神立商工振興会のようにイベントなどの活動を通して、活性化を図る動きがみられる。
- ・そのほか、従来からの取組みとはなるが、土浦市や商工会議所が中心となり、各種イベント等の開催が行われている。「食のまちづくり」やジャズコンサート等、商業者の自主的な取組みも継続している。

■課題

- ・統計上の連続性の問題はあるものの、事業所数の減少にもみられるように、店主の高齢化や後継者不在による休業・廃業の増加が続いていることが読み取れる。
- ・中心市街地地区のまちゼミの取組や神立商工振興会におけるフェスティバル神立をはじめとした様々な取組など、地域の振興に向けた動きがみられるように、単に、地域商業者だけの取組みにとどまることなく、地域に関わる様々な主体と連携をしながら地域活性化を図っていく必要がある。
- ・土浦駅前に図書館ができたことやつくば霞ヶ浦りんりんロードの整備などにより、来街者が増加しているのは間違いないものの、そういった来街者の回遊性は高まっていないとみられ、来街者をもてなす仕掛けや仕組みづくりには課題がある。

第4章 商業振興に向けてのまとめ

1. 土浦市の生活行動圏・商業活動の特徴

(1) 商業地区ごとの現況・課題と振興方向

1) 中心市街地（一中地区）

- ・ 商店の取扱品目の構成では、買回り品（31.8%）が多い。
- ・ 商店数の地区別構成比は最も高いものの、従業者数、年間商品販売額、売場面積の地区別構成比は24年に比べ大きく低下した。
- ・ 買い物行動は、土浦市内で買い物する割合が96.4%と、平成24年（94.7%）に比べ高まっている。項目別では、リビング用品を除き、紳士服・婦人服・子供服をはじめとして、隣接するつくば市への流出率が50%を超えている。
- ・ 人口は、平成24年から28年にかけて369人（▲1.8%）減少している。その後も平成30年に向け微減傾向にある。
- ・ 中心市街地として、土浦市役所新庁舎の移転や新図書館「アルカス土浦」のオープンがなされ、行政機能・公共機能の集約による昼間人口、つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備促進に伴う交流人口の増加が期待される。そのため、これらの広域からの交流人口に対応するサービスを提供するまち、滞在時間の長時間化に対応できる商業機能の充実を図る必要がある。

2) 神立（五中地区）

- ・ 最寄り品を中心とした商業者の構成となっている。
- ・ 商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積のいずれも平成24年に比べ減少傾向にある。神立駅前を中心とした地区であるが、市内ではそれほど商業が盛んとはいえない状況にある。ただし、駅前地区の区画整理事業が進められており、拠点性が高まることが期待される。
- ・ 人口は、平成24年から28年にかけて51人（+0.3%）増加している。ただし、平成25年をピークにその後は減少傾向にある。一方、平成29・30年は、微増傾向にある。
- ・ 買い物行動は、土浦市内で買い物する割合が93.1%となり、平成24年（93.2%）と比しても高位横ばいの状況にある。紳士服・婦人服・子供服、余暇・趣味関連商品については、隣接するつくば市への流出率が60%を超えている。
- ・ 駅前で進められる区画整理事業を意識した取組みを神立商工振興会で行っており、まちづくりの取組みと一体となった商業機能の充実が期待される。

3) 荒川沖（三中地区）

- ・ 比較的最寄り品が多い商業者の構成となっている。
- ・ 平成 28 年の経済センサスでは、平成 24 年と比べると、年間商品販売額を除くと、商店数、従業者数、売場面積のいずれも減少している。
- ・ 人口は、平成 24 年から 28 年にかけて 425 人（+1.7%）増加と若干ながら増加基調を維持している。その後、平成 29 年までは微増傾向を維持していたが、平成 30 年に微減に転じている。
- ・ 買い物行動は、土浦市内で買い物する割合が 82.6%と、平成 24 年（87.0%）に比べ低下している。全ての項目で、隣接するつくば市への流出率が 60%を超えている。特に紳士服・婦人服・子供服は 84.6%、余暇・趣味関連商品が 83.8%と高い。また、食料品・日用品やリビング用品では、牛久市への流出も比較的高くなっている。
- ・ 駅の東口方面は、阿見町と隣接し、今後の宅地開発が期待される状況にあり、それらの地区の開発による需要増加を取り込める商業機能を充実が求められる。

4) 新治（新治中地区）

- ・ 比較的最寄り品が多い商業者の構成となっている。
- ・ 平成 28 年の経済センサスでは、平成 24 年と比べると、年間商品販売額を除くと、商店数、従業者数、売場面積のいずれも減少している。また、地区別では、六中地区に次いで、年間商品販売額が少ない。
- ・ 人口は、平成 24 年から 28 年にかけて 420 人（▲4.9%）減少している。地区別の人口が全地区で最も人口が少なく、8,000 人強にとどまる。その後も減少傾向にあり、平成 30 年にはほぼ 8,000 人となっている。
- ・ 買い物行動は、土浦市内で買い物する割合が 93.1%と、平成 24 年（84.0%）に比べ高まっている。身の回り品を除く全ての項目で、隣接するつくば市への流出率が 60%を超え、身の回り品も 5 割を超えている。
- ・ 人口が減少傾向にあり、買い物行動に関しても外部への流出が多い状況にあり、商業地域としては、最寄り品を中心とした地域の高齢消費者を中心に利便性の提供の視点を重視した取り組みを続けていくことが重要と考えられる。

2. まちづくり視点のなかでの土浦市商業の振興方向性

(1) 消費者行動の変化への対応

前回、調査時に指摘されていた、消費者の買い物行動への大型商業施設の影響や一般小売店や商店街における顧客離れの傾向は継続しているものとみられる。また、都市間競争が激しくなるなかで、隣接するつくば市への複数の大型商業施設の出店などによって、相対的につくば市の商圈としての吸引力は高まりつつある。

一方で、土浦市の商圈は、ほぼ横ばいを推移している。経済センサス上の商店数をみると、平成24年調査(▲16.4%)までは減少傾向が強かったが、平成28年調査では▲0.4%減と減少幅は大きく縮小し、ほぼ横ばいの結果となり、下げ止まりの動きがみられた。また、売場面積は減少となったものの、従業者数や年間商品販売額については増加しており、減少傾向には歯止めがかかっている。

市内の商業者ヒアリングから確認された事として、商業の枠だけにとどまることなく、また特定の地域内にとどまることなく、ネットワークを形成する動きがあること、物を売るという行為よりも、顧客に体験の機会を提供していくことなど、既存の商業の枠を超えた取り組みの広がりである。これらは、消費者行動の変化への対応として、各地域内で内発的であったり、市や商工会議所の支援のもとで、広がりつつあるもので今後も、取り組み主体の意向を尊重し発展性のある取り組みにつなげていくことが肝要であろう。

(2) まちづくり施策との連携した対応

平成27年に土浦市役所新庁舎がJR土浦駅西口のウララへ移転した。平成29年11月には土浦駅前の再開発ビル「アルカス土浦」に土浦市立図書館が移転し、初年度の来館者数は約60万人を記録した。また、平成30年4月には、土浦駅ビル内にプレイアトレ土浦がオープンしており、つくば霞ヶ浦りんりんロードを訪れるサイクリストの中心市街地への誘客力も高まっているものと考えられる。このように、中心市街地内に都市機能集約が進展することにより拠点性が増しており、様々な機会で中心市街地への来街者が増加しているとみられる。

これらの行政機能や公共機能の集約やその他の都市機能・娯楽機能の充実は、確実に来街者の増加に寄与するものであり、従来からの来街者にも中心市街地における滞留時間の増加をもたらすこととなる。これらの機会をとらえ、新たな来街者のニーズや時間消費に対するニーズを汲み取り、物販分野だけでなく、消費者行動に即したサービスの提供を進めていくことが求められる。

(3) 今後のまちづくりを見据えた対応

コンパクトシティ・アンド・ネットワークのまちづくりのもとで、中心市街地、荒川沖駅周辺地区、神立駅周辺地区は、それぞれ市内の都市機能の集約が進む地区である。その中では、商業だけでなく居住・福祉・教育などの人々の暮らしに直結した様々な機能の集約が進むことが予想され、周辺地区からの来街者への機能の提供の役割を担うことが期待されている。

これらの点からは、居住者、来街者の暮らしのなかで、満足してもらえる物販やサービスの提供をどのような形で行っていきけるのかが、個別の店舗に求められている。個別店舗の取り組みとネットワークを通じた取り組み、まちづくりに係る様々な仕掛けなどが融合していくことが不可欠であり、これらが有機的に連携していくことで、まちの賑わいを創出することにつながる事が可能となるとみられる。

資料編

1. 経済センサス活動調査 地区別データ

(1) 全地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	2	348	1,066,276	17,329
	569	その他の各種商品小売業	2	10	32,767	838
	571	呉服・服地・寝具小売業	17	62	61,528	1,161
	572	男子服小売業	21	78	132,885	2,992
	573	婦人・子供服小売業	51	271	468,336	12,964
	574	靴・履物小売業	13	58	83,894	1,204
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	35	204	276,835	8,719
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	44	315	985,652	13,566
	601	家具・建具・畳小売業	18	44	45,971	2,351
	602	じゅう器小売業	14	41	71,944	684
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	36	300	566,279	16,501
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	25	89	97,072	2,028
		小 計		278	1,820	3,889,439
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	19	1,042	2,050,257	24,483
	582	野菜・果実小売業	18	108	177,601	1,649
	583	食肉小売業	5	48	84,100	779
	584	鮮魚小売業	6	16	14,524	52
	585	酒小売業	21	76	133,718	1,625
	586	菓子・パン小売業	59	373	186,946	1,933
	589	その他の飲食料品小売業	122	1,207	1,383,109	6,797
	603	医薬品・化粧品小売業	88	670	1,209,315	15,515
	606	書籍・文房具小売業	32	453	418,453	9,031
	小 計		370	3,993	5,658,023	61,864
そ の 他	591	自動車小売業	109	855	3,529,481	5,931
	592	自転車小売業	11	34	23,084	791
	604	農耕用品小売業	10	64	197,346	2,053
	605	燃料小売業	68	381	1,684,885	136
	609	他に分類されない小売業	95	845	1,794,103	42,290
		小 計		293	2,179	7,228,899
	合 計		941	7,992	16,776,361	193,402

(2) 一中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	9	23	13,961	317
	572	男子服小売業	4	11	21,466	638
	573	婦人・子供服小売業	11	47	45,235	1,255
	574	靴・履物小売業	4	7	2,792	66
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	8	46	69,525	1,192
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	13	84	140,835	1,380
	601	家具・建具・畳小売業	3	7	12,418	1,600
	602	じゅう器小売業	5	11	9,355	25
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	16	66	109,379	2,234
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	10	22	13,107	377
			小 計	83	324	438,073
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	2	126	153,804	2,472
	582	野菜・果実小売業	6	21	24,025	471
	583	食肉小売業	3	38	55,627	527
	584	鮮魚小売業	2	6	4,385	0
	585	酒小売業	9	37	74,931	266
	586	菓子・パン小売業	19	83	27,904	544
	589	その他の飲食料品小売業	34	276	298,805	1,444
	603	医薬品・化粧品小売業	28	143	303,241	2,313
	606	書籍・文房具小売業	12	122	136,199	1,122
		小 計	115	852	1,078,921	9,159
そ の 他	591	自動車小売業	15	119	635,185	636
	592	自転車小売業	4	17	15,339	398
	604	農耕用品小売業	2	25	64,034	177
	605	燃料小売業	12	80	325,705	0
	609	他に分類されない小売業	32	151	140,995	4,477
			小 計	65	392	1,181,258
		合 計	263	1,568	2,698,252	23,931

(3) 二中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	1	65	168,543	2,126
	569	その他の各種商品小売業	1	2	2,819	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	2	7	2,308	430
	572	男子服小売業	1	2	1,800	0
	573	婦人・子供服小売業	9	42	60,355	2,706
	574	靴・履物小売業	3	13	20,313	600
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	7	52	82,022	2,911
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	4	43	247,998	6,229
	601	家具・建具・畳小売業	1	1	360	0
	602	じゅう器小売業	1	6	10,168	231
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	4	10	17,577	530
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	5	19	26,257	840
			小 計	39	262	640,520
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	6	367	843,556	8,705
	582	野菜・果実小売業	4	35	80,415	620
	583	食肉小売業	1	4	9,370	103
	584	鮮魚小売業	0	0	0	0
	585	酒小売業	2	5	2,979	0
	586	菓子・パン小売業	6	36	15,928	148
	589	その他の飲食料品小売業	14	140	132,586	885
	603	医薬品・化粧品小売業	9	130	173,126	5,023
	606	書籍・文房具小売業	4	76	36,899	1,085
		小 計	46	793	1,294,859	16,569
そ の 他	591	自動車小売業	11	99	270,856	1,000
	592	自転車小売業	0	0	0	0
	604	農耕用品小売業	1	4	32,260	294
	605	燃料小売業	9	45	206,570	0
	609	他に分類されない小売業	11	138	251,933	10,576
		小 計	32	286	761,619	11,870
		合 計	117	1,341	2,696,998	45,042

(4) 三中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	2	11	14,457	150
	572	男子服小売業	4	14	23,193	496
	573	婦人・子供服小売業	3	4	1,869	0
	574	靴・履物小売業	1	2	80	0
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	1	6	7,510	200
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	7	19	15,007	0
	601	家具・建具・畳小売業	5	14	13,674	396
	602	じゅう器小売業	5	16	45,003	348
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	6	150	299,759	9,212
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	2	4	5,650	185
			小 計	36	240	426,202
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	2	96	223,120	2,033
	582	野菜・果実小売業	2	4	3,300	0
	583	食肉小売業	0	0	0	0
	584	鮮魚小売業	1	2	2,372	0
	585	酒小売業	2	8	20,786	589
	586	菓子・パン小売業	4	11	5,756	0
	589	その他の飲食料品小売業	14	164	185,290	507
	603	医薬品・化粧品小売業	16	66	127,005	1,420
	606	書籍・文房具小売業	6	123	127,019	4,291
		小 計	47	474	694,648	8,840
そ の 他	591	自動車小売業	32	232	908,927	2,258
	592	自転車小売業	2	2	32	0
	604	農耕用品小売業	1	4	8,607	300
	605	燃料小売業	13	103	325,793	10
	609	他に分類されない小売業	12	348	1,055,055	16,862
			小 計	60	689	2,298,414
		合 計	143	1,403	3,419,264	39,257

(5) 四中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	1	283	897,733	15,203
	569	その他の各種商品小売業	1	8	29,948	838
	571	呉服・服地・寝具小売業	2	14	30,126	198
	572	男子服小売業	10	45	72,531	1,808
	573	婦人・子供服小売業	24	167	342,398	7,922
	574	靴・履物小売業	4	34	60,476	538
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	18	91	110,148	3,259
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	8	117	429,340	3,819
	601	家具・建具・畳小売業	4	10	16,791	355
	602	じゅう器小売業	1	1	8	0
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	6	54	101,315	3,354
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	6	41	49,706	442
		小 計		85	865	2,140,520
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	3	170	394,685	3,230
	582	野菜・果実小売業	3	34	23,768	338
	583	食肉小売業	1	6	19,103	149
	584	鮮魚小売業	0	0	0	0
	585	酒小売業	3	17	24,111	499
	586	菓子・パン小売業	14	121	79,770	767
	589	その他の飲食料品小売業	21	203	227,708	1,114
	603	医薬品・化粧品小売業	15	117	230,270	2,861
	606	書籍・文房具小売業	5	56	59,097	1,345
	小 計		65	724	1,058,512	10,303
そ の 他	591	自動車小売業	14	119	731,218	1,211
	592	自転車小売業	3	9	5,255	393
	604	農耕用品小売業	2	12	21,881	265
	605	燃料小売業	7	31	205,092	0
	609	他に分類されない小売業	26	152	269,997	6,884
		小 計		52	323	1,233,443
	合 計		202	1,912	4,432,475	56,792

(6) 五中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	0	0	0	0
	572	男子服小売業	1	3	10,395	0
	573	婦人・子供服小売業	3	10	17,274	1,015
	574	靴・履物小売業	1	2	233	0
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	0	0	0	0
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	4	19	59,569	329
	601	家具・建具・畳小売業	1	5	2,115	80
	602	じゅう器小売業	1	2	4,320	80
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1	3	11,037	30
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	1	1	300	84
			小 計	13	45	105,243
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	3	115	188,109	3,547
	582	野菜・果実小売業	0	0	0	0
	583	食肉小売業	0	0	0	0
	584	鮮魚小売業	2	5	2,716	52
	585	酒小売業	1	3	8,074	271
	586	菓子・パン小売業	5	76	36,771	210
	589	その他の飲食料品小売業	14	131	159,536	418
	603	医薬品・化粧品小売業	9	98	162,009	1,782
	606	書籍・文房具小売業	2	47	43,000	1,188
		小 計	36	475	600,215	7,468
そ の 他	591	自動車小売業	6	16	21,166	0
	592	自転車小売業	1	3	2,080	0
	604	農耕用品小売業	2	9	25,422	632
	605	燃料小売業	9	46	258,547	0
	609	他に分類されない小売業	3	17	12,936	0
			小 計	21	91	320,151
		合 計	70	611	1,025,609	9,718

(7) 六中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	1	2	100	0
	572	男子服小売業	0	0	0	0
	573	婦人・子供服小売業	0	0	0	0
	574	靴・履物小売業	0	0	0	0
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	0	0	0	0
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	4	19	80,832	1,710
	601	家具・建具・畳小売業	1	2	403	0
	602	じゅう器小売業	0	0	0	0
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1	1	1,892	3
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	0	0	0	0
			小 計	7	24	83,227
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	1	67	69,457	1,742
	582	野菜・果実小売業	1	1	220	0
	583	食肉小売業	0	0	0	0
	584	鮮魚小売業	0	0	0	0
	585	酒小売業	1	1	364	0
	586	菓子・パン小売業	4	18	9,416	47
	589	その他の飲食料品小売業	8	131	131,267	521
	603	医薬品・化粧品小売業	5	69	124,766	1,158
	606	書籍・文房具小売業	2	26	13,016	0
		小 計	22	313	348,506	3,468
そ の 他	591	自動車小売業	9	51	203,467	100
	592	自転車小売業	1	3	378	0
	604	農耕用品小売業	0	0	0	0
	605	燃料小売業	5	12	70,990	33
	609	他に分類されない小売業	2	3	3,118	560
			小 計	17	69	277,953
		合 計	46	406	709,686	5,874

(8) 都和中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	0	0	0	0
	572	男子服小売業	1	3	3,500	50
	573	婦人・子供服小売業	0	0	0	0
	574	靴・履物小売業	0	0	0	0
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	0	0	0	0
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	3	8	4,071	0
	601	家具・建具・畳小売業	2	3	56	0
	602	じゅう器小売業	1	5	3,090	0
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	2	16	25,320	1,138
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	1	2	2,052	100
			小 計	10	37	38,089
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	2	101	177,526	2,754
	582	野菜・果実小売業	1	2	1,922	0
	583	食肉小売業	0	0	0	0
	584	鮮魚小売業	0	0	0	0
	585	酒小売業	1	1	187	0
	586	菓子・パン小売業	5	25	10,825	217
	589	その他の飲食料品小売業	8	77	113,929	142
	603	医薬品・化粧品小売業	3	17	33,666	186
	606	書籍・文房具小売業	1	3	3,223	0
			小 計	21	226	341,278
そ の 他	591	自動車小売業	13	147	432,055	526
	592	自転車小売業	0	0	0	0
	604	農耕用品小売業	0	0	0	0
	605	燃料小売業	4	16	99,009	0
	609	他に分類されない小売業	3	17	38,113	0
			小 計	20	180	569,177
		合 計	51	443	948,544	5,113

(9) 新治中地区

	産業分類	業 種	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
買 い 回 り 品	561	百貨店、総合スーパー	0	0	0	0
	569	その他の各種商品小売業	0	0	0	0
	571	呉服・服地・寝具小売業	1	5	576	66
	572	男子服小売業	0	0	0	0
	573	婦人・子供服小売業	1	1	1,205	66
	574	靴・履物小売業	0	0	0	0
	579	その他の織物・衣服・身の回り品小売業	1	9	7,630	1,157
	593	機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	1	6	8,000	99
	601	家具・建具・畳小売業	1	2	154	0
	602	じゅう器小売業	0	0	0	0
	607	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	0	0	0	0
	608	写真機・時計・眼鏡小売業	0	0	0	0
			小 計	5	23	17,565
最 寄 り 品	581	各種食料品小売業	0	0	0	0
	582	野菜・果実小売業	1	11	43,951	220
	583	食肉小売業	0	0	0	0
	584	鮮魚小売業	1	3	5,051	0
	585	酒小売業	2	4	2,286	0
	586	菓子・パン小売業	2	3	576	0
	589	その他の飲食料品小売業	9	85	133,988	1,766
	603	医薬品・化粧品小売業	3	30	55,232	772
	606	書籍・文房具小売業	0	0	0	0
		小 計	18	136	241,084	2,758
そ の 他	591	自動車小売業	9	72	326,607	200
	592	自転車小売業	0	0	0	0
	604	農耕用品小売業	2	10	45,142	385
	605	燃料小売業	8	48	193,179	93
	609	他に分類されない小売業	6	19	21,956	2,931
			小 計	25	149	586,884
		合 計	48	308	845,533	7,755

土浦市

○**商圈**：全体の吸収率は333%で、前回は7ポイント低下した。リビング用品、余暇・趣味関連商品が上昇した一方、紳士服・婦人服・子供服、食料品・日用品、身の回り品は10ポイント以上低下した。他市町村からの吸収率は、かすみがうら市が86%で最も高く、11市町村が10%を超えている。

流出率は、つくば市が59%で高く、阿見町も10%を超えている。

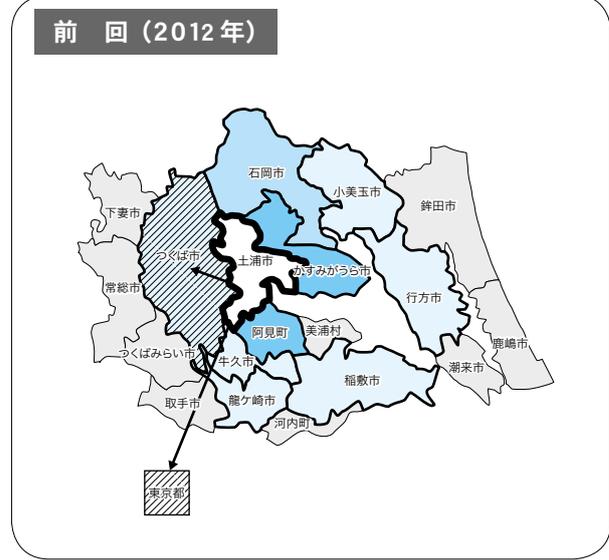
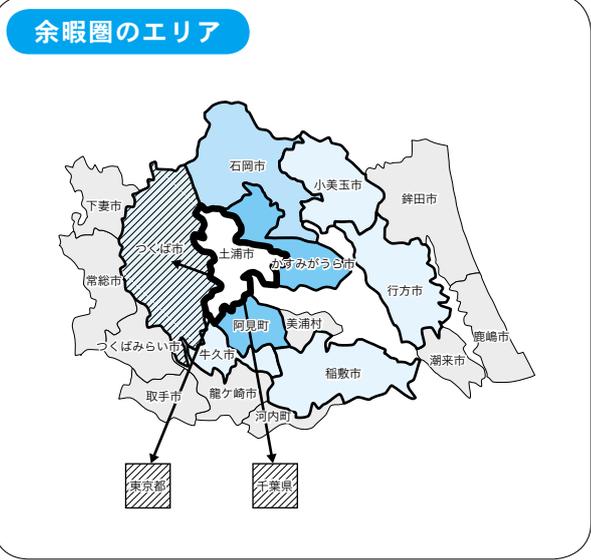
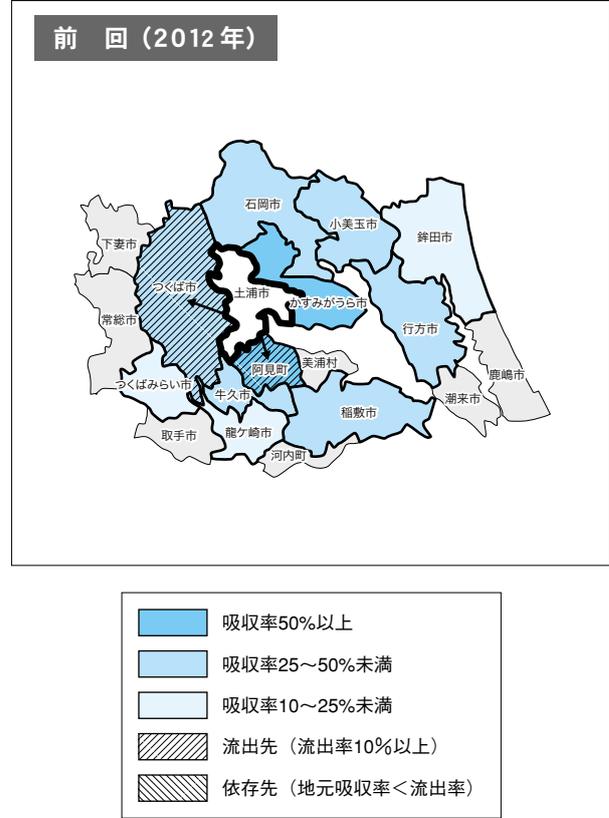
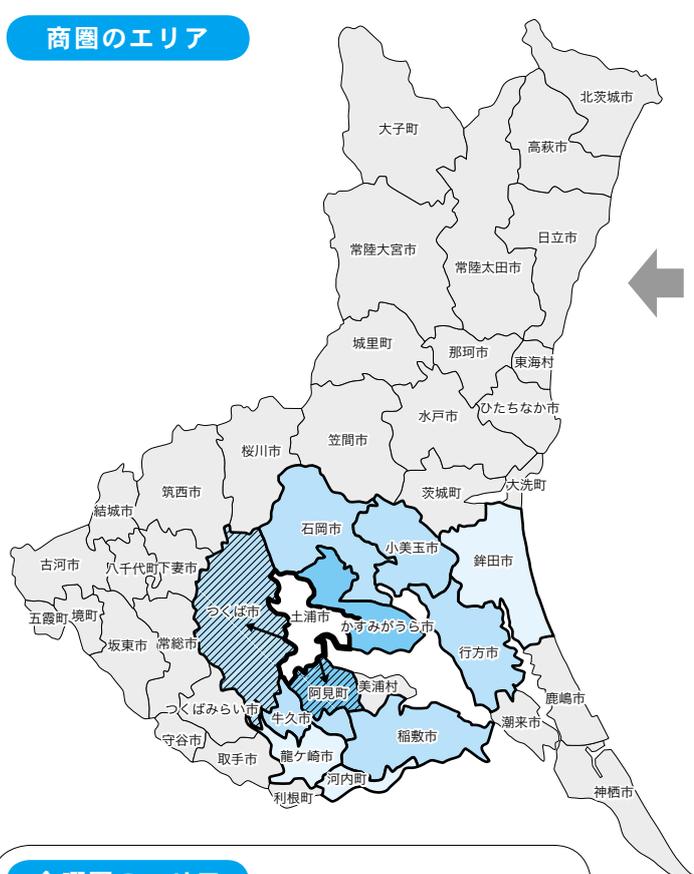
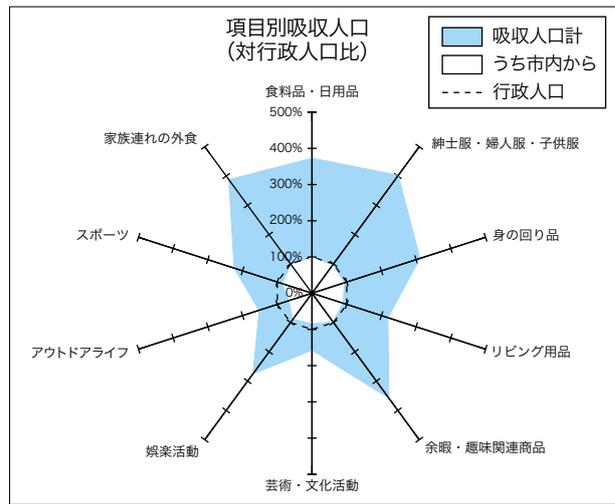
○**余暇圏**：全体の吸収率は239%で、前回は3ポイント上昇した。家族連れの外食、アウトドアライフでそれぞれ8ポイント上昇するなど、スポーツを除く4項目が上昇した。他市町村からの吸収率は、8市町村が10%を超えている。

流出率は、つくば市が44%で最も高く、東京都が13%、千葉県が11%となっている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**

出店：ケーズデンキ土浦真鍋店、サンキ土浦店 (11,312㎡)、山新土浦店 (6,718㎡)、ダイユエイト土浦おおつ野店 (6,008㎡)

退店：サンキ土浦店 (1,316㎡)、ウララビル (イトーヨーカ堂) (17,871㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		カラ・テレビジョン		インターネットショッピング		生協等の共同購入			
	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比			
食料品・日用品	21.8	-1.0	84.2	2.6	68.0	4.6	40.7	1.2	52.0	10.5	28.3	3.6	7.0	0.6	12.5	1.7	9.1	4.2	24.3	0.1
紳士服・婦人服・子供服	16.8	0.6	5.5	-3.9	84.6	1.6	45.9	-4.3	0.2	-0.2	0.0	0.0	7.4	-2.2	16.7	3.0	11.2	6.3	6.1	2.0
身の回り品	15.6	1.0	4.5	-2.9	79.5	1.0	39.9	1.7	0.2	-0.4	0.0	0.0	2.5	-1.3	15.1	4.3	9.1	5.0	1.7	0.5
リビング用品	8.0	-3.4	3.2	-0.8	50.9	5.8	71.3	3.6	0.2	-0.4	0.0	0.0	3.6	-2.3	14.0	-0.2	6.8	3.8	1.4	-0.2
余暇・趣味関連商品	19.0	-1.7	9.2	-1.7	72.5	8.4	57.2	-0.3	5.9	-1.4	0.3	0.3	1.4	-0.9	20.7	2.5	11.9	7.1	3.1	0.8

土浦市の吸収・流出の状況

	商圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食	
		12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比
吸収人口計(人)	吸収人口計	469,815	526,693	568,289	439,052	308,797	506,245	338,002	222,367	388,114	215,194	316,915	547,419										
	うち土浦市内から	131,013	138,358	132,683	128,281	122,489	133,256	115,894	115,573	120,807	91,064	117,516	134,511										
	他市町村から	1	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市									
		2	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	かすみがうら市	石岡市	かすみがうら市	阿見町	石岡市	かすみがうら市	阿見町	石岡市									
		3	かすみがうら市	かすみがうら市	阿見町	かすみがうら市	阿見町	かすみがうら市	阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市	阿見町	かすみがうら市	かすみがうら市									
		4	阿見町	阿見町	かすみがうら市	阿見町	石岡市	阿見町	石岡市	牛久市	阿見町	石岡市	牛久市	阿見町									
5		牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	石岡市	小美玉市	牛久市	石岡市	牛久市										
吸収率	吸収人口計/行政人口	332.5%	372.8%	402.2%	310.8%	218.6%	358.3%	239.2%	157.4%	274.7%	152.3%	224.3%	387.5%										
	12年比	-7.3	-15.4	-17.0	-12.0	4.0	3.7	2.7	1.4	4.1	8.0	-8.3	8.2										
	うち土浦市内から	92.7%	97.9%	93.9%	90.8%	86.7%	94.3%	82.0%	81.8%	85.5%	64.5%	83.2%	95.2%										
	12年比	-0.2	-1.4	0.3	-0.6	2.3	-1.5	0.1	0.4	1.4	1.5	-1.2	-1.5										
	他市町村から	1	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市									
		2	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町									
		3	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	牛久市	石岡市	石岡市	稲敷市	石岡市									
		4	行方市	つくば市	行方市	小美玉市	つくば市	稲敷市	小美玉市	石岡市	小美玉市	つくば市	つくば市	行方市									
		5	稲敷市	稲敷市	小美玉市	行方市	牛久市	つくば市	稲敷市	つくば市	行方市	牛久市	牛久市	小美玉市									
		6	つくば市	行方市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	行方市	行方市	小美玉市	稲敷市	小美玉市	石岡市	稲敷市									
		7	小美玉市	牛久市	つくば市	つくば市	行方市	小美玉市	つくば市	稲敷市	牛久市	利根町	小美玉市	つくば市									
		8	牛久市	小美玉市	牛久市	牛久市	小美玉市	牛久市	牛久市	行方市	つくば市	稲敷市	取手市	牛久市									
		9	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	河内町	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	河内町	龍ヶ崎市	行方市	つくばみらい市	鉾田市									
		10	鉾田市	鉾田市	鉾田市	龍ヶ崎市	鉾田市	鉾田市	鉾田市	潮来市	鉾田市	桜川市	行方市	龍ヶ崎市									
		11	河内町	河内町	潮来市	鉾田市	河内町	河内町	利根町	下妻市	利根町	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	桜川市									
		12	下妻市	つくばみらい市	常総市	潮来市	桜川市	利根町	取手市	鉾田市	取手市	境町	守谷市	利根町									
		13	潮来市	利根町	桜川市	下妻市	下妻市	下妻市	桜川市	取手市	下妻市	河内町	河内町	潮来市									
14		常総市	下妻市	下妻市	常総市	鹿嶋市	常総市	河内町	大子町	桜川市	守谷市	下妻市	下妻市										
15		桜川市	常総市	河内町	桜川市	取手市	潮来市	下妻市	利根町	常総市	常総市	桜川市	河内町										
16		利根町	桜川市	利根町	笠間市	守谷市	取手市	つくばみらい市	つくばみらい市	河内町	下妻市	鉾田市	笠間市										
17		つくばみらい市	取手市	鹿嶋市	利根町	笠間市	桜川市	常総市	桜川市	つくばみらい市	取手市	城里町	つくばみらい市										
流出率	1	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市										
	2	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	牛久市	牛久市	東京都	東京都	千葉県	栃木県	かすみがうら市	阿見町										
	3	牛久市	かすみがうら市	東京都	東京都	埼玉県	東京都	千葉県	牛久市	東京都	ひたちなか市	石岡市	東京都										
	4	東京都	牛久市	千葉県	千葉県	かすみがうら市	阿見町	栃木県	水戸市	栃木県	千葉県	阿見町	牛久市										
	5	かすみがうら市	東京都	牛久市	牛久市	東京都	かすみがうら市	阿見町	阿見町	福島県	福島県	福島県	千葉県										

※各項目で10%以上の都市を記載

	吸収率・流出率	50%以上
	吸収率・流出率	25%以上
	吸収率・流出率	10%以上

石岡市

○**商圏**：全体の吸収率は177%で、前回は6ポイント低下した。食料品・日用品は9ポイント上昇したものの、身の回り品、紳士服・婦人服・子供服、リビング用品は10ポイント以上低下した。他市町村からの吸収率は、小美玉市が75%で最も高く、3市町村が10%を超えている。

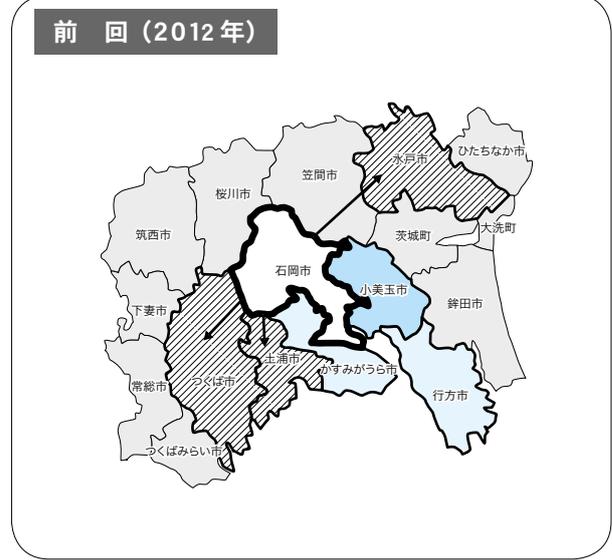
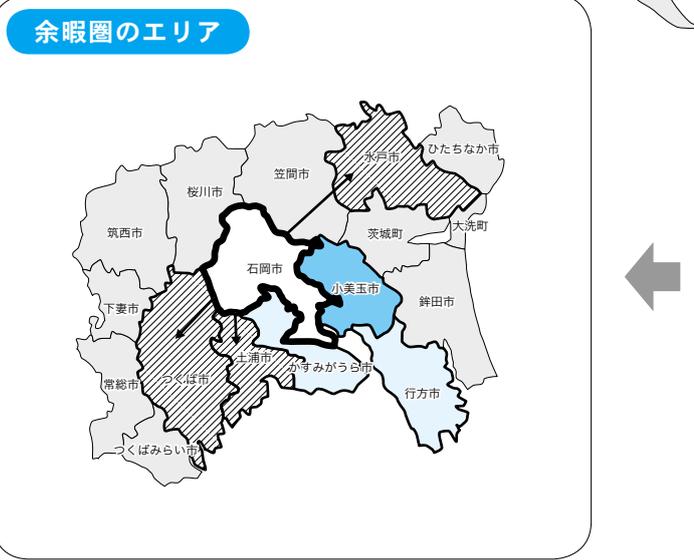
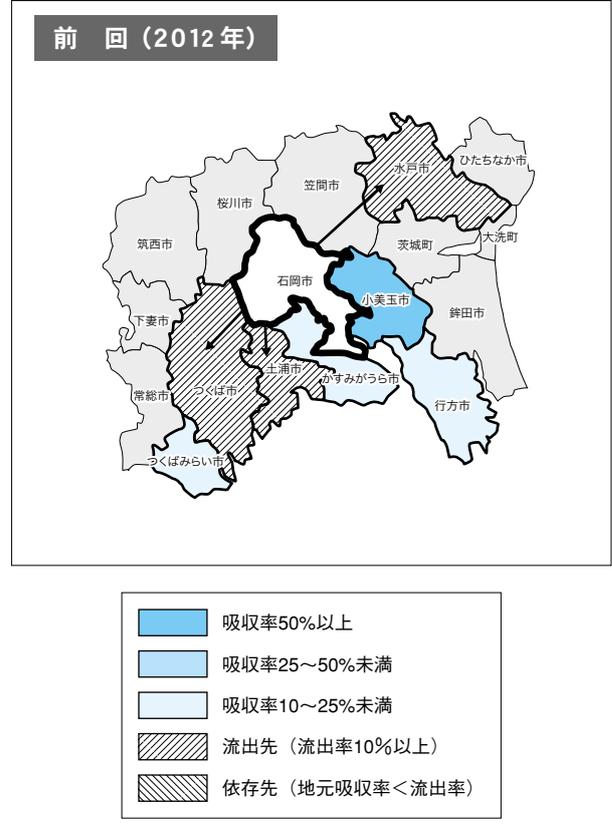
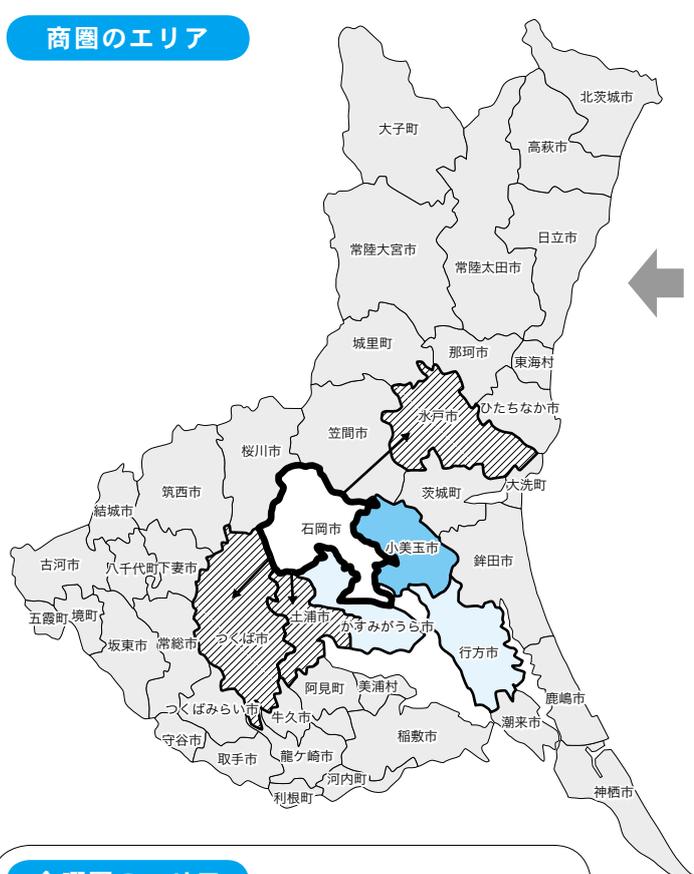
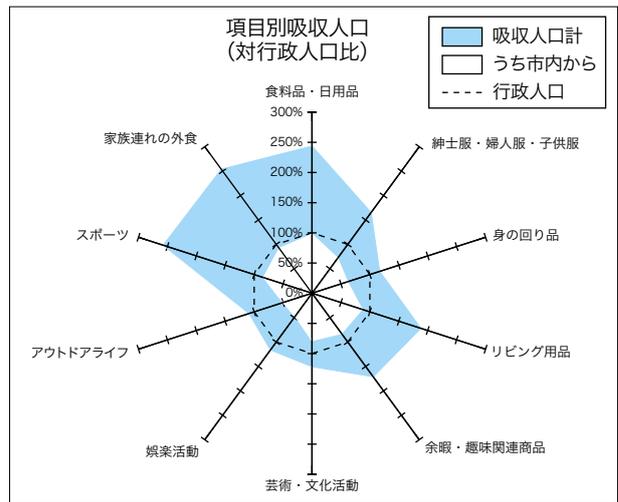
流出率は、土浦市が50%で最も高く、つくば市も40%を超えている。

○**余暇圏**：全体の吸収率は172%で、前回は3ポイント上昇した。娯楽活動が10ポイント上昇するなど3項目が上昇する一方、アウトドアライフが8ポイント低下するなど、2項目が低下した。他市町村からの吸収率は、小美玉市が51%で最も高く、かすみがうら市、行方市が10%を超えている。

流出率は、土浦市が33%で最も高く、つくば市、水戸市も20%を超えている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**

出店：ベイシアスーパーマーケット石岡東光台店 (2,137㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比		
食料品・日用品	27.3	3.4	86.8	3.4	57.5	2.8	42.2	1.4	46.6	-0.6	33.1	6.6	5.3	1.3	10.3	0.8	7.0	3.9	25.2	-4.4
紳士服・婦人服・子供服	14.4	-4.5	7.3	0.5	79.9	3.1	48.2	-1.0	0.3	0.3	0.0	0.0	8.3	-3.6	13.1	-1.8	11.8	7.0	2.6	-3.0
身の回り品	19.1	1.1	7.1	1.7	76.7	9.7	38.5	-2.1	0.0	-0.5	0.0	0.0	3.6	-0.5	11.7	1.1	10.0	6.2	1.6	-1.1
リビング用品	13.2	4.8	2.4	1.0	38.7	7.4	74.9	1.3	0.0	-0.6	0.0	0.0	3.8	-4.9	9.1	-1.0	4.5	2.5	0.0	-2.9
余暇・趣味関連商品	28.6	2.3	8.4	0.6	64.0	6.9	57.6	1.6	5.5	-1.7	0.0	0.0	1.3	-0.1	17.0	-2.1	11.6	8.6	1.9	-3.6

石岡市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品	余 暇 圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食	
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	134,512	185,254	125,567	88,853	142,897	129,986	130,312	92,473	88,263	82,544	195,470	192,811
	うち石岡市内から	60,792	74,388	54,563	46,619	65,814	62,575	53,496	59,733	36,008	38,142	63,761	69,838
	1	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市
	2	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市
	3	行方市	土浦市	行方市	行方市	行方市	行方市	土浦市	つくば市	つくば市	つくば市	土浦市	行方市
	4	笠間市	笠間市	笠間市	笠間市	笠間市	土浦市	つくば市	土浦市	かすみがうら市	笠間市	かすみがうら市	笠間市
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	177.1%	243.8%	165.3%	117.0%	188.1%	171.1%	171.5%	121.7%	116.2%	108.7%	257.3%	253.8%
	うち石岡市内から	80.0%	97.9%	71.8%	61.4%	86.6%	82.4%	70.4%	78.6%	47.4%	50.2%	83.9%	91.9%
	1	75.0%	84.4%	70.3%	54.3%	88.1%	78.0%	50.7%	39.0%	45.5%	21.3%	57.4%	90.2%
	2	19.8%	30.2%	21.4%	9.1%	24.1%	17.1%	16.1%	9.0%	14.8%	7.1%	24.0%	31.5%
	3	16.6%	21.0%	18.8%	6.1%	20.9%	13.4%	12.4%	2.1%	8.9%	4.5%	15.1%	28.3%
	4	6.5%	11.4%	7.5%	2.8%	5.9%	6.7%	6.7%	1.5%	3.9%	3.4%	12.3%	15.9%
流 出 率	1	49.7%	47.0%	64.8%	54.5%	25.7%	56.5%	33.0%	14.5%	57.0%	18.1%	16.4%	64.6%
	2	41.4%	37.7%	54.4%	46.5%	22.2%	46.4%	25.6%	12.2%	34.8%	17.7%	15.7%	50.8%
	3	28.8%	25.2%	40.1%	30.6%	15.0%	34.3%	20.0%	9.2%	31.0%	16.0%	12.5%	37.5%
	4	7.8%	24.1%	8.0%	5.3%	5.3%	6.0%	8.7%	8.0%	19.7%	14.0%	12.5%	11.7%
	5	7.5%	16.0%	7.0%	5.1%	4.8%	5.3%	8.3%	6.9%	11.5%	11.5%	10.0%	9.9%
	6	5.8%	10.4%	7.0%	4.8%	3.2%	5.3%	7.7%	2.7%	11.5%	8.2%	10.0%	9.1%

※各項目で10%以上の都市を記載

- 吸収率・流出率 50%以上
- 吸収率・流出率 25%以上
- 吸収率・流出率 10%以上

龍ヶ崎市

○**商圈**：全体の吸収率は228%で、前回比25ポイント低下した。余暇・趣味関連商品が47ポイント低下するなど、全ての項目で低下した。他市町村からの吸収率は、利根町が76%、河内町が66%で、5市町村が10%を超えている。

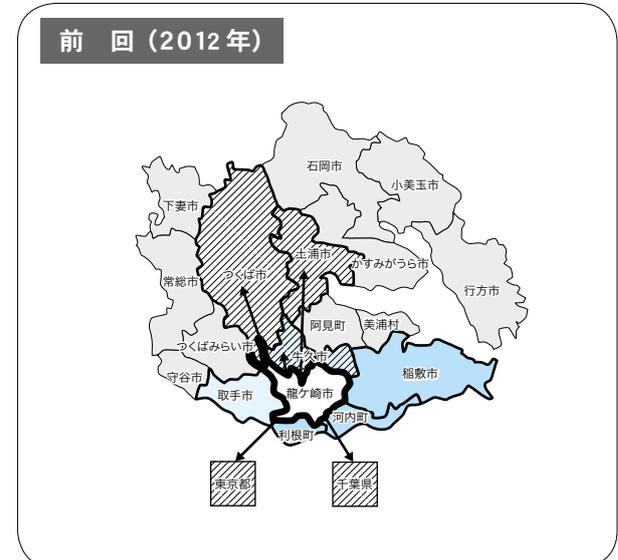
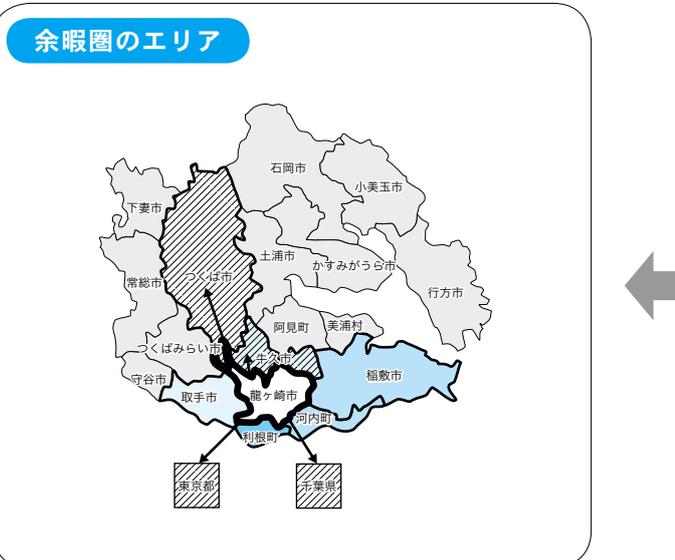
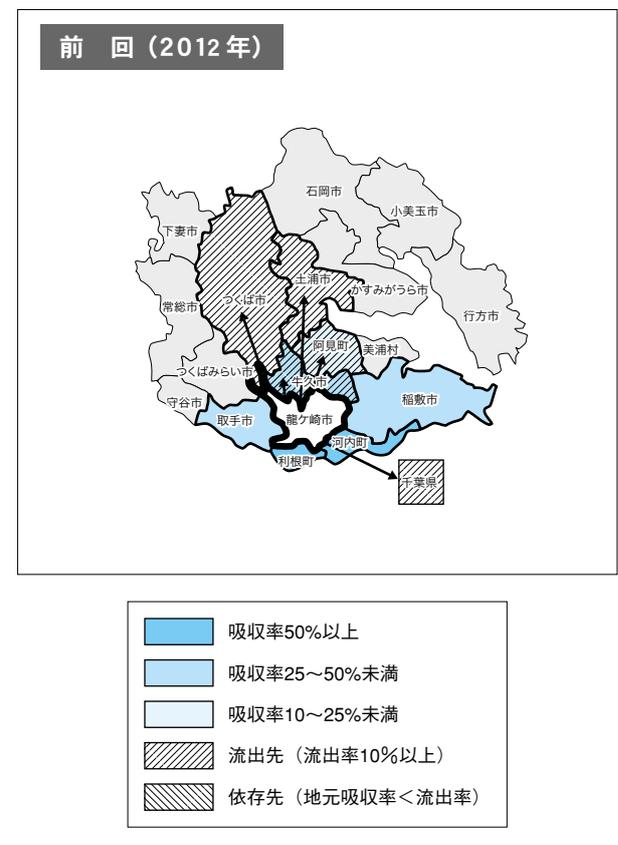
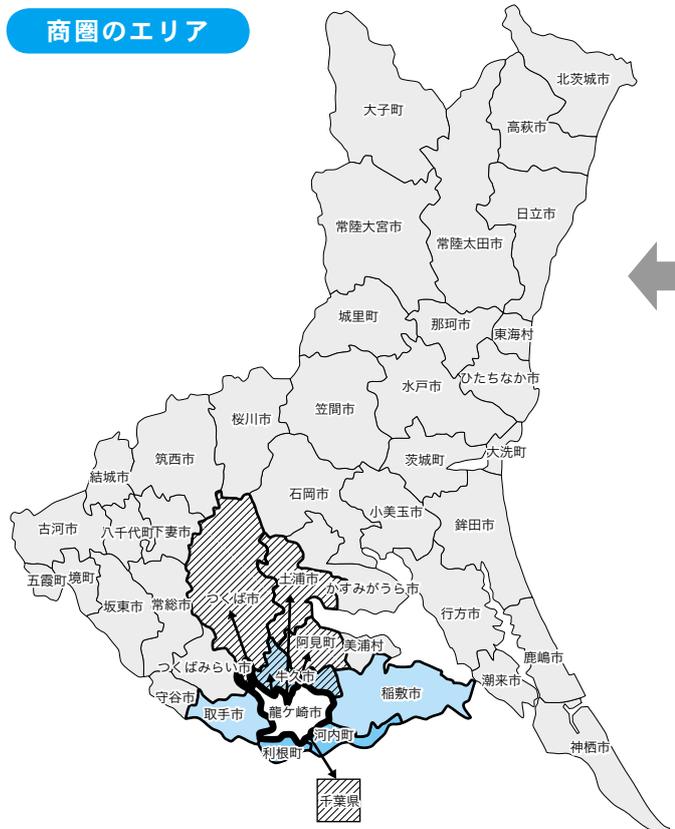
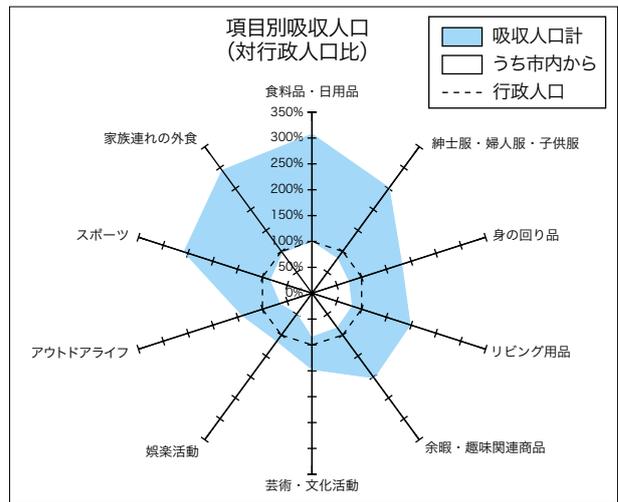
流出率は、つくば市が44%で最も高く、5市町村が10%を超えている。

○**余暇圏**：全体の吸収率は191%で、前回比11ポイント上昇した。芸術・文化活動、娯楽活動はそれぞれ20ポイント以上上昇し、スポーツを除く4項目が上昇した。他市町村からの吸収率は、利根町が55%で最も高く、5市町村が10%を超えている。

流出率は、つくば市が32%で最も高く、4市町村が10%を超えている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2～2015.7.1)**

出店：山新龍ヶ崎店 (7,867㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		カウ・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比	
食料品・日用品	28.0	2.1	83.2	1.1	57.3	-4.3	40.0	-0.5	49.5	2.9	19.3	0.6	6.8	-1.6	15.0	-0.6	11.1	6.8	25.2	-2.7
紳士服・婦人服・子供服	21.6	1.6	7.0	-0.5	79.9	1.6	45.4	-5.9	0.5	0.3	0.0	0.0	7.8	-3.2	16.0	-0.7	14.1	9.1	6.3	1.5
身の回り品	18.4	-1.5	4.4	-1.9	75.4	5.6	37.3	-6.3	0.3	0.3	0.0	0.0	4.4	-1.0	15.3	2.7	10.6	7.4	1.8	0.9
リビング用品	11.6	1.1	2.4	-0.5	34.3	-2.0	70.8	-4.4	1.4	1.2	0.0	0.0	4.1	-3.4	16.2	2.8	9.5	8.3	3.5	1.8
余暇・趣味関連商品	20.8	0.9	6.5	-4.0	59.3	1.9	61.5	-0.8	7.3	-0.4	0.0	0.0	1.8	-0.8	20.5	-1.6	15.8	10.0	4.8	0.3

龍ヶ崎市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	179,423	241,876	197,913	142,470	155,760	159,095	150,021	115,788	89,994	110,334	203,110	230,878											
	うち龍ヶ崎市内から	65,229	77,643	64,759	57,751	62,506	63,487	58,522	65,108	37,546	49,686	65,389	74,882											
	他 市 町 村 へ	1	取手市	取手市	取手市	取手市	取手市	取手市	取手市	稲敷市	取手市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市
		2	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	稲敷市	牛久市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市
		3	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	牛久市	稲敷市	牛久市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市	取手市	稲敷市
		4	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町
5		河内町	つくば市	つくば市	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町
吸 収 率	228.0%	307.4%	251.5%	181.0%	197.9%	202.2%	190.6%	147.1%	114.4%	140.2%	258.1%	293.4%												
うち龍ヶ崎市内から	12年比	-24.5	-4.7	-30.3	-34.5	-6.2	-46.6	10.6	21.1	23.2	9.1	-4.2	3.9											
他 市 町 村 から	12年比	82.9%	98.7%	82.3%	73.4%	79.4%	80.7%	74.4%	82.7%	47.7%	63.1%	83.1%	95.2%											
1	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町	利根町
2	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町
3	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市
4	取手市	取手市	牛久市	牛久市	取手市	取手市	取手市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	
5	牛久市	牛久市	取手市	取手市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	牛久市	取手市	
6	阿見町	阿見町	阿見町	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	
7	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	阿見町	阿見町	阿見町	阿見町	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	つくばみらい市	
流 出 率	1	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	牛久市	つくば市	つくば市	東京都	つくば市	つくば市	牛久市	つくば市	東京都	つくば市	つくば市	牛久市	つくば市	東京都	つくば市	つくば市	牛久市	つくば市	
	2	牛久市	牛久市	千葉県	千葉県	つくば市	牛久市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	千葉県	つくば市	
	3	千葉県	千葉県	阿見町	阿見町	千葉県	千葉県	牛久市	牛久市	千葉県	千葉県	牛久市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	4	土浦市	取手市	土浦市	牛久市	土浦市	土浦市	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	5	阿見町	土浦市	牛久市	土浦市	埼玉県	東京都	土浦市	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	6	東京都	東京都	東京都	東京都	取手市	阿見町	取手市	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県

※各項目で10%以上の都市を記載

吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

牛久市

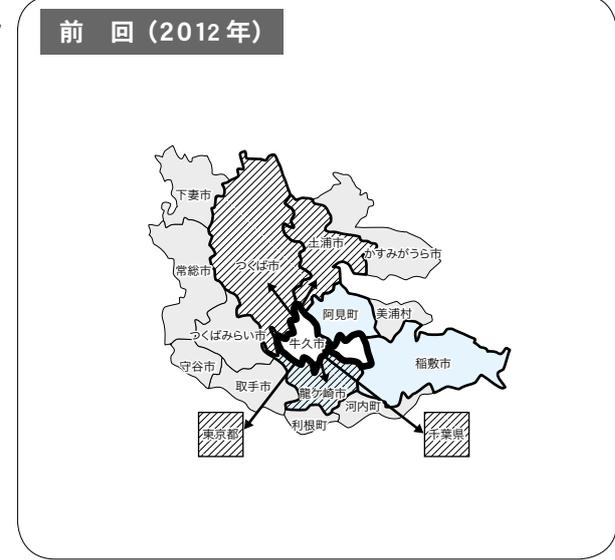
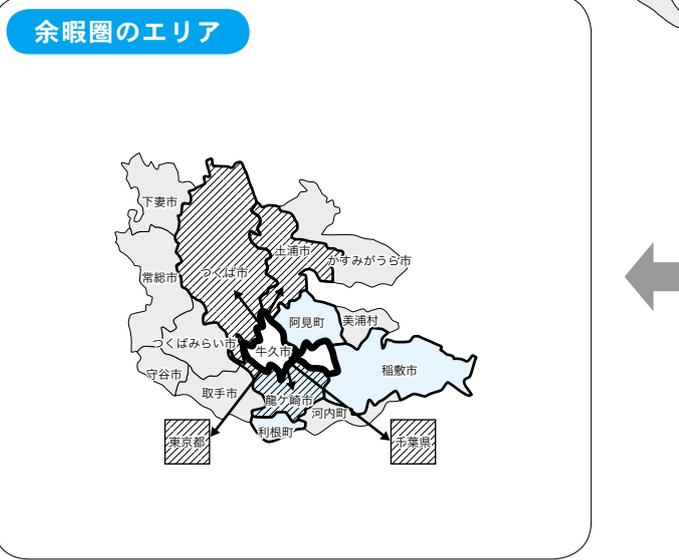
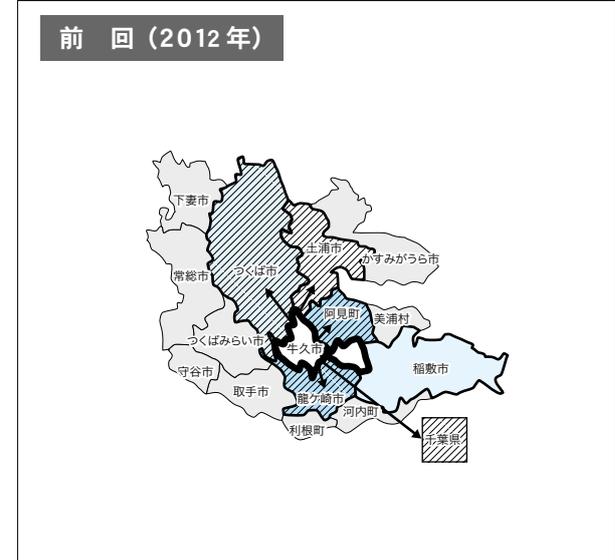
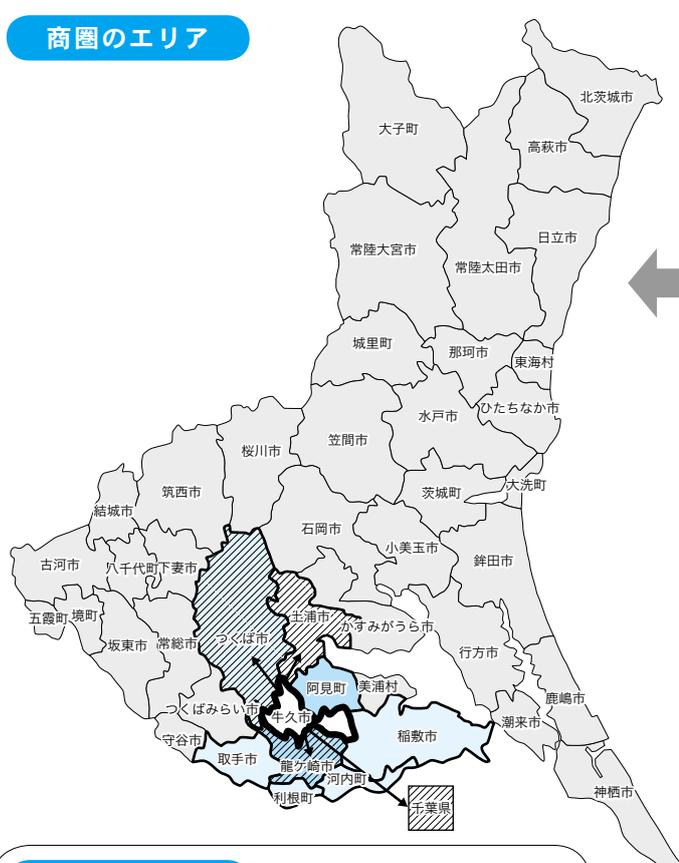
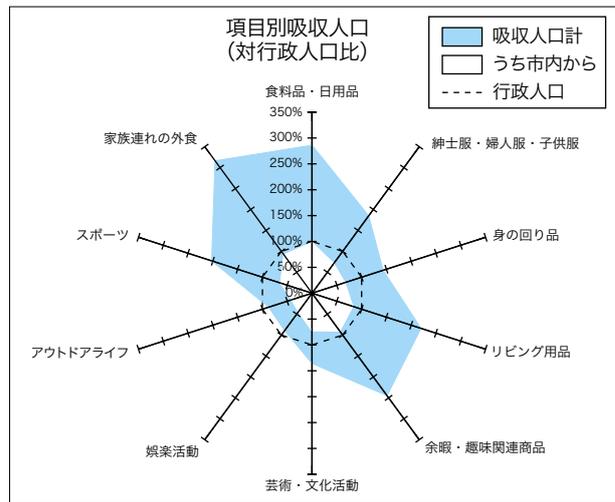
○**商圈**：全体の吸収率は216%で、前回は6ポイント上昇した。リビング用品が4ポイント低下した一方で、食料品・日用品や余暇・趣味関連商品が15ポイント以上上昇するなど、3項目で上昇した。他市町村からの吸収率は、阿見町が33%で最も高く、6市町村が10%を超えている。
流出率は、つくば市が60%と最も高く、龍ヶ崎市、土浦市と続く。

○**余暇圏**：全体の吸収率は166%で、前回は7ポイント上昇した。アウトドアライフが13ポイント低下した一方、4項目が上昇した。特に、家族連れの外食が22ポイントと上昇幅が大きい。他市町村からの吸収率は、龍ヶ崎市が21%で最も高く、4市町村が10%を超えている。
流出率は、つくば市が48%と最も高く、龍ヶ崎市、土浦市と続いている。

○主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)

出店：ヨークベニマル牛久南店 (2,830㎡)、フードスクエアカスミ牛久刈谷店 (3,214㎡)、ウエルシア牛久上柏田店 (1,217㎡)、ヨークベニマルひたち野うしく店 (2,319㎡)

退店：ヤマダ電機テックランド牛久店 (3,818㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	27.3	0.5	87.0	3.5	58.8	2.6	35.6	-7.0	48.3	0.5	30.9	4.5	6.1	-1.2	13.8	0.4	8.3	4.1	24.6	-5.8
紳士服・婦人服・子供服	20.8	-1.9	7.3	-4.4	80.9	1.8	48.1	-5.5	0.3	0.3	0.0	0.0	9.4	-2.1	21.4	4.2	12.0	5.5	6.7	-0.5
身の回り品	19.7	-3.7	4.6	-5.6	73.2	7.6	41.8	-5.0	0.3	0.0	0.0	0.0	4.3	1.1	18.2	2.9	9.2	6.2	1.8	0.7
リビング用品	12.1	-2.1	2.5	-0.3	34.4	-0.2	72.0	-2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	-0.8	19.1	3.2	8.3	5.8	4.5	2.0
余暇・趣味関連商品	21.5	-2.2	12.4	-3.3	59.0	6.6	58.7	-8.1	7.4	1.8	0.0	0.0	1.8	0.5	27.7	4.0	13.9	8.0	3.8	0.3

牛久市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食		
			12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	181,736	240,984	155,710	120,759	185,078	206,149	139,987	114,316	75,224	73,540	170,424	266,431											
	うち牛久市内から	68,758	82,609	59,803	55,715	69,345	76,319	52,862	61,332	37,354	34,764	53,544	77,314											
	他 市 町 村 か ら	1 龍ヶ崎市	23,825	34,553	16,860	13,579	26,518	33,076	16,396	14,013	10,287	5,765	18,442	43,902										
		2 つくば市	20,193	30,278	15,675	12,694	24,584	19,799	14,612	7,494	6,792	5,640	14,656	28,049										
		3 阿見町	15,902	19,948	10,919	7,197	18,384	17,335	10,248	7,308	5,585	5,336	13,967	21,060										
		4 土浦市	13,710	19,476	8,795	6,700	17,058	14,721	8,377	5,292	3,910	3,303	11,484	20,228										
5 取手市		10,627	15,221	8,397	5,874	10,823	13,433	8,206	4,298	2,315	2,723	9,290	19,130											
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	215.8%	286.1%	184.9%	143.4%	219.8%	244.8%	166.2%	135.7%	89.3%	87.3%	202.4%	316.3%											
	うち牛久市内から	81.6%	98.1%	71.0%	66.2%	82.3%	90.6%	62.8%	72.8%	44.4%	41.3%	63.6%	91.8%											
	12年比	6.4	17.3	3.1	0.1	-3.7	15.1	6.9	11.8	7.9	-13.4	6.5	21.6											
	うち牛久市内から	4.2	0.7	-7.8	-7.6	-5.5	-0.7	-3.0	-1.4	2.8	-7.9	-4.3	-4.1											
	他 市 町 村 か ら	1 阿見町	33.1%	40.5%	22.7%	17.3%	51.2%	42.0%	20.8%	9.5%	13.1%	7.2%	19.6%	55.8%										
		2 龍ヶ崎市	30.3%	38.5%	19.9%	15.0%	33.7%	36.1%	17.1%	8.9%	9.5%	6.9%	19.3%	42.1%										
		3 稲敷市	23.0%	28.6%	18.2%	13.6%	25.0%	29.7%	14.2%	6.3%	8.1%	5.0%	18.6%	39.8%										
		4 利根町	15.3%	18.2%	11.1%	11.1%	16.3%	22.9%	13.8%	6.0%	5.3%	4.7%	15.2%	35.4%										
		5 河内町	11.6%	15.5%	8.0%	5.7%	13.2%	18.9%	9.6%	5.2%	5.2%	4.3%	13.1%	19.7%										
6 取手市		10.0%	14.3%	7.9%	5.4%	13.0%	12.6%	8.2%	5.0%	3.0%	3.7%	11.5%	16.3%											
7 土浦市		9.7%	14.1%	7.6%	4.7%	9.6%	10.4%	6.6%	3.8%	2.3%	2.6%	8.3%	13.5%											
8 つくば市		9.1%	10.5%	6.2%	4.2%	7.7%	8.9%	5.9%	3.6%	2.3%	2.6%	8.1%	12.6%											
流 出 率	他 市 町 村 へ	1 つくば市	50,572	50,573	61,045	52,260	36,160	52,820	40,716	21,716	58,931	36,555	28,446	57,930										
		2 龍ヶ崎市	23,530	34,253	30,833	18,788	14,647	25,578	15,984	21,716	22,273	14,694	24,820	27,628										
		3 土浦市	22,408	26,798	27,108	18,140	14,418	19,132	14,790	9,097	16,937	13,260	14,223	24,732										
		4 千葉県	9,065	11,082	15,106	10,582	5,722	9,150	14,555	7,630	16,937	12,185	8,924	17,156										
		5 東京都	8,313	8,059	11,588	8,854	4,348	8,942	11,982	4,108	8,817	9,676	8,366	13,591										
		6 阿見町	7,542	5,843	11,381	7,990	4,120	4,575	5,925	3,815	7,656	8,960	8,087	6,016										
		7 埼玉県	3,519	4,634	5,380	2,160	1,602	2,911	5,915	2,348	5,336	8,601	6,972	4,902										

※各項目で10%以上の都市を記載 吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

つくば市

○**商圈**：全体の吸収率は378%で、前回は78ポイント上昇した。紳士服・婦人服・子供服、身の回り品など4項目で80ポイント以上上昇している。他市町村からの吸収率は、常総市の65%を筆頭に24市町村が10%を超え、全市町村の中で最も広範囲から吸収しており、前回の20市町村から増加している。

流出率は、土浦市が31%で最も高く、東京都が10%となっている。

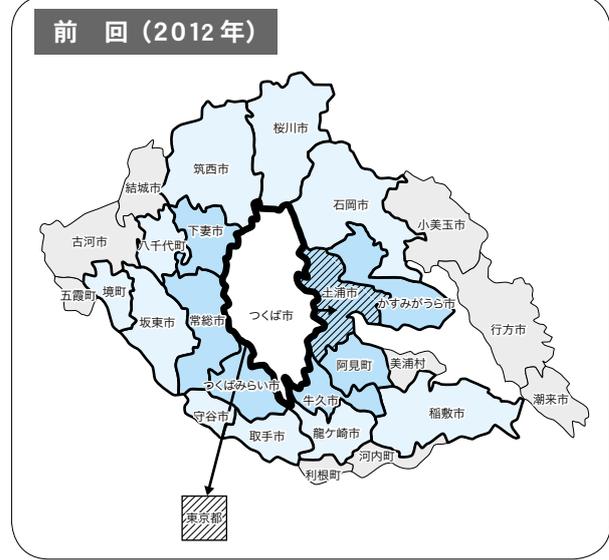
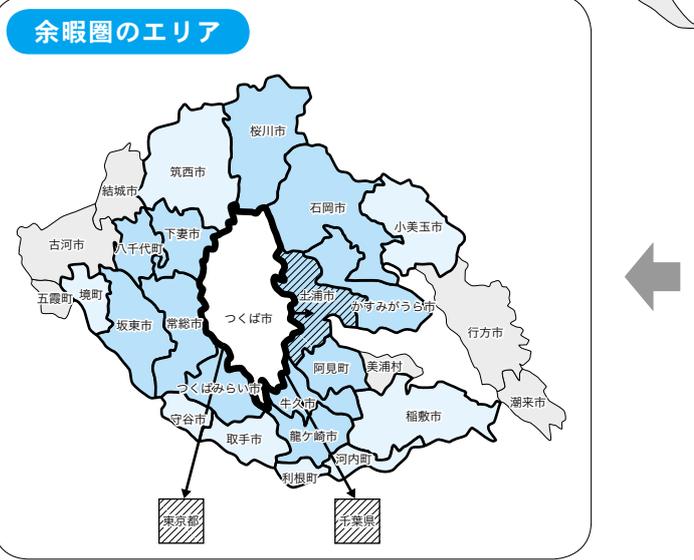
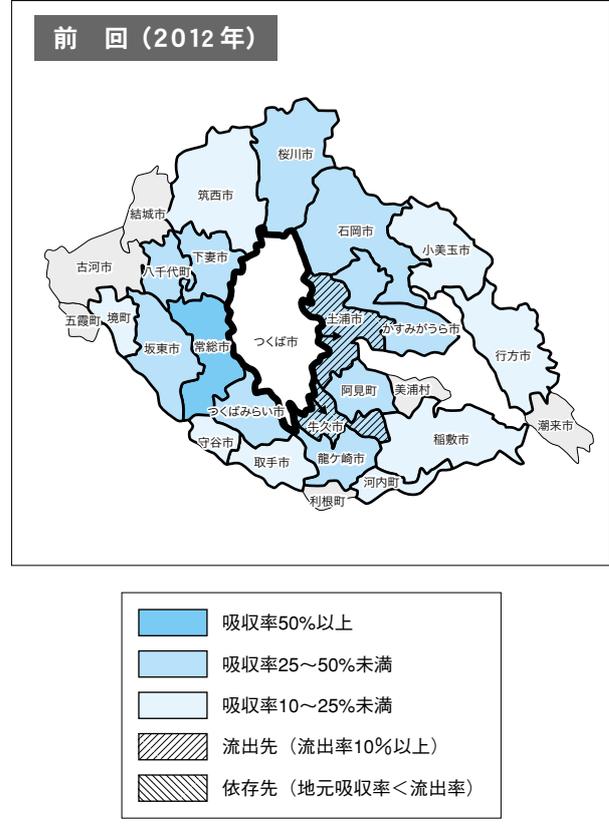
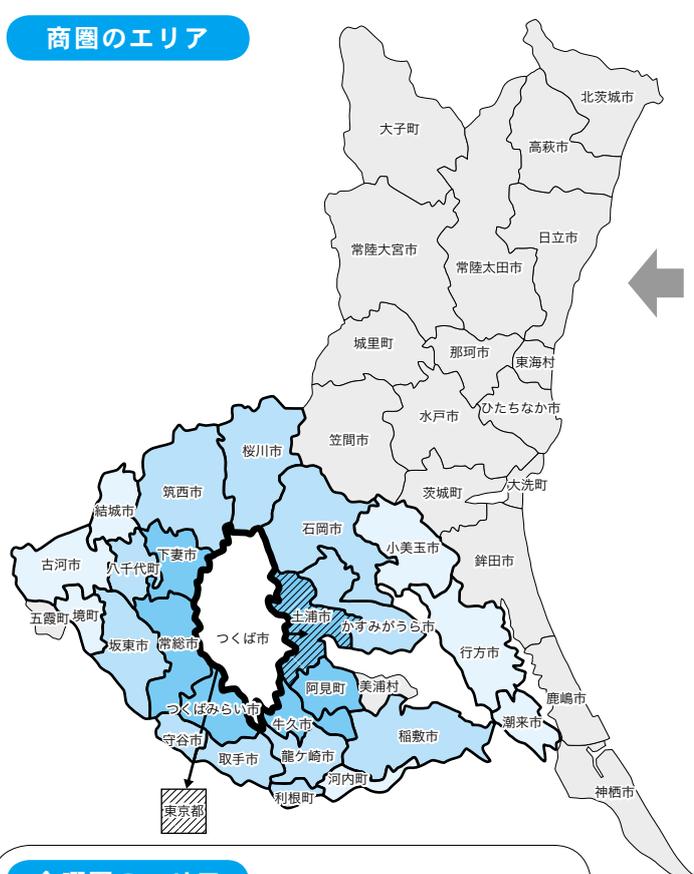
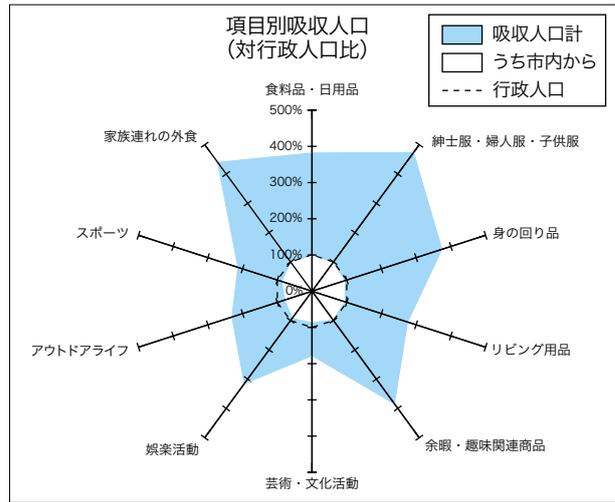
○**余暇圏**：全体の吸収率は275%で、前回は34ポイント上昇した。家族連れの外食が73ポイント、娯楽活動が56ポイント上昇するなど、全項目で上昇している。他市町村からの吸収率は、20市町村が10%を超え、前回の17市町村から増加し、牛久市など5市町村は40%超となっている。

流出率は、土浦市18%で最も高く、東京都、千葉県も10%を超えている。

○主な大型店の動向 (2012.7.2～2015.7.1)

出店：イオンモールつくば(54,000㎡)、ヤマダ電機テックランドつくば研究学園店(4,996㎡)、コストコホールセールつくば倉庫店(10,036㎡)、フードスクエアカスミ学園の森店(7,996㎡)、スーパーセンターライアルつくば学園都市店(5,167㎡)、ヨークタウンつくば竹園(5,355㎡)、MEGAドン・キホーテつくば店(3,501㎡)、C56街区複合計画(シュアーマートつくば研究学園)(2,574㎡)

退店：ケーゼンキつくば本店(2,253㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		カラ・テレビジョン		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	24.6	-0.4	86.3	1.1	63.4	6.0	41.3	-4.0	48.3	3.8	38.9	2.8	5.9	-1.8	19.0	4.5	7.4	4.1	33.3	-5.6
紳士服・婦人服・子供服	20.0	2.7	7.7	-1.2	79.8	0.5	48.4	-4.6	0.2	-0.1	0.1	0.1	7.7	-4.1	22.9	4.9	9.3	5.0	7.5	-2.0
身の回り品	19.2	0.1	4.6	-0.4	72.0	2.7	43.7	-1.1	0.3	0.0	0.0	0.0	3.9	1.0	19.0	4.7	7.5	5.2	3.4	0.2
リビング用品	11.8	1.0	3.1	0.2	37.2	0.4	73.0	-1.5	0.4	0.2	0.1	0.1	4.8	-0.6	20.5	2.6	5.2	3.3	2.9	-1.4
余暇・趣味関連商品	25.0	-1.9	11.1	-0.2	62.2	5.5	57.0	-4.1	7.6	1.5	0.2	0.2	1.1	-0.2	32.7	7.3	10.2	5.8	5.6	-0.9

つくば市の吸収・流出の状況

	商圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食		
			12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	
吸収人口計(人)	吸収人口計	841,464	850,356	1,054,679	833,750	613,237	855,298	613,625	396,347	702,463	514,211	475,042	980,060											
	うちつくば市内から	210,508	216,560	213,250	205,478	205,546	211,705	192,002	188,564	199,681	167,887	188,404	215,477											
	他市町村から	1 土浦市	82,852	81,807	92,151	79,609	70,643	90,048	61,915	40,599	68,264	51,129	49,944	99,638										
		2 牛久市	50,572	50,573	61,045	52,260	38,139	52,820	40,716	21,716	58,931	36,555	28,446	57,930										
		3 常総市	41,056	37,023	47,985	40,726	36,160	41,408	27,621	12,962	50,233	21,574	20,846	44,763										
		4 龍ヶ崎市	34,497	33,666	45,362	35,665	24,772	41,384	25,320	12,407	37,960	18,467	17,286	40,092										
5 取手市		31,771	32,653	45,125	35,300	22,875	35,233	21,959	10,114	28,243	17,457	16,456	38,579											
吸収率	吸収人口計/行政人口	377.7%	381.7%	473.4%	374.3%	275.3%	383.9%	275.4%	177.9%	315.3%	230.8%	213.2%	439.9%											
	うちつくば市内から	94.5%	97.2%	95.7%	92.2%	92.3%	95.0%	86.2%	84.6%	89.6%	75.4%	84.6%	96.7%											
	12年比	1.0	0.9	1.1	1.5	0.4	0.9	0.7	0.9	3.8	-1.4	-0.3	0.4											
	他市町村	1 常総市	65.4%	60.6%	76.5%	64.9%	60.8%	66.0%	48.3%	28.7%	70.0%	43.4%	35.5%	71.3%										
		2 阿見町	60.6%	60.0%	72.5%	64.4%	51.6%	63.7%	45.1%	25.8%	63.8%	38.9%	35.3%	70.8%										
		3 牛久市	60.0%	59.0%	71.4%	62.1%	50.0%	62.7%	44.0%	25.5%	60.5%	37.9%	34.3%	70.5%										
		4 つくばみらい市	59.7%	57.9%	68.2%	58.5%	46.9%	61.9%	43.8%	21.1%	57.9%	36.2%	33.8%	69.9%										
		5 土浦市	58.6%	57.1%	67.3%	56.3%	44.7%	61.1%	41.9%	21.0%	54.7%	34.4%	33.2%	68.8%										
		6 下妻市	52.4%	47.8%	65.2%	51.3%	42.9%	54.5%	38.3%	20.7%	48.3%	30.2%	28.7%	68.5%										
		7 かすみがうら市	47.9%	44.3%	59.8%	48.4%	37.9%	52.6%	37.3%	18.3%	48.3%	29.4%	24.0%	62.9%										
		8 坂東市	45.5%	41.9%	57.3%	48.1%	37.5%	51.1%	32.2%	14.5%	43.1%	22.2%	19.4%	52.9%										
		9 桜川市	44.6%	39.4%	57.1%	47.4%	32.1%	47.9%	28.1%	12.2%	40.1%	21.9%	18.6%	52.7%										
		10 龍ヶ崎市	43.8%	37.7%	56.5%	46.5%	30.5%	46.5%	27.6%	12.2%	34.8%	21.9%	15.8%	50.9%										
		11 八千代町	42.7%	37.1%	55.9%	46.1%	24.5%	46.4%	26.4%	11.5%	34.8%	18.1%	15.7%	50.8%										
		12 石岡市	41.4%	35.5%	54.4%	45.3%	22.2%	41.9%	25.6%	11.3%	34.6%	18.1%	15.2%	50.6%										
		13 稲敷市	36.7%	35.1%	49.3%	39.7%	20.2%	37.3%	23.7%	10.4%	31.0%	14.6%	14.6%	41.0%										
		14 守谷市	33.0%	33.9%	45.5%	33.3%	19.7%	35.0%	20.4%	10.0%	21.7%	14.4%	12.6%	40.5%										
		15 筑西市	29.9%	31.5%	43.5%	31.5%	16.8%	33.7%	17.2%	8.9%	19.7%	13.5%	10.9%	33.5%										
		16 取手市	29.8%	31.3%	39.3%	30.4%	15.8%	31.7%	17.0%	8.2%	18.2%	13.3%	9.6%	32.5%										
		17 利根町	26.3%	26.7%	35.3%	29.5%	14.7%	28.4%	16.9%	7.4%	17.6%	13.1%	9.2%	31.6%										
		18 境町	24.8%	22.7%	34.6%	27.2%	13.2%	21.3%	13.1%	7.1%	15.7%	13.1%	8.2%	26.5%										
		19 河内町	22.0%	18.8%	32.0%	23.7%	8.2%	20.7%	12.9%	6.8%	15.2%	11.5%	7.8%	26.0%										
		20 小美玉市	19.8%	17.7%	30.7%	20.7%	7.8%	18.9%	12.9%	3.2%	14.9%	7.4%	6.1%	24.9%										
		21 行方市	16.8%	17.5%	27.1%	19.3%	6.6%	14.3%	9.1%	2.8%	9.9%	6.0%	5.3%	22.9%										
22 潮来市		13.8%	17.2%	26.0%	12.9%	6.0%	14.0%	6.5%	2.7%	7.0%	5.6%	4.5%	15.7%											
23 古河市		13.6%	14.7%	19.1%	12.7%	4.3%	11.7%	5.7%	2.6%	4.4%	5.2%	4.4%	15.1%											
24 結城市		10.8%	13.3%	17.1%	9.9%	3.9%	8.9%	5.6%	2.5%	4.2%	5.1%	4.3%	13.8%											

つくば市の吸収・流出の状況

		商 圏	食 料 品・ 日 用 品	紳士服・婦人 服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味 関連商品	余 暇 圏	芸術・文化 活	娯楽活動	アウトドア ラ イ フ	ス ポー ツ	家族連れ の 外 食	
吸 取 率	他 市 町 村 か ら	25	神栖市 9.2%	潮来市 11.8%	神栖市 17.0%	鹿嶋市 8.1%	神栖市 3.0%	結城市 8.5%	笠間市 5.2%	常陸太田市 2.4%	結城市 4.1%	鹿嶋市 5.0%	東海村 4.0%	笠間市 12.8%
		26	鹿嶋市 8.7%	五霞町 10.6%	鉾田市 14.2%	神栖市 8.1%	茨城町 2.9%	城里町 8.5%	水戸市 4.8%	結城市 2.3%	北茨城市 2.8%	古河市 4.7%	城里町 4.0%	鹿嶋市 12.7%
		27	鉾田市 8.4%	鉾田市 10.6%	鹿嶋市 13.8%	鉾田市 7.7%	鉾田市 2.9%	鹿嶋市 8.4%	潮来市 4.6%	大子町 2.1%	水戸市 2.6%	日立市 4.2%	鹿嶋市 4.0%	水戸市 11.5%
		28	笠間市 8.3%	鹿嶋市 10.3%	水戸市 13.6%	水戸市 6.3%	鹿嶋市 2.8%	水戸市 6.9%	結城市 4.6%	鉾田市 2.0%	那珂市 2.5%	笠間市 4.1%	五霞町 3.6%	結城市 10.2%
		29	水戸市 7.7%	水戸市 9.6%	笠間市 13.6%	笠間市 6.0%	那珂市 2.6%	鉾田市 6.7%	那珂市 4.0%	東海村 1.8%	鉾田市 2.5%	行方市 4.1%	結城市 3.3%	高萩市 9.4%
		30	城里町 6.9%	神栖市 9.2%	茨城町 11.3%	城里町 5.7%	高萩市 2.5%	笠間市 6.2%	神栖市 3.7%	那珂市 1.7%	神栖市 2.4%	五霞町 3.7%	大子町 3.2%	神栖市 8.9%
		31	茨城町 6.0%	城里町 8.1%	東海村 11.0%	茨城町 5.6%	笠間市 2.3%	高萩市 5.4%	東海村 3.7%	北茨城市 1.5%	大洗町 2.0%	ひたちなか市 3.5%	北茨城市 3.0%	日立市 8.8%
		32	那珂市 5.7%	那珂市 6.6%	城里町 10.8%	北茨城市 5.3%	常陸太田市 2.1%	那珂市 4.8%	北茨城市 3.7%	行方市 1.5%	茨城町 2.0%	東海村 3.4%	ひたちなか市 3.0%	ひたちなか市 8.8%
		33	東海村 5.1%	茨城町 6.3%	日立市 10.0%	日立市 4.6%	水戸市 2.1%	五霞町 4.7%	ひたちなか市 3.6%	神栖市 1.5%	高萩市 1.8%	神栖市 3.3%	神栖市 2.7%	常陸太田市 8.0%
		34	日立市 5.0%	ひたちなか市 6.3%	那珂市 10.0%	高萩市 4.5%	大洗町 2.0%	大洗町 4.5%	日立市 3.4%	茨城町 1.4%	東海村 1.7%	常陸大宮市 3.3%	茨城町 2.7%	大洗町 7.9%
流 出 率	他 市 町 村 へ	1	土浦市 67,895 30.5%	土浦市 89,715 40.3%	土浦市 75,715 34.0%	土浦市 57,280 25.7%	土浦市 38,508 17.3%	土浦市 78,259 35.1%	土浦市 40,729 18.3%	東京都 59,763 26.8%	千葉県 47,883 21.5%	栃木県 27,904 12.5%	土浦市 38,770 17.4%	土浦市 74,096 33.3%
		2	東京都 22,362 10.0%	牛久市 34,553 15.5%	阿見町 34,501 15.5%	東京都 24,118 10.8%	牛久市 17,058 7.7%	東京都 24,164 10.8%	東京都 32,553 14.6%	土浦市 19,990 9.0%	土浦市 43,807 19.7%	土浦市 26,982 12.1%	牛久市 18,442 8.3%	東京都 44,263 19.9%
		3	牛久市 20,193 9.1%	下妻市 25,157 11.3%	東京都 31,535 14.2%	阿見町 19,199 8.6%	埼玉県 15,538 7.0%	牛久市 19,799 8.9%	千葉県 23,731 10.7%	牛久市 14,013 6.3%	東京都 34,129 15.3%	千葉県 26,290 11.8%	栃木県 17,394 7.8%	牛久市 28,049 12.6%
		4	下妻市 17,071 7.7%	東京都 20,004 9.0%	下妻市 20,295 9.1%	下妻市 13,804 6.2%	東京都 11,992 5.4%	下妻市 17,148 7.7%	栃木県 17,628 7.9%	水戸市 9,686 4.3%	栃木県 24,790 11.1%	ひたちなか市 23,292 10.5%	群馬県 15,718 7.1%	千葉県 25,293 11.4%
		5												

※各項目で10%以上の都市を記載

吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

稲敷市

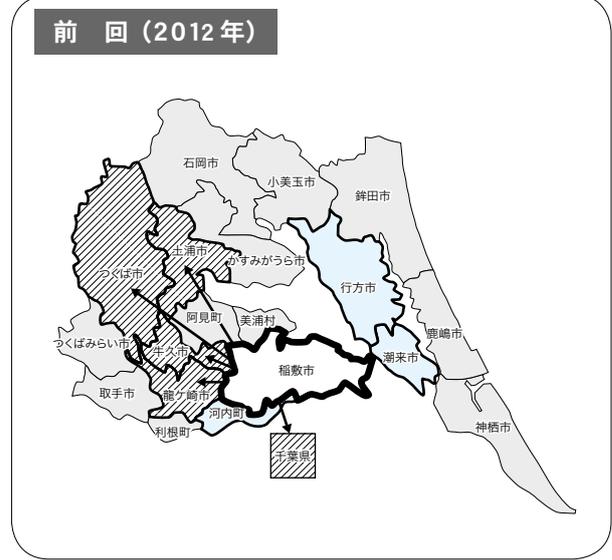
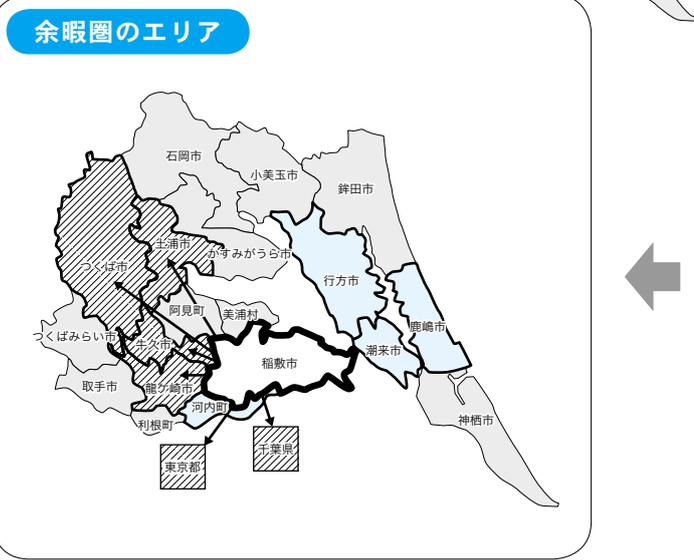
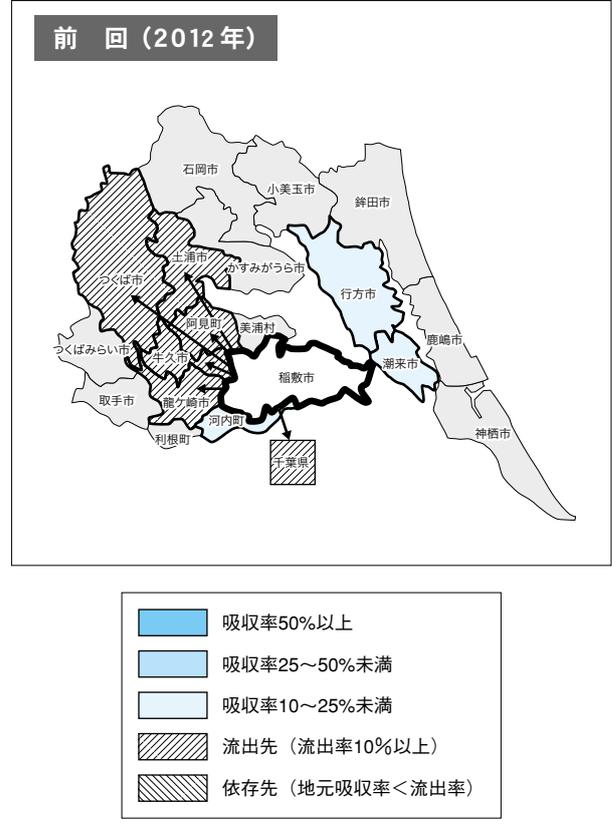
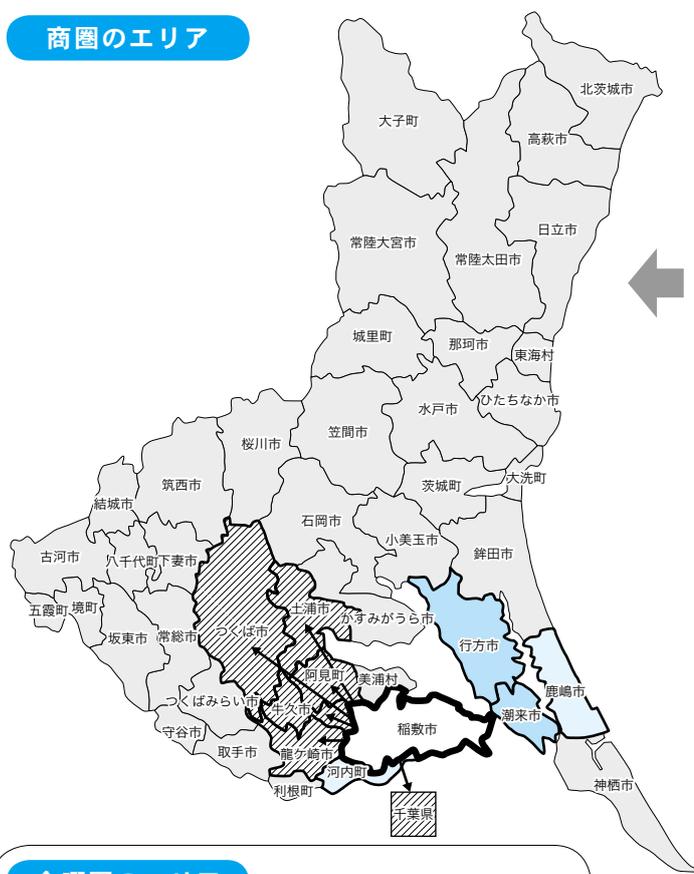
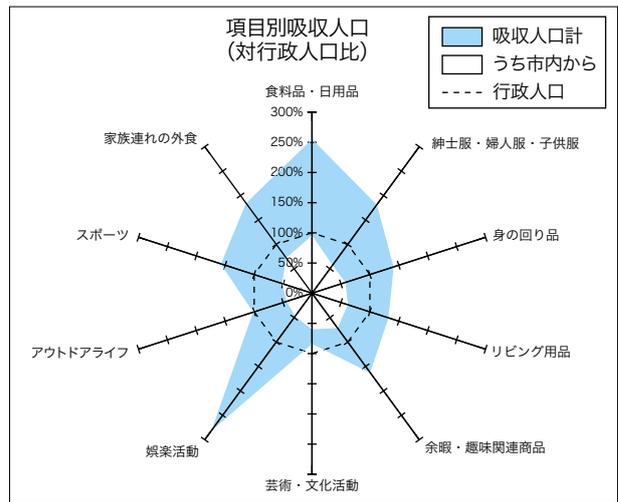
○**商圈**: 全体の吸収率は174%で、前回は48ポイント上昇した。全項目で25ポイント以上上昇し、特に紳士服・婦人服・子供服、食料品・日用品は60ポイント以上上昇している。他市町村からの吸収率は、潮来市、行方市が25%を超えている。

流出率は、龍ヶ崎市が49%で最も高く、つくば市、千葉県、土浦市も30%を超えている。

○**余暇圏**: 全体の吸収率は160%で、前回は26ポイント上昇した。芸術・文化活動を除く4項目で上昇しており、特に家族連れの外食、娯楽活動の上昇幅が大きい。他市町村からの吸収率は、潮来市が最も高く、行方市、鹿嶋市、河内町も10%を超えている。

流出率は、龍ヶ崎市と千葉県が35%超と高く、つくば市、土浦市、牛久市、東京都も10%を超えている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		カオラ・テレビヨロシク		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比		
食料品・日用品	34.5	10.7	84.7	-0.3	55.4	3.7	44.6	9.2	54.2	6.7	27.1	6.7	5.1	-5.7	16.4	7.6	11.9	3.6	26.6	-1.7
紳士服・婦人服・子供服	30.2	10.8	5.0	-5.6	81.1	3.3	51.6	-4.0	0.6	0.6	0.0	0.0	7.5	-6.9	18.2	3.8	13.8	4.1	7.5	1.9
身の回り品	28.0	10.4	2.0	-5.5	73.3	7.5	42.7	-3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	-3.7	15.3	5.8	8.7	2.2	2.0	-1.5
リビング用品	9.6	-0.9	0.7	-0.9	43.7	14.4	81.5	5.1	0.0	-1.0	0.0	0.0	3.7	-5.7	15.6	2.5	5.2	1.0	1.5	-1.1
余暇・趣味関連商品	28.7	-0.6	9.3	1.0	58.0	15.6	58.7	-6.7	8.0	2.1	0.7	0.7	1.3	-0.7	20.7	3.6	14.7	7.9	2.0	-0.4

稲敷市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品	余 暇 圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食		
		12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比		
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	75,113	109,984	78,074	60,695	56,838	69,973	69,450	35,895	120,486	43,627	67,792	79,449	
	うち稲敷市内から	29,387	40,974	24,443	24,583	26,482	30,450	23,404	25,447	20,142	18,612	21,960	30,860	
	他 市 町 村 へ	1 潮来市	10,037	11,702	11,566	9,511	9,502	9,850	9,209	2,371	32,734	3,690	7,211	8,658
		2 行方市	9,497	10,716	10,994	9,251	9,061	9,463	6,764	1,548	24,380	2,686	6,588	8,371
		3 鹿嶋市	8,147	10,684	9,954	6,555	3,983	7,371	6,131	982	17,718	2,511	5,868	7,698
		4 神栖市	7,040	10,301	9,023	5,563	3,541	5,017	5,647	937	17,253	1,815	4,510	6,517
5 河内町		1,764	4,502	2,124	1,080	935	2,075	2,346	773	3,618	1,792	4,462	2,651	
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	173.5%	254.0%	180.3%	140.2%	131.3%	161.6%	160.4%	82.9%	278.3%	100.8%	156.6%	183.5%	
	うち稲敷市内から	48.1	68.7	70.3	46.0	27.1	28.3	26.1	-5.3	48.6	9.4	15.4	62.6	
	12年比	67.9%	94.6%	56.5%	56.8%	61.2%	70.3%	54.1%	58.8%	46.5%	43.0%	50.7%	71.3%	
	12年比	2.2	3.4	9.2	1.3	0.8	-3.7	1.6	-7.0	1.2	-3.7	10.0	7.8	
	他 市 町 村 へ	1 潮来市	34.6%	49.1%	37.9%	32.7%	32.7%	32.6%	21.1%	10.7%	61.0%	11.1%	9.1%	26.5%
		2 行方市	27.1%	36.9%	25.8%	26.4%	25.9%	28.1%	16.1%	8.2%	49.3%	5.5%	6.2%	23.9%
3 河内町		19.2%	29.4%	17.3%	9.8%	10.2%	22.6%	13.8%	2.3%	49.0%	3.4%	5.7%	22.4%	
4 鹿嶋市		12.2%	17.5%	10.6%	6.3%	5.3%	11.0%	12.0%	2.2%	25.9%	3.3%	5.5%	12.9%	
5 神栖市		7.5%	11.3%	8.0%	5.9%	4.2%	5.3%	7.2%	1.3%	7.6%	3.1%	5.3%	6.9%	
流 出 率	他 市 へ	1 龍ヶ崎市	21,257	26,672	27,964	17,187	17,271	17,193	16,245	10,245	19,679	13,757	15,372	32,414
		2 つくば市	15,894	18,361	21,336	17,187	10,823	16,157	15,161	8,923	15,048	12,543	12,235	22,202
	市 町 村 へ	3 千葉県	15,590	16,042	17,814	14,794	10,823	16,157	10,268	7,932	12,270	5,665	8,784	17,761
		4 土浦市	13,495	15,848	16,779	11,965	8,751	15,743	8,680	6,279	10,650	3,641	8,470	16,207
		5 牛久市	9,956	12,563	10,564	9,137	7,139	12,843	5,956	3,305	5,325	3,641	6,588	15,319
		6 阿見町	7,641	12,369	7,871	5,874	1,382	4,557	4,435	1,983	3,010	3,641	5,333	8,437
		7 東京都	2,467	7,151	3,314	2,393	921	2,693	3,033	1,652	2,315	3,237	4,706	5,328
		8 神栖市	1,659	3,865	2,071	1,305	691	2,071	2,363	1,322	2,315	2,832	4,392	4,440

※各項目で10%以上の都市を記載

吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

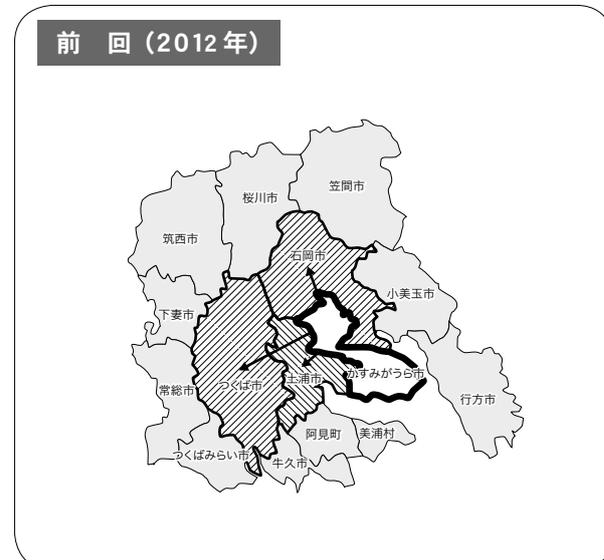
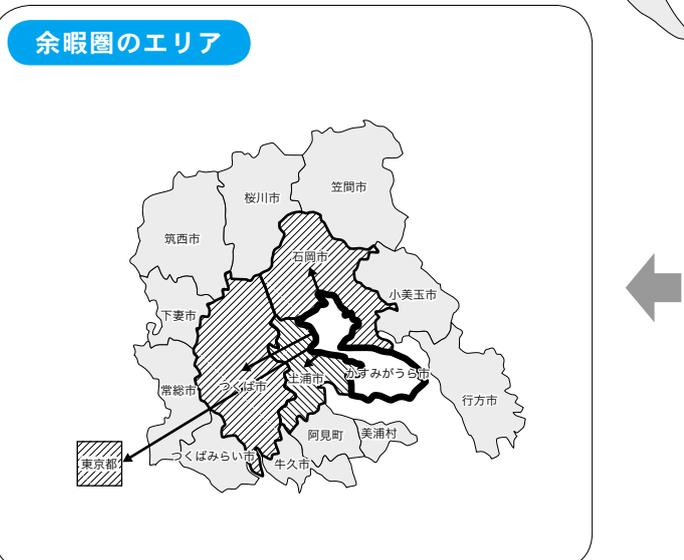
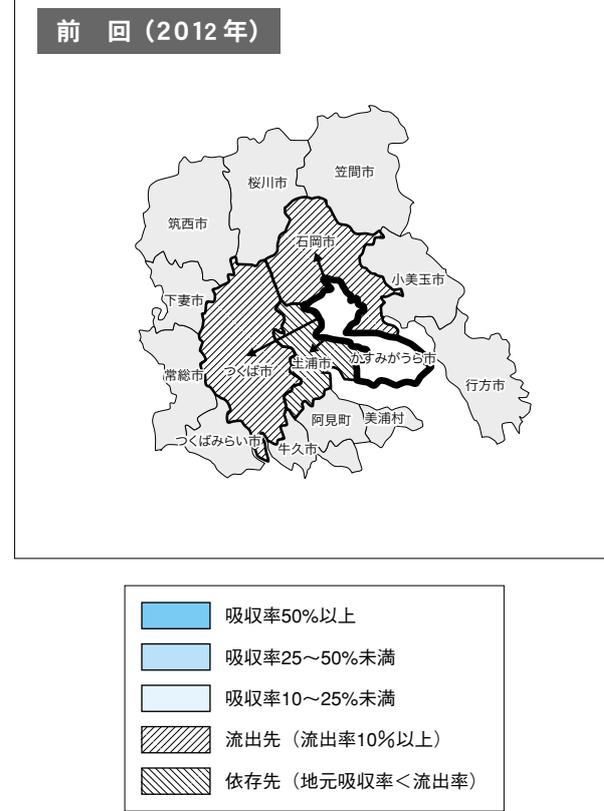
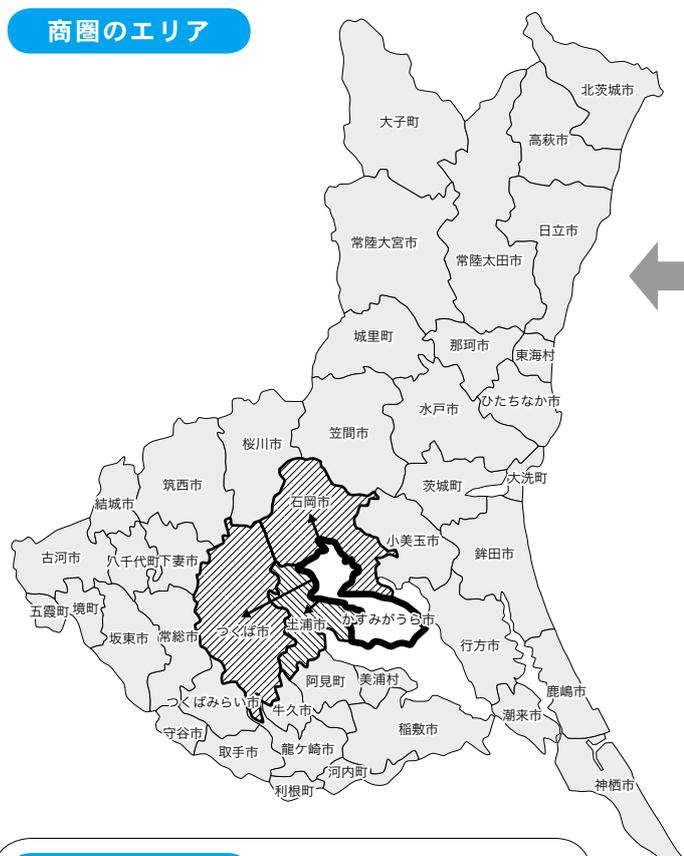
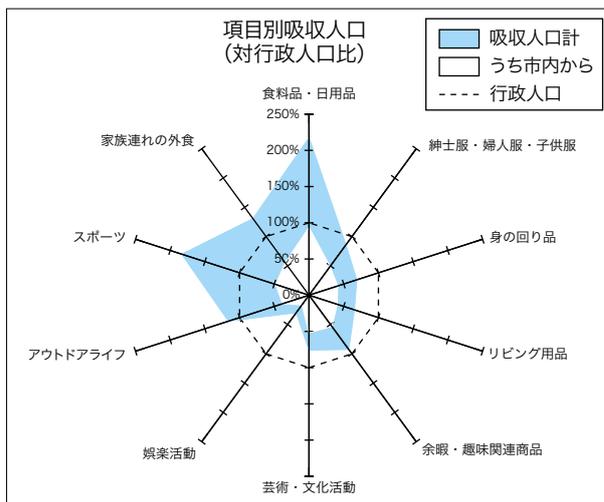
かすみがうら市

○**商圏**：全体の吸収率は106%で、前回は4ポイント上昇した。食料品・日用品は13ポイント上昇した一方、紳士服・婦人服・子供服、リビング用品は4ポイントそれぞれ低下した。他市町村からの吸収率は、食料品・日用品を除き、10%以上吸収している市町村はない。
流出率は、土浦市が86%で突出しており、全項目で最も高い。

○**余暇圏**：全体の吸収率は107%で、前回は2ポイント上昇した。家族連れの外食が28ポイント上昇した一方、スポーツは14ポイント低下した。他市町村からの吸収率は、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、商圏と同様に土浦市が高く、特に家族連れの外食が94%となっている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング				生協等の共同購入	
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比		
食料品・日用品	23.3	-2.0	82.6	2.9	56.6	-1.6	44.3	0.2	52.5	1.2	33.3	0.0	7.3	-1.5	13.7	4.1	12.8	9.0	24.2	-1.5
紳士服・婦人服・子供服	20.8	4.5	3.8	-5.4	83.0	-1.1	51.9	-0.8	0.5	0.1	0.0	0.0	11.3	-2.1	13.7	0.7	15.1	10.5	6.1	-0.2
身の回り品	20.9	4.1	2.4	-3.2	74.8	1.1	49.0	4.6	0.0	-0.9	0.0	0.0	2.9	-0.5	13.1	2.8	12.6	8.3	2.4	-0.2
リビング用品	14.5	5.6	2.6	-0.7	46.6	14.2	73.1	-6.2	0.5	-0.4	0.0	0.0	5.7	-0.9	9.3	-0.6	8.8	7.4	2.1	2.1
余暇・趣味関連商品	23.7	2.5	10.6	-2.2	64.6	2.2	64.1	0.8	7.6	-3.5	0.5	0.5	2.0	0.7	18.7	-0.3	12.1	6.8	5.6	1.6

かすみがうら市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品	余 暇 圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食	
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	44,345	90,952	35,983	28,766	27,322	38,704	44,800	31,735	12,494	48,514	76,644	54,614
	うちかすみがうら市内から	23,246	39,174	20,472	17,295	17,028	22,258	17,577	21,774	6,904	15,923	20,043	23,241
	1 土浦市	9,710	21,413	7,839	5,517	5,371	8,412	7,570	5,413	1,448	5,143	13,888	11,957
	2 石岡市	5,680	12,134	4,926	3,645	3,656	4,037	4,177	2,030	1,041	4,377	10,479	6,924
	3 小美玉市	1,956	4,468	1,392	1,638	507	1,901	3,794	1,236	548	4,151	6,512	3,219
	4 つくば市	1,142	4,268	468	476	380	736	1,664	545	515	2,867	3,689	2,594
5 行方市	920	3,637	373	193	206	624	1,568	293	509	2,511	3,248	1,337	
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	106.1%	217.6%	86.1%	68.8%	65.4%	92.6%	107.2%	75.9%	29.9%	116.1%	183.4%	130.7%
	うちかすみがうら市内から	55.6%	93.7%	49.0%	41.4%	40.7%	53.3%	42.1%	52.1%	16.5%	38.1%	48.0%	55.6%
	12年比	-1.5	0.1	-5.5	3.1	-2.2	-2.8	-2.2	-6.7	2.2	-8.3	-2.5	4.4
	1 土浦市	7.5%	16.0%	6.5%	4.8%	4.8%	6.0%	5.5%	3.8%	1.9%	5.8%	9.8%	9.1%
	2 土浦市	6.9%	15.2%	5.5%	3.9%	3.8%	5.3%	5.4%	2.7%	1.4%	5.6%	8.6%	8.5%
	3 小美玉市	3.8%	12.2%	2.7%	3.2%	0.7%	3.7%	3.3%	1.1%	1.0%	3.7%	5.1%	6.3%
流 出 率	1 土浦市	36,016	34,421	37,873	35,672	34,057	38,059	27,193	19,772	37,132	16,254	23,709	39,095
	2 つくば市	20,031	18,522	23,372	19,818	15,674	22,767	15,570	8,760	14,554	16,254	11,977	26,303
	3 石岡市	8,290	12,621	7,848	3,783	10,062	7,136	6,729	8,009	8,397	5,639	10,022	13,152
	4 水戸市	3,811	6,229	4,777	3,423	2,516	4,078	4,945	3,754	4,851	5,308	3,422	6,306
	5 東京都	3,066	4,262	4,265	3,423	1,935	2,719	3,350	2,253	4,665	3,317	2,689	5,585
	流出率	86.2%	82.4%	90.6%	85.3%	81.5%	91.1%	65.1%	47.3%	88.8%	38.9%	56.7%	93.5%

※各項目で10%以上の都市を記載

吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		カマ・テレビジョン		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比		
食料品・日用品	28.8	-1.9	82.8	5.6	61.6	8.7	33.8	-9.1	50.0	9.8	28.3	-2.4	6.6	-4.0	12.1	4.2	10.6	5.8	26.3	2.5
紳士服・婦人服・子供服	20.4	7.1	7.2	-3.2	80.1	7.3	46.4	-5.0	1.1	0.5	0.0	0.0	10.5	-3.4	17.1	2.6	15.5	9.7	2.8	-7.0
身の回り品	18.0	-0.5	7.0	-4.7	75.0	9.6	32.0	-5.0	0.6	0.6	0.0	0.0	4.1	-0.8	14.0	1.0	13.4	10.9	1.7	-3.2
リビング用品	13.4	3.1	4.5	0.6	40.1	14.3	65.6	-13.1	0.6	0.6	0.0	0.0	3.8	-0.1	12.1	3.1	8.3	5.1	3.8	2.5
余暇・趣味関連商品	28.8	0.0	13.0	-2.3	62.7	17.9	47.5	-11.4	9.0	1.6	0.0	0.0	4.5	2.7	23.7	5.3	15.8	8.4	4.5	0.8

行方市の吸収・流出の状況

	商圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余暇圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		
吸収人口計(人)	吸収人口計	36,789	77,656	26,970	20,918	23,203	35,199	36,229	27,306	10,449	39,349	56,891	47,152											
	うち行方市内から	18,666	32,374	11,776	12,060	15,856	21,264	15,786	20,602	3,623	15,215	17,281	22,210											
	他市町村から	1	鈴鹿市	鈴鹿市	小美玉市	小美玉市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市
		2	小美玉市	小美玉市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市
		3	かすみがうら市	鹿嶋市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市	かすみがうら市
		4	鹿嶋市	かすみがうら市	鹿嶋市	潮来市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市
5		潮来市	潮来市	潮来市	神栖市	潮来市	潮来市	土浦市	神栖市	小美玉市	かすみがうら市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市							
吸収人口計/行政人口	105.0%	221.7%	77.0%	59.7%	66.3%	100.5%	103.4%	78.0%	29.8%	112.4%	162.4%	134.6%												
吸収率	うち行方市内から	53.3%	92.4%	33.6%	34.4%	45.3%	60.7%	45.1%	58.8%	10.3%	43.4%	49.3%	63.4%											
	12年比	-3.0	1.6	-1.1	-6.6	-4.2	-4.9	1.7	3.8	3.9	-10.7	5.5	5.9											
	他市町村から	1	鈴鹿市	鈴鹿市	小美玉市	小美玉市	かすみがうら市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	潮来市	小美玉市	潮来市	鈴鹿市	鈴鹿市	潮来市	小美玉市	潮来市	潮来市	潮来市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市
		2	小美玉市	潮来市	鈴鹿市	鈴鹿市	鈴鹿市	小美玉市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	鈴鹿市	小美玉市	潮来市	鈴鹿市	潮来市	鈴鹿市	潮来市	鈴鹿市	小美玉市	潮来市	小美玉市	潮来市
		3	かすみがうら市	小美玉市	かすみがうら市	かすみがうら市	小美玉市	かすみがうら市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	鈴鹿市	鹿嶋市	潮来市	鹿嶋市	鹿嶋市	鈴鹿市	鹿嶋市	稲敷市	かすみがうら市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市
		4	潮来市	かすみがうら市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	鹿嶋市	石岡市	かすみがうら市	鹿嶋市	稲敷市	かすみがうら市	鹿嶋市	稲敷市	小美玉市	小美玉市	稲敷市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市
5		鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	牛久市	鹿嶋市	鹿嶋市	かすみがうら市	小美玉市	小美玉市	稲敷市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	稲敷市	小美玉市	小美玉市	稲敷市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	
流出	1	土浦市	鈴鹿市	土浦市	土浦市	稲敷市	鹿嶋市	鈴鹿市	鈴鹿市	稲敷市	神栖市	鹿嶋市	鈴鹿市	稲敷市	神栖市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	
流出率	2	鈴鹿市	潮来市	水戸市	水戸市	神栖市	土浦市	鹿嶋市	水戸市	鹿嶋市	水戸市	土浦市	鹿嶋市	水戸市	土浦市	ひたちなか市	神栖市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	
	3	水戸市	鹿嶋市	鈴鹿市	稲敷市	鈴鹿市	水戸市	神栖市	東京都	千葉県	千葉県	鈴鹿市	神栖市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	
	4	稲敷市	土浦市	神栖市	鹿嶋市	石岡市	神栖市	土浦市	鹿嶋市	水戸市	潮来市	潮来市	鹿嶋市	水戸市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	潮来市	
	5	鹿嶋市	神栖市	つくば市	鈴鹿市	水戸市	稲敷市	水戸市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	
	6	神栖市	稲敷市	鹿嶋市	つくば市	土浦市	鈴鹿市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	7	潮来市	水戸市	稲敷市	千葉県	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	潮来市	稲敷市	潮来市	稲敷市	潮来市	稲敷市	潮来市	水戸市	福島県	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市
	8	つくば市	石岡市	千葉県	神栖市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	9	石岡市	千葉県	石岡市	潮来市	つくば市	つくば市	つくば市	石岡市	稲敷市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県							
	10	千葉県	小美玉市	潮来市	石岡市	ひたちなか市	石岡市	つくば市	つくば市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	11	ひたちなか市	つくば市	ひたちなか市	ひたちなか市	潮来市	茨城町	ひたちなか市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	
	12	小美玉市	ひたちなか市	阿見町	東京都	龍ヶ崎	ひたちなか市	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	栃木県	
	13	茨城町	かすみがうら市	小美玉市	阿見町	笠間市	東京都	東京都	東京都	埼玉県	神栖市	石岡市	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	

※各項目で10%以上の都市を記載

	吸収率・流出率	50%以上
	吸収率・流出率	25%以上
	吸収率・流出率	10%以上

鉾田市

○**商圈**：全体の吸収率は116%で、前回比同水準となった。食料品・日用品が22ポイント上昇した一方、その他4項目で低下した。他市町村からの吸収率は、行方市が32%で最も高い。

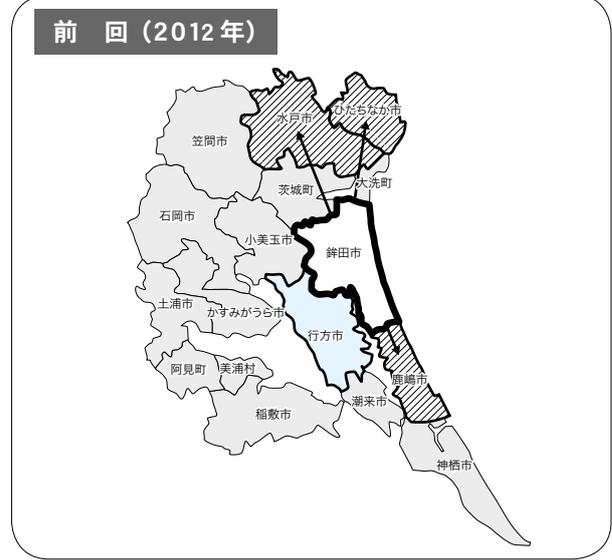
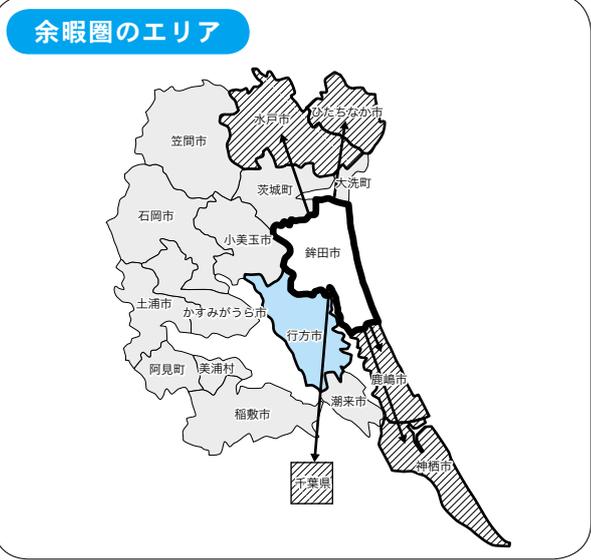
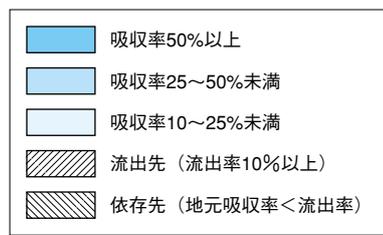
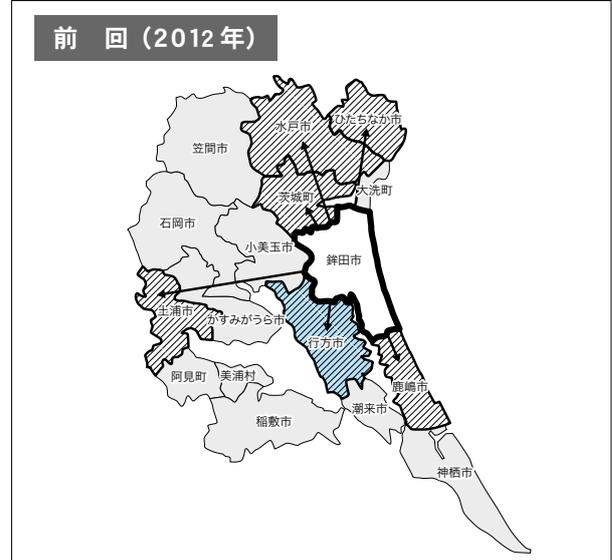
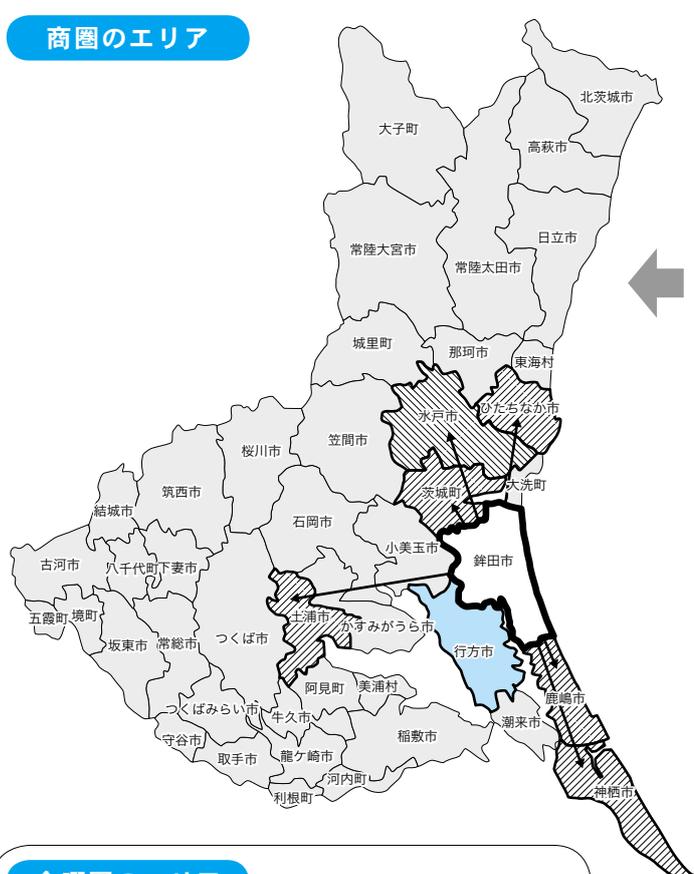
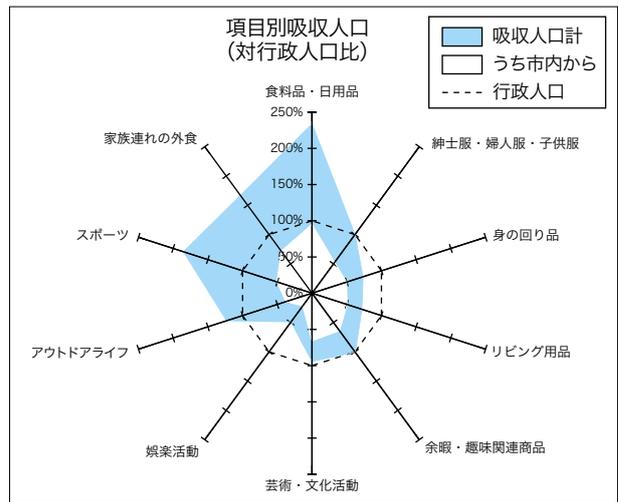
流出率は、水戸市が67%と最も高く、ひたちなか市が28%で続いている。6市町村が10%を超えている。

○**余暇圏**：全体の吸収率は124%で、前回比14ポイント上昇した。家族連れの外食が32ポイント上昇するなど3項目で上昇した一方、芸術・文化活動など2項目で低下した。他市町村からの吸収率は、行方市が26%で最も高い。

流出率は、水戸市が48%で最も高く、ひたちなか市が24%で続いている。5市町村が10%を超えている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2～2015.7.1)**

出店：カワチ薬品鉾田店 (1,550㎡)、ビッグハウス鉾田店 (3,351㎡)、フーズマーケットハビネ鉾田店 (1,422㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		ほか・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
	12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比		
食料品・日用品	28.2	2.2	84.3	8.5	46.8	-1.5	32.9	-5.8	48.6	5.8	24.5	-0.8	3.2	-5.0	6.9	0.2	9.3	5.2	20.4	1.4
紳士服・婦人服・子供服	25.2	0.9	5.0	-0.8	78.7	3.8	45.0	-8.1	0.5	0.1	0.0	0.0	4.0	-6.7	10.4	-3.2	16.3	9.7	5.0	0.9
身の回り品	25.7	1.1	3.8	1.2	68.9	2.1	36.6	-0.9	0.5	0.1	0.0	0.0	2.7	-0.7	9.3	-2.3	13.7	9.4	3.3	1.1
リビング用品	13.1	-3.0	2.3	0.9	40.0	6.5	63.4	-10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	1.0	12.0	4.2	10.3	6.6	1.1	0.2
余暇・趣味関連商品	36.2	-0.9	8.0	0.6	55.9	7.4	61.7	4.5	6.4	0.3	0.5	0.5	2.1	1.2	17.0	4.8	12.8	5.8	1.6	-1.0

銚田市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食			
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比			
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	54,961	110,820	47,414	34,799	33,999	47,771	58,589	44,649	23,138	58,263	87,782	79,110												
	うち銚田市内から	29,605	45,099	24,958	23,627	24,011	30,331	23,459	31,209	10,251	17,833	23,988	34,015												
	1	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	水戸市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	
	2	小美玉市	鹿嶋市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	水戸市	茨城町	小美玉市	行方市	水戸市	小美玉市	茨城町	小美玉市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	小美玉市	小美玉市	
	3	鹿嶋市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	鹿嶋市	土浦市	鹿嶋市	土浦市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	115.9%	233.6%	100.0%	73.4%	71.7%	100.7%	123.5%	94.1%	48.8%	122.8%	185.1%	166.8%												
	うち銚田市内から	62.4%	95.1%	52.6%	49.8%	50.6%	63.9%	49.5%	65.8%	21.6%	37.6%	50.6%	71.7%												
	1	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	水戸市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	
	2	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	茨城町	小美玉市	小美玉市	水戸市	小美玉市	茨城町	小美玉市	小美玉市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	小美玉市	小美玉市	
	3	鹿嶋市	小美玉市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	小美玉市	小美玉市	小美玉市	鹿嶋市	土浦市	鹿嶋市	土浦市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	
流 出 率	1	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	
	2	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	東京都	ひたちなか市	水戸市	鹿嶋市	ひたちなか市	東京都	ひたちなか市	水戸市	鹿嶋市	水戸市	鹿嶋市	水戸市	鹿嶋市	ひたちなか市	ひたちなか市	
	3	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	茨城町	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	千葉県	大洗町	大洗町	神栖市	神栖市	大洗町	神栖市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	鹿嶋市	
	4	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	神栖市	鹿嶋市	神栖市	鹿嶋市	ひたちなか市	栃木県	栃木県	ひたちなか市	土浦市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町
	5	土浦市	行方市	土浦市	土浦市	茨城町	土浦市	千葉県	神栖市	鹿嶋市	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県
	6	神栖市	土浦市	つくば市	大洗町	石岡市	神栖市	土浦市	土浦市	行方市	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
	7	行方市	小美玉市	神栖市	つくば市	土浦市	行方市	茨城町	小美玉市	土浦市	鹿嶋市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町
	8	つくば市	石岡市	石岡市	神栖市	行方市	石岡市	行方市	行方市	茨城町	福島県	神栖市	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県
	9	石岡市	つくば市	大洗町	行方市	つくば市	つくば市	栃木県	土浦市	土浦市	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県
	10	大洗町	大洗町	行方市	阿見町	東京都	東京都	東京都	東京都	つくば市	群馬県	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市
	11	千葉県	神栖市	千葉県	東京都	千葉県	千葉県	大洗町	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県	福島県

※各項目で10%以上の都市を記載

■ 吸収率・流出率 50%以上

■ 吸収率・流出率 25%以上

■ 吸収率・流出率 10%以上

つくばみらい市

○**商圈**：全体の吸収率は113%で、前回は3ポイント上昇した。食料品・日用品が22ポイント上昇した一方、紳士服・婦人服・子供服が12ポイント低下した。他市町村からの吸収率は、常総市と守谷市が10%を超えている。

流出率は、守谷市が全項目で最も高く、つくば市が続いている。

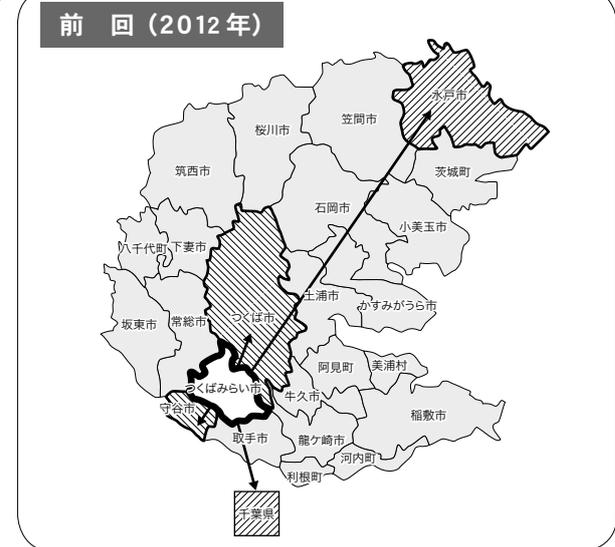
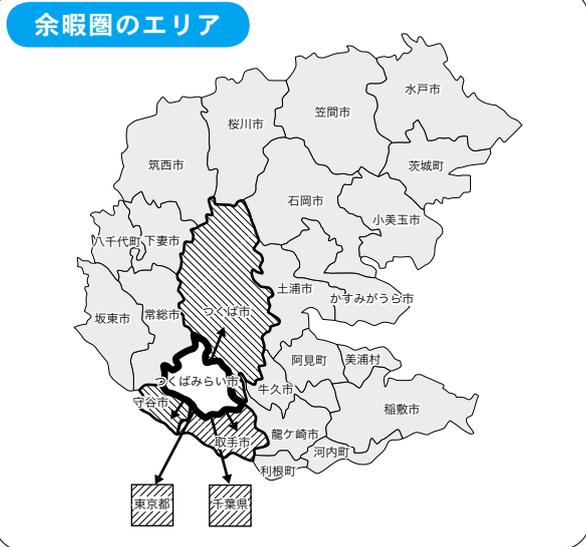
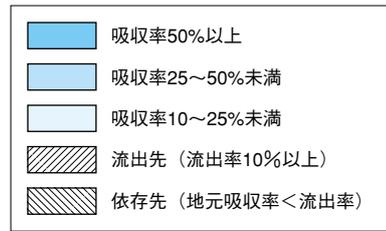
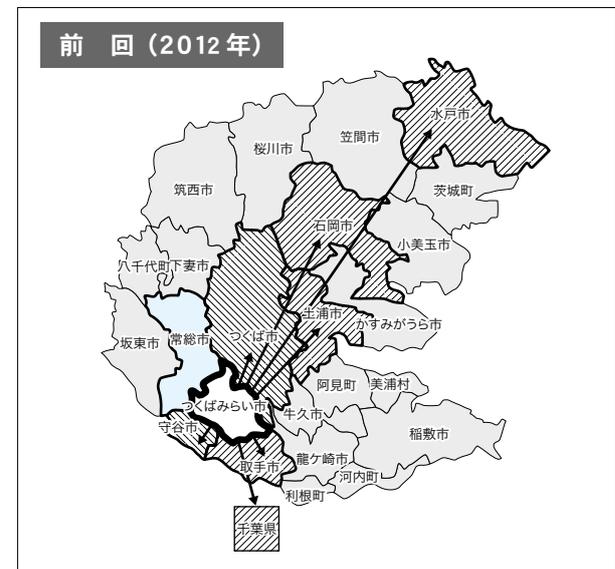
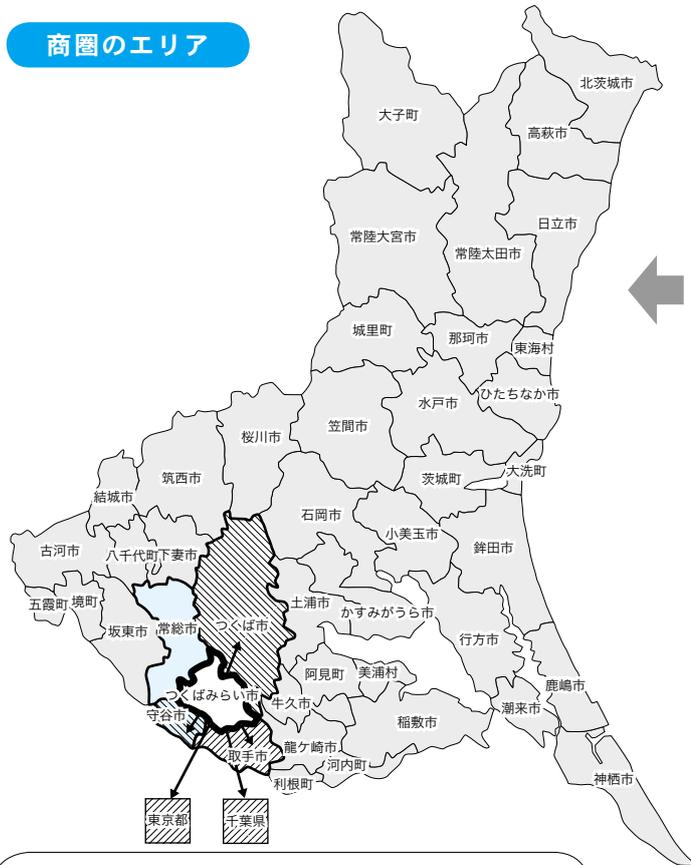
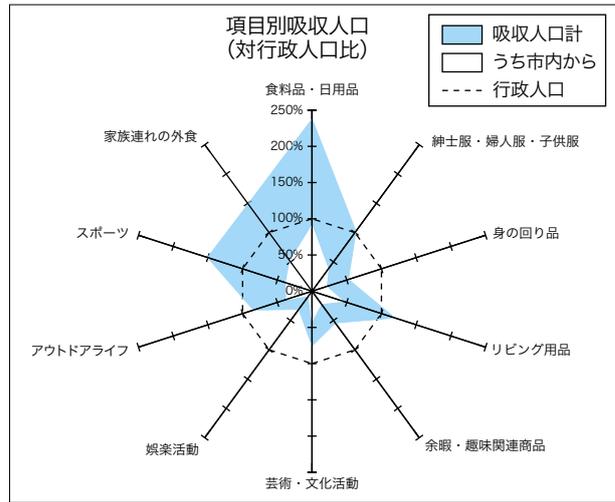
○**余暇圏**：全体の吸収率は98%で、前回は6ポイント上昇した。家族連れの外出が24ポイント、芸術・文化活動が11ポイント上昇した一方、スポーツが17ポイント低下した。他市町村からの吸収率は、スポーツ、家族連れの外出を除き、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、守谷市が51%で最も高く、つくば市が45%で続いている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**

出店：つくばみらいショッピングセンター (6,965㎡)

退店：ヤマダ電機テックランドつくばみらい店 (6,288㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	26.2	5.5	81.3	-0.1	50.2	4.8	37.8	-6.1	44.4	4.4	31.1	11.1	6.2	-3.4	11.6	2.3	8.4	6.6	27.6	2.2
紳士服・婦人服・子供服	18.7	0.3	3.9	-7.0	77.3	5.8	50.2	-4.1	0.0	-0.4	0.0	0.0	5.9	-7.4	16.3	1.1	17.2	12.9	7.4	1.5
身の回り品	18.5	-5.0	3.1	-4.7	68.7	1.7	43.6	-2.5	0.0	-0.9	0.0	0.0	2.6	-0.9	14.4	3.1	15.4	12.4	2.6	0.4
リビング用品	12.0	-0.3	1.0	-2.1	33.3	4.2	70.8	-8.5	0.0	-0.4	0.5	0.5	3.6	-4.8	16.7	2.2	8.3	7.0	1.6	0.7
余暇・趣味関連商品	18.6	-0.4	9.3	-2.9	58.8	4.4	57.8	-5.1	7.4	0.2	0.0	0.0	1.0	-3.2	26.5	6.2	16.7	12.5	1.5	-1.5

つくばみらい市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品	紳士服・婦人服・子供服	身の回り品	リビング用品	余暇・趣味関連商品	余 暇 圏	芸術・文化活動	娯楽活動	アウトドアライフ	スポーツ	家族連れの外食	
		12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	12年比	
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	55,094	115,789	49,805	25,499	58,029	26,348	47,723	36,713	15,009	41,085	73,288	72,520
	うちつくばみらい市内から	20,877	44,126	18,278	9,914	21,806	10,261	16,924	20,088	3,644	17,862	18,137	24,890
	1 常総市	10,193	19,131	8,631	3,039	16,414	3,751	5,118	3,638	1,467	5,339	12,386	11,845
	2 守谷市	7,122	15,657	5,022	2,494	10,621	1,818	4,708	3,234	1,448	5,323	つくば市	守谷市
	3 取手市	3,713	9,547	3,918	1,933	3,285	1,472	4,655	2,267	1,189	3,229	龍ヶ崎市	坂東市
	4 つくば市	2,644	8,775	2,158	1,779	2,468	1,387	3,866	2,036	1,038	3,139	守谷市	つくば市
5 坂東市	2,189	3,429	1,986	1,271	1,013	1,036	2,255	1,405	1,029	1,880	牛久市	取手市	
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	113.0%	237.6%	102.2%	52.3%	119.1%	54.1%	97.9%	75.3%	30.8%	84.3%	150.4%	148.8%
	うちつくばみらい市内から	42.8%	90.5%	37.5%	20.3%	44.7%	21.1%	34.7%	41.2%	7.5%	36.6%	37.2%	51.1%
	12年比	9.5	18.1	3.0	6.4	12.8	7.2	6.0	5.5	2.5	4.0	-2.2	20.0
	1 常総市	16.2%	30.5%	13.8%	4.8%	26.2%	6.0%	8.2%	5.8%	4.5%	8.5%	11.6%	18.9%
	2 守谷市	11.0%	24.3%	7.8%	3.9%	16.5%	4.8%	7.3%	3.6%	2.3%	8.3%	7.7%	15.1%
	3 取手市												
流 出 率	1 守谷市	36,902	38,772	37,343	36,763	28,219	43,414	24,920	20,383	39,176	18,467	17,286	40,860
		75.7%	79.5%	76.6%	75.4%	57.9%	89.1%	51.1%	41.8%	80.4%	37.9%	35.5%	83.8%
	2 つくば市	29,100	29,541	34,788	28,502	22,875	29,798	21,959	12,407	28,243	10,293	13,886	33,393
		59.7%	60.6%	71.4%	58.5%	46.9%	61.1%	45.1%	25.5%	57.9%	21.1%	28.5%	68.5%
	3 千葉県	7,382	12,739	12,382	7,229	5,558	7,104	8,193	10,635	14,349	9,082	9,352	9,748
		15.1%	26.1%	25.4%	14.8%	11.4%	14.6%	16.8%	21.8%	29.4%	18.6%	19.2%	20.0%
	4 取手市	6,688	7,939	8,451	5,576	3,420	5,920	6,669	3,545	7,061	6,660	5,384	9,748
	13.7%	16.3%	17.3%	11.4%	7.0%	12.1%	13.7%	7.3%	14.5%	13.7%	11.0%	20.0%	
5 東京都	5,397	7,201	5,700	3,718	3,207	4,736	4,891	3,249	2,961	5,752	5,384	8,297	
	11.1%	14.8%	11.7%	7.6%	6.6%	9.7%	10.0%	6.7%	6.1%	11.8%	11.0%	17.0%	
6 龍ヶ崎市	3,613	6,277	5,503	2,685	2,993	3,552	3,046	2,363	2,733	4,541	4,818	5,600	
	7.4%	12.9%	11.3%	5.5%	6.1%	7.3%	6.2%	4.8%	5.6%	9.3%	9.9%	11.5%	
7 土浦市	3,391	5,539	4,520	2,685	2,779	3,355	3,010	2,068	2,733	3,633	4,534	4,148	
	7.0%	11.4%	9.3%	5.5%	5.7%	6.9%	6.2%	4.2%	5.6%	7.5%	9.3%	8.5%	

※各項目で10%以上の都市を記載

	吸収率・流出率 50%以上
	吸収率・流出率 25%以上
	吸収率・流出率 10%以上

小美玉市

○**商圈**：全体の吸収率は78%で、前回は7ポイント低下した。全ての項目で低下し、身の回り品は10ポイント以上低下した。他市町村からの吸収率は、食料品・日用品を除き、10%以上吸収している市町村はない。

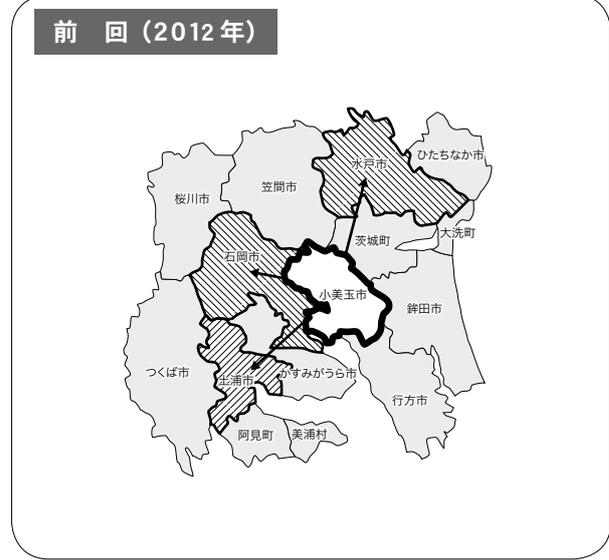
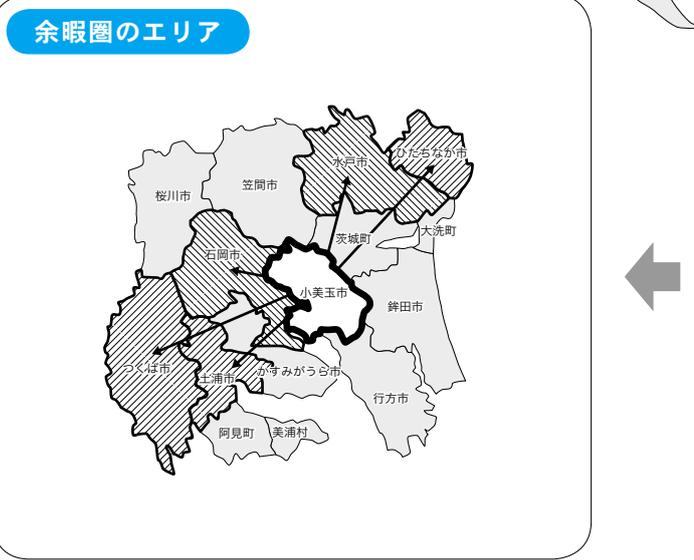
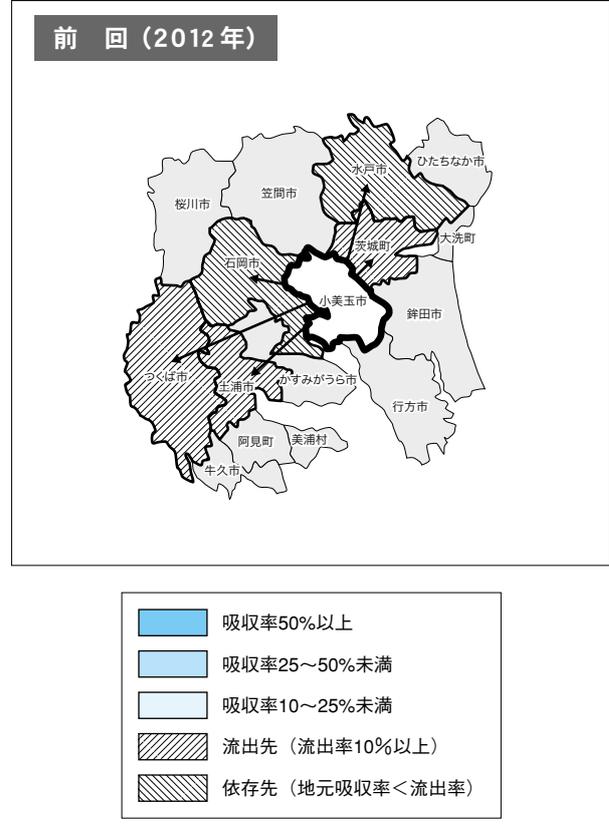
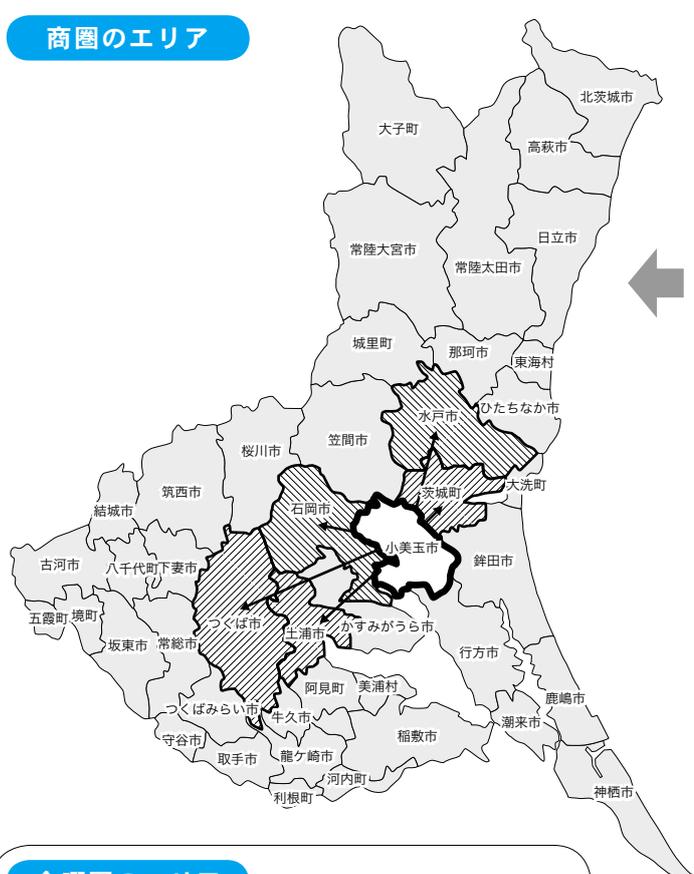
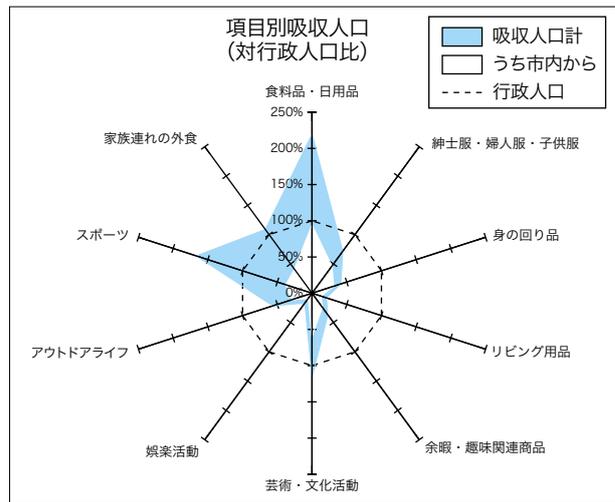
流出率は、石岡市が75%で最も高く、水戸市が53%で続いている。

○**余暇圏**：全体の吸収率は93%で、前回は10ポイント低下した。家族連れの外食が21ポイント上昇した一方、芸術・文化活動は31ポイント、スポーツは26ポイントそれぞれ低下している。他市町村からの吸収率は、スポーツを除き、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、石岡市が51%で最も高く、水戸市が40%で続いている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**

出店：小美玉ショッピングセンター (7,634㎡)



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		かがや・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	32.8	5.0	86.8	5.5	54.4	5.3	37.2	-8.6	49.2	9.3	33.6	4.3	4.4	-1.8	12.0	2.1	6.4	2.0	21.6	-7.0
紳士服・婦人服・子供服	20.5	-2.1	8.5	2.2	79.1	2.9	48.7	-2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	-1.5	18.4	6.3	11.1	8.2	3.4	-4.1
身の回り品	25.2	-3.6	4.0	-3.7	71.7	11.8	38.5	-8.8	0.0	-0.5	0.0	0.0	2.7	-1.4	13.7	3.8	6.2	3.0	2.2	-1.0
リビング用品	16.4	2.5	1.8	-0.1	36.1	4.8	71.2	-3.3	0.5	0.0	0.0	0.0	5.5	-1.2	13.7	1.2	7.3	3.0	1.4	-1.5
余暇・趣味関連商品	28.1	5.4	9.8	-2.3	58.5	8.7	58.0	1.7	8.5	1.2	0.4	0.4	2.2	1.0	24.1	5.9	12.9	8.4	1.8	-3.5

小美玉市の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食			
			12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	39,825	111,987	36,553	21,154	10,598	18,832	47,378	59,044	8,599	28,746	85,032	55,470												
	うち小美玉市内から	21,352	48,159	23,659	16,020	6,657	12,268	18,046	30,529	4,565	14,973	19,239	20,925												
	他 市 町 村 へ	1	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	
		2	行方市	笠間市	行方市	行方市	行方市	かすみがうら市	鉾田市	水戸市	水戸市	つくば市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	
		3	笠間市	行方市	鉾田市	茨城町	土浦市	行方市	行方市	笠間市	茨城町	石岡市	つくば市	土浦市	笠間市	茨城町	石岡市	つくば市	土浦市	土浦市	笠間市	笠間市	笠間市	笠間市	
		4	鉾田市	茨城町	笠間市	鉾田市	水戸市	かすみがうら市	土浦市	土浦市	笠間市	茨城町	水戸市	水戸市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町
5		茨城町	鉾田市	かすみがうら市	土浦市	鉾田市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	78.1%	219.7%	71.7%	41.5%	20.8%	36.9%	92.9%	115.8%	16.9%	56.4%	166.8%	108.8%												
	うち小美玉市内から	41.9%	94.5%	46.4%	31.4%	13.1%	24.1%	35.4%	59.9%	9.0%	29.4%	37.7%	41.1%												
	他 市 町 村 へ	1	石岡市	石岡市	行方市	石岡市	石岡市	行方市	石岡市	茨城町	大子町	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	
		2	行方市	行方市	石岡市	行方市	行方市	かすみがうら市	鉾田市	茨城町	石岡市	行方市	大子町	城里町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	
		3	茨城町	茨城町	鉾田市	茨城町	行方市	行方市	行方市	笠間市	茨城町	東海村	鉾田市	笠間市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	
		4	鉾田市	鉾田市	茨城町	鉾田市	茨城町	石岡市	行方市	鉾田市	笠間市	境町	常陸大宮市	笠間市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	行方市	
5																									
流 出 率	他 市	1	石岡市	石岡市	石岡市	水戸市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	水戸市	石岡市	石岡市	石岡市	水戸市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	石岡市	
		2	水戸市	水戸市	水戸市	石岡市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	水戸市	
	市 町 村 へ	3	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	東京都	土浦市	東京都	土浦市	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	
		4	つくば市	茨城町	つくば市	つくば市	つくば市	茨城町	ひたちなか市	土浦市	つくば市	笠間市	千葉県	つくば市	笠間市	土浦市	つくば市	笠間市	土浦市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	
		5	茨城町	つくば市	茨城町	茨城町	ひたちなか市	つくば市	つくば市	つくば市	笠間市	千葉県	つくば市	笠間市	千葉県	つくば市	笠間市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	
		6	ひたちなか市	行方市	ひたちなか市	行方市	行方市	ひたちなか市	笠間市	ひたちなか市	茨城町	栃木県	栃木県	つくば市	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町
		7	行方市	鉾田市	行方市	ひたちなか市	埼玉県	行方市	栃木県	つくば市	ひたちなか市	行方市	栃木県	つくば市	ひたちなか市	行方市	栃木県	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町	茨城町
		8	鉾田市	ひたちなか市	鉾田市	阿見町	茨城町	笠間市	東京都	鉾田市	東京都	鉾田市	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
		9	笠間市	笠間市	阿見町	千葉県	東京都	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県
		10	東京都	かすみがうら市	東京都	笠間市	千葉県	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都

※各項目で10%以上の都市を記載

吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

阿見町

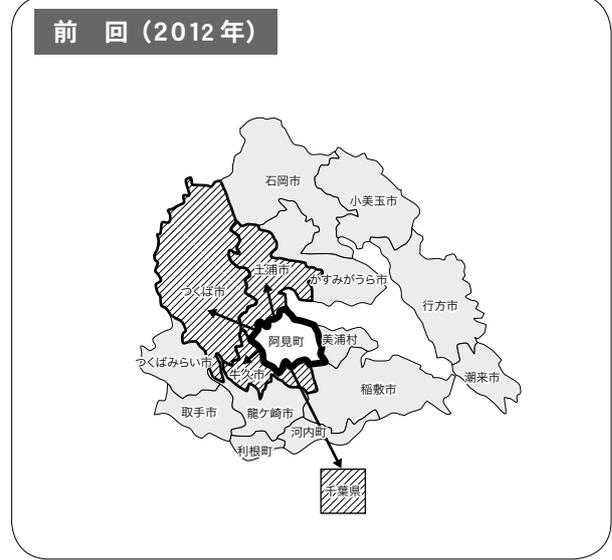
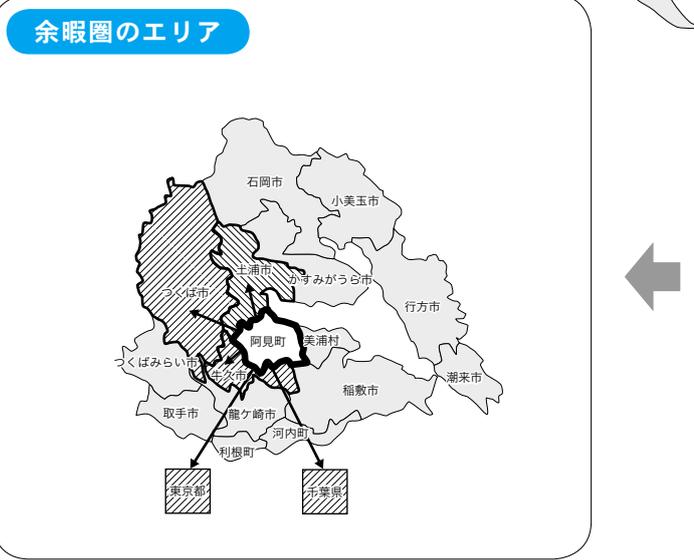
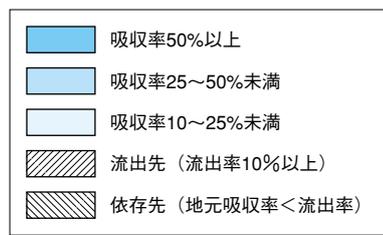
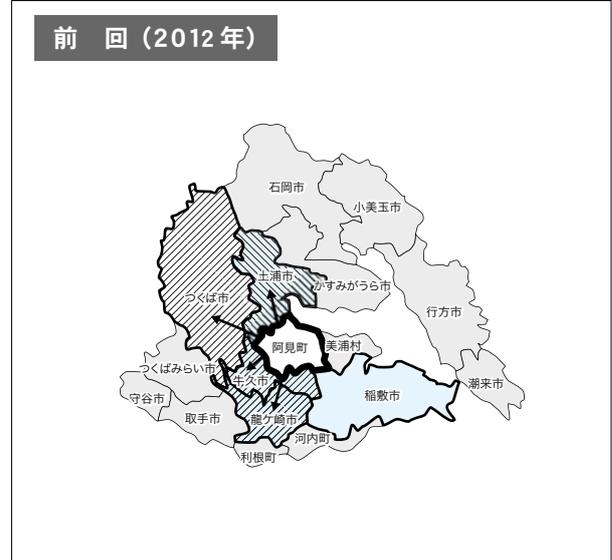
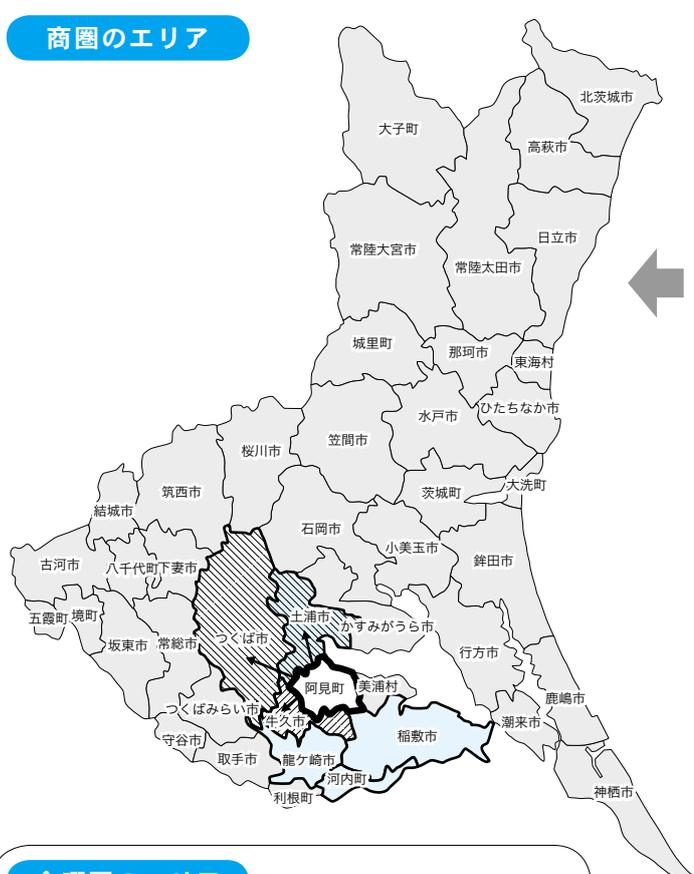
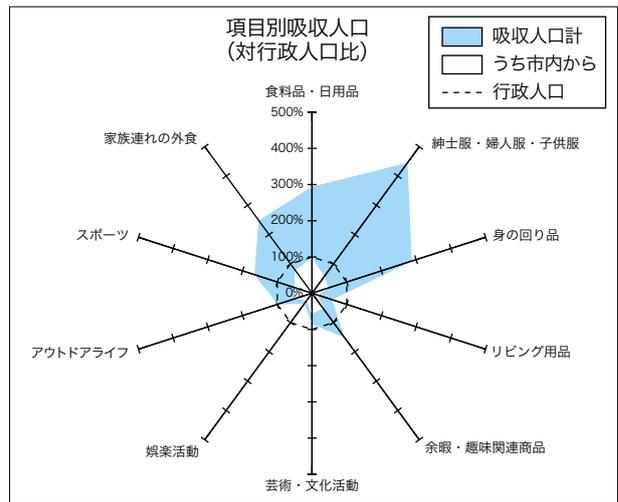
○**商圈**:全体の吸収率は245%で、前回は7ポイント上昇した。リビング用品や余暇・趣味関連商品が低下した一方で、紳士服・婦人服・子供服など3項目が上昇した。特に、紳士服・婦人服・子供服は22ポイントと上昇幅が大きい。他市町村からの吸収率は、稲敷市、土浦市、河内町、龍ヶ崎市が10%を超えている。

流出率は、土浦市が69%で最も高く、つくば市、牛久市が続いている。

○**余暇圏**:全体の吸収率は125%で、前回は4ポイント低下した。家族連れの外食を除く4項目で低下した。他市町村からの吸収率は、家族連れの外食を除き、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、土浦市が54%で最も高く、つくば市が42%で続いている。5市町村が10%を超えている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	23.7	0.8	86.2	4.9	62.1	9.7	39.9	1.0	47.4	0.2	26.5	3.6	4.3	-1.3	12.3	2.6	7.5	1.6	25.7	-2.4
紳士服・婦人服・子供服	18.9	-1.5	6.2	-4.9	84.4	8.1	44.9	-2.9	1.6	0.9	0.0	0.0	6.2	-6.8	16.9	1.7	13.2	6.5	5.3	1.2
身の回り品	11.0	-13.0	4.4	-3.6	78.9	8.1	33.8	-9.0	0.4	0.0	0.0	0.0	3.1	-0.1	13.6	2.0	12.7	9.9	3.5	1.1
リビング用品	5.6	-6.8	1.4	-2.0	48.4	9.9	68.4	3.9	0.5	0.5	0.0	0.0	5.6	-2.5	13.0	3.6	8.8	6.7	1.9	0.2
余暇・趣味関連商品	18.2	-5.4	13.6	-5.0	65.7	4.1	53.0	1.1	6.8	-4.1	0.0	0.0	0.4	-2.3	22.0	6.5	12.7	6.9	7.6	2.2

阿見町の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食		
			12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	117,809	140,562	212,822	137,548	26,853	71,262	60,147	40,439	16,102	46,667	79,011	118,516											
	うち阿見町内から	25,196	46,257	26,709	21,592	7,319	24,104	24,155	26,550	11,359	22,219	23,623	37,025											
	他 市 町 村 へ	1 土浦市	16,498	27,086	34,501	19,199	2,892	8,986	9,945	5,955	1,241	7,261	12,553	22,717	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市
		2 つくば市	15,441	14,397	26,384	17,143	2,871	6,236	5,247	1,467	849	3,641	10,269	10,214	つくば市	稲敷市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	
		3 龍ヶ崎市	8,633	12,563	17,100	14,233	2,489	4,713	3,422	1,443	514	3,584	5,578	8,437	龍ヶ崎市	牛久市	牛久市	牛久市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	
		4 稲敷市	7,641	5,843	16,487	10,582	1,894	4,575	3,033	661	464	3,459	4,510	6,016	稲敷市	牛久市	つくば市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	
5 神栖市		7,567	5,562	15,106	9,137	1,602	4,557	2,269	580	416	1,611	4,480	4,473	神栖市	神栖市	牛久市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市		
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	245.2%	292.6%	443.0%	286.3%	55.9%	148.3%	125.2%	84.2%	33.5%	97.1%	164.5%	246.7%											
	うち阿見町内から	7.3	14.6	21.8	2.7	-2.8	-0.1	-4.4	-15.0	-4.9	-0.3	-11.5	9.7											
	12年比	52.4%	96.3%	55.6%	44.9%	15.2%	50.2%	50.3%	55.3%	23.6%	46.3%	49.2%	77.1%											
	12年比	-8.4	-0.9	-9.8	-12.2	-9.6	-9.6	-4.0	-11.2	-2.4	-5.7	-0.3	-0.3											
	流 出 率	1 稲敷市	17.6%	29.0%	24.4%	25.0%	3.2%	10.5%	7.0%	4.2%	0.9%	8.4%	8.9%	19.5%	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市	稲敷市
		2 土浦市	11.7%	19.2%	21.7%	21.1%	2.6%	6.4%	7.0%	1.9%	0.7%	5.1%	6.6%	16.1%	土浦市	龍ヶ崎市	土浦市	牛久市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市		
		3 河内町	11.5%	10.5%	18.7%	18.1%	2.4%	5.6%	4.1%	1.7%	0.6%	4.3%	6.1%	7.1%	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町	河内町		
		4 龍ヶ崎市	11.0%	7.0%	18.0%	12.9%	2.0%	5.4%	2.9%	1.5%	0.5%	2.0%	5.7%	6.1%	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市		
		5 牛久市	9.0%	6.9%	17.9%	12.6%	2.0%	5.0%	2.4%	1.0%	0.5%	1.6%	5.1%	5.7%	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市			
		6 神栖市	8.0%	6.7%	17.5%	12.1%	1.9%	4.5%	2.4%	0.8%	0.5%	1.6%	4.6%	4.6%	神栖市	かすみがうら市	神栖市	神栖市	神栖市	神栖市	神栖市	神栖市		
		7 潮来市	7.5%	6.5%	16.9%	9.4%	1.6%	4.2%	1.7%	0.7%	0.4%	1.2%	4.3%	4.2%	潮来市	つくば市	潮来市	石岡市	石岡市	石岡市	潮来市	潮来市		
		8 守谷市	7.1%	5.9%	16.5%	9.1%	1.5%	2.9%	1.6%	0.6%	0.4%	1.1%	4.2%	4.2%	守谷市	神栖市	守谷市	神栖市	守谷市	守谷市	神栖市	神栖市		
		9 つくば市	6.9%	4.5%	15.5%	8.6%	1.3%	2.8%	1.6%	0.6%	0.3%	0.8%	4.1%	3.9%	つくば市	つくばみらい市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市		
		10 鹿嶋市	5.2%	4.2%	14.8%	5.6%	1.3%	2.7%	1.5%	0.5%	0.1%	0.8%	3.7%	3.4%	鹿嶋市	取手市	利根町	取手市	守谷市	行方市	行方市	行方市		
11 取手市		4.9%	4.0%	11.9%	5.6%	1.2%	2.4%	1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	2.5%	3.0%	取手市	鹿嶋市	鹿嶋市	かすみがうら市	守谷市	守谷市	かすみがうら市	かすみがうら市			
12 つくばみらい市		4.8%	3.9%	11.7%	5.6%	1.2%	2.2%	1.2%	0.4%	0.0%	0.6%	2.3%	3.0%	つくばみらい市	守谷市	つくばみらい市	鹿嶋市	つくばみらい市	守谷市	守谷市	守谷市			
13 かすみがうら市		4.8%	3.8%	11.2%	5.5%	1.2%	2.0%	1.2%	0.4%	0.0%	0.5%	1.9%	2.8%	かすみがうら市	行方市	取手市	つくばみらい市	取手市	小美玉市	小美玉市	かすみがうら市			
14 利根町		4.7%	3.6%	10.2%	5.3%	0.9%	2.0%	1.2%	0.3%	0.0%	0.1%	1.8%	2.7%	利根町	小美玉市	かすみがうら市	石岡市	かすみがうら市	つくばみらい市	取手市	取手市			
流 出 率	1 土浦市	33,212	32,785	38,467	32,028	26,461	36,320	26,118	19,975	34,263	14,112	25,215	37,025	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	土浦市	
	2 つくば市	29,124	27,429	32,756	30,948	24,772	29,717	20,106	10,114	26,256	14,112	16,456	33,593	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	つくば市	
	3 牛久市	15,902	19,476	10,919	7,197	24,584	17,335	8,206	9,356	9,869	5,705	9,821	20,228	牛久市	牛久市	牛久市	牛久市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	
	4 龍ヶ崎市	3,588	7,791	5,375	2,879	2,064	2,476	5,103	4,298	5,214	5,405	9,290	6,321	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	東京都	埼玉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	
	5 千葉県	2,881	3,895	4,367	1,979	1,689	2,311	5,064	2,529	4,097	5,104	4,778	6,141	千葉県	千葉県	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	
	6 東京都	2,711	3,571	4,367	1,619	1,501	1,651	4,468	2,023	3,910	3,603	4,512	5,960	東京都	美浦村	千葉県	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市	

※各項目で10%以上の都市を記載
 吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

河内町

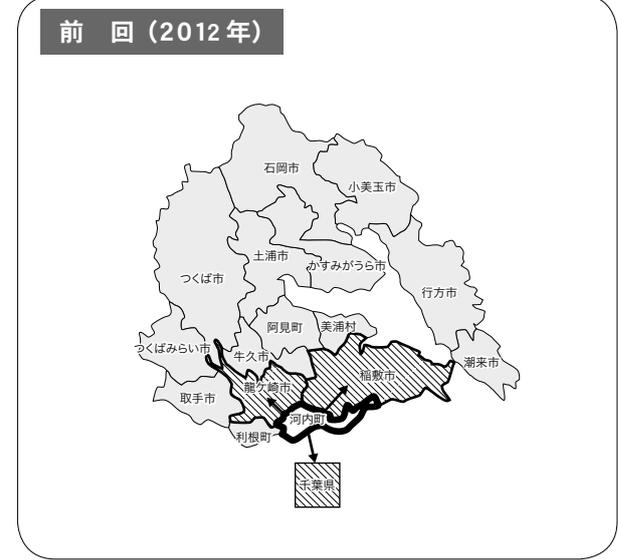
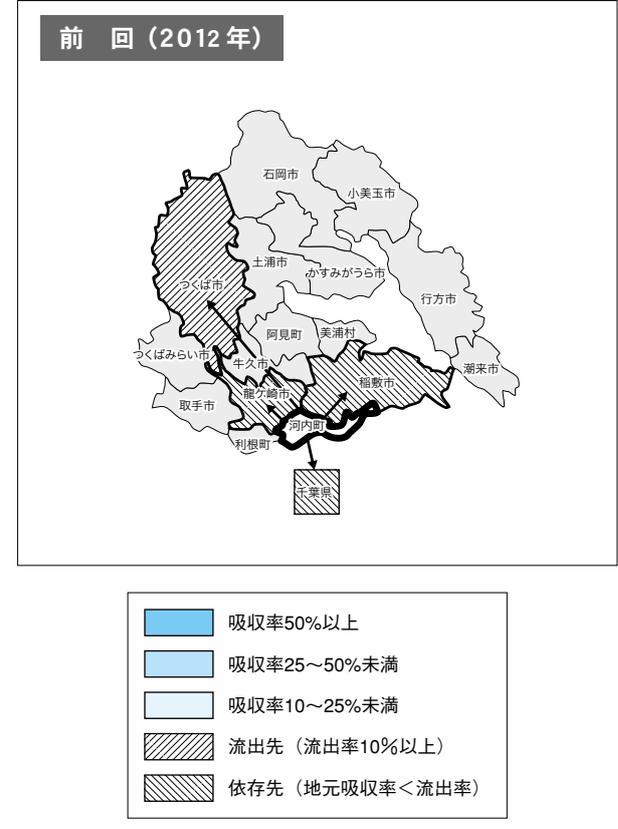
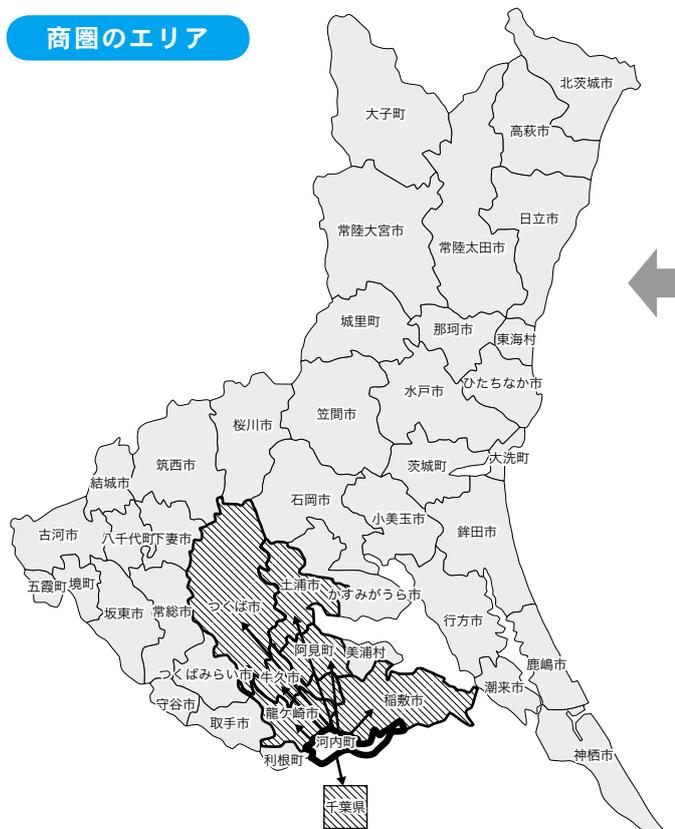
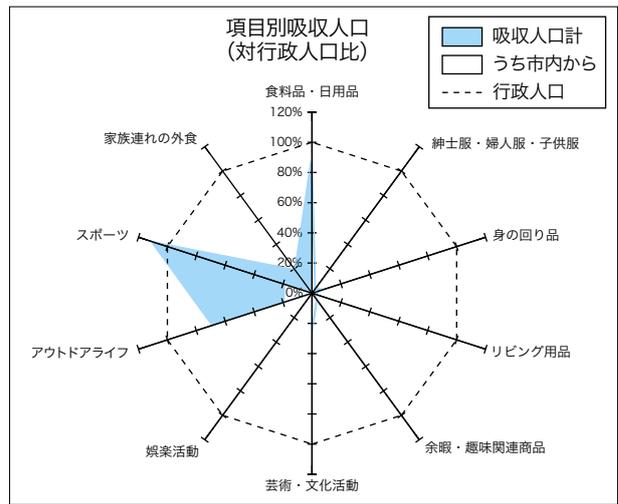
○**商圏**：全体の吸収率は23%で、前回は5ポイント上昇した。リビング用品を除く4項目で上昇しており、特に食料品・日用品は20ポイントと上昇幅が大きい。他市町村からの吸収率は、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、龍ヶ崎市が66%で最も高く、千葉県が61%で続いている。7市町村が10%を超えている。

○**余暇圏**：全体の吸収率は46%で、前回は9ポイント上昇した。スポーツと娯楽活動が低下した一方、3項目で上昇しており、特に、アウトドアライフが35ポイントと上昇幅が大きい。他市町村からの吸収率は、10%以上吸収している市町村はない。

流出率は、千葉県が49%で最も高く、龍ヶ崎市が47%で続いている。

○**主な大型店の動向 (2012.7.2 ~ 2015.7.1)**



業態別買い物行動

	一般商店・専門店		スーパー		百貨店・大型店		専門量販店		コンビニ		農産物直売所		動画・テレビショッピング		インターネットショッピング			生協等の共同購入		
		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比	パソコン	12年比	携帯	12年比	個別宅配	12年比
食料品・日用品	26.7	-2.6	75.6	-3.1	62.2	11.5	20.0	-9.3	31.1	-15.6	22.2	2.2	4.4	-0.9	2.2	-5.8	2.2	-0.5	17.8	-6.2
紳士服・婦人服・子供服	14.6	-2.5	7.3	0.2	80.5	-0.9	29.3	-16.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	2.4	-13.3	9.8	2.7	2.4	-4.7	4.9	3.5
身の回り品	20.5	-2.7	7.7	0.5	84.6	16.5	20.5	-18.6	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0	-7.2	10.3	-1.3	2.6	-1.7	0.0	0.0
リビング用品	8.1	-3.8	5.4	0.3	29.7	-4.2	81.1	6.5	0.0	-1.7	0.0	0.0	5.4	-3.1	16.2	9.4	2.7	1.0	2.7	2.7
余暇・趣味関連商品	13.5	-10.0	10.8	2.0	67.6	11.7	54.1	-3.3	10.8	2.0	0.0	0.0	2.7	-1.7	21.6	4.0	8.1	3.7	2.7	-1.7

河内町の吸収・流出の状況

	商 圏	食料品・日用品		紳士服・婦人服・子供服		身の回り品		リビング用品		余暇・趣味関連商品		余 暇 圏		芸術・文化活動		娯楽活動		アウトドアライフ		スポーツ		家族連れの外食			
			12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		12年比		
吸 収 人 口 計 (人)	吸収人口計	2,098	8,558	380	793	214	543	4,177	2,532	0	6,344	10,225	1,783												
	うち河内町内から	890	3,537	183	382	0	346	1,000	1,637	0	1,697	1,666	0												
	他 市 町 村 へ	1 稲敷市	464	2,319	197	207	214	197	916	661	0	2,149	2,372	622											
		2 つくばみらい市	200	899	0	205	0	0	0	0	0	1,256	2,029	613											
		3 龍ヶ崎市	180	565	0	0	0	0	0	0	0	605	1,882	222											
		4 利根町	154	537	0	0	0	0	0	0	0	405	1,673	166											
5 取手市		107	201	0	0	0	0	0	0	0	232	319	159												
吸 収 率	吸収人口計/行政人口	22.9%	93.4%	4.1%	8.7%	2.3%	5.9%	45.6%	27.6%	0.0%	69.2%	111.6%	19.5%												
	うち河内町内から	9.7%	38.6%	2.0%	4.2%	0.0%	3.8%	10.9%	17.9%	0.0%	18.5%	18.2%	0.0%												
	12年比	5.1	20.3	1.7	3.6	-1.0	0.7	8.5	1.8	-1.6	35.4	-6.6	13.6												
	12年比	-3.9	-15.6	-0.4	-0.9	-1.4	-1.4	-0.8	4.8	0.0	5.7	-11.8	-2.6												
	流 出 率	1 龍ヶ崎市	6,042	7,879	6,599	5,919	5,611	6,052	4,444	3,601	7,290	3,734	4,444	7,295											
		2 千葉県	65.9%	86.0%	72.0%	64.6%	61.2%	66.0%	48.5%	39.3%	79.5%	40.7%	48.5%	79.6%											
3 つくば市		2,015	4,502	2,933	3,055	1,496	2,075	1,197	982	1,666	2,037	1,666	2,432												
4 稲敷市		1,764	1,608	1,650	2,291	935	1,729	1,103	982	1,041	1,358	1,389	2,057												
5 土浦市		1,096	1,286	1,100	1,337	748	1,729	837	655	625	1,018	1,111	1,496												
率 へ	6 牛久市	1,061	1,126	733	573	374	1,383	802	655	417	1,018	833	1,122												
	7 阿見町	1,053	965	733	382	187	865	752	655	417	679	833	935												
	8 取手市	547	965	367	382	187	173	714	655	417	679	555	935												
	9 東京都	286	965	367	191	187	173	515	327	417	679	555	561												

※各項目で10%以上の都市を記載 吸収率・流出率 50%以上
 吸収率・流出率 25%以上
 吸収率・流出率 10%以上

